

14. 2/4-45□



1200501165237

2/8

□



始



14,2
45

昭和九年度

愛知縣水產試驗場業務概報

昭和九年度愛知縣水產試驗場業務概報

目次

第一 漁撈部	一、鯉釣漁業試驗	一
	二、鮎延繩漁業試驗	一五
	三、夏季水產講習會	二二
第二 製鹽部	一、製鹽	二四
	二、鹽田改良製造試驗	二八
	三、荒布織造製造試驗	三四
	四、實地指導講習	三四
第三 養殖部	一、鹹水養魚試驗	三五
	二、鱒增殖事業	四九
	三、小鮎移殖放流並幹旋事業	五五
	四、鯉兒放流事業	六三
	五、公魚採卵孵化放流事業	六五
	六、草魚移殖試驗	六七



14.2.1 - 45

昭和九年度愛知縣水産試験場業務概報

第一 漁撈部

一、鯉釣漁業試験

前年度ニ繼承シ左記ノ通本試験ヲ施行セリ

試験船 白鳥丸(七九噸) 五、一三〇馬力)

乗組員 本場職員二名 船長以下二十九名

操業區域 自和歌山縣沖合 至岩手縣沖合

期間 自四月 至八月

航海數 二回

漁獲尾數 鯉二、六〇三尾 バチ二四八尾 トンボ四三二尾 其他

漁獲金額 一〇、〇八一圓五四錢

漁業概要左ノ如シ

第一回

四月二十二日午後一時四十五分三谷拔錨餌場タル三重縣濱島ニ向ヒ午後八時三十二分全地投錨

四月二十五日午前七時十八分濱島拔錨、餌活納出漁ス

四月二十六日午後數回魚群ニ逢フモ餌ニ付カズ

四月二十七日モ全様ニシテ夕刻漂泊ス

第四 養殖出張所

- 一、牡蠣増殖試験 六九
- 二、海苔適地利用試験 九一
- 三、重要貝藻類移殖試験 一〇五
- 四、漁業用餌料移殖試験 一三五
- 五、淺海利用試験 一四五
- 六、淺海利用調査 一七八
- 七、海洋觀測 一八八
- 八、共同試験 二一七

第五 三河灣養殖作業場

- 一、牡蠣増殖試験 二二一
- 二、海苔増殖試験及調査 二二六
- 三、石花菜繁殖試験 二四一
- 四、海蘊増殖試験 二四三
- 五、海産稚鮎利用試験 二四四
- 六、鮎増殖試験 二五一
- 七、海面觀測 二五二

四月二十八日數回魚群ニ逢フモ餌付不良ナリシガ午後六時二十分東經百三十八度四十八分北緯三十一度五十六分水溫二十度ノ海區ニ於テ魚群ニ逢ヒ千五百十六尾ヲ釣獲、全六時五十分終リ漂流ス
四月二十九日午前六時五十分東經百三十八度五十二分北緯三十一度五十八分水溫十九度ノ海區ニ於テ中鰹六百十尾ヲ漁獲シ餌料終レルヲ以テ歸途ニ就ク

四月三十日午前七時五十分御前崎沖ニ遭難船(三宅島萬吉丸)ヲ發見之ヲ救助曳船シテ清水ニ向フ、午後零時五十七分清水投錨

第一回

五月二日午前三時三十七分清水出帆餌場タル濱島ニ向ヒ午後十時十五分濱島投錨

五月三日午前九時餌活入出漁ス

五月四日午後六時東經百三十七度四十九分北緯三十一度五十一分水溫二十度ノ海區ニテ中鰹三百七十七尾ヲ漁獲ス、群大ナレドモ餌付悪ク六時十五分終リ漂流ス

五月五日午前十時五十分東經百三十八度北緯三十一度三十二分水溫二十一度五分ノ海區ニテ大群ニ會フモ餌付悪シク中鰹六百八十五尾ヲ漁獲シ午後六時二十五分漂流

五月六日午前五時十分ヨリ調査、全五時二十分鰹群ニ出會ヒ北東ニ追ヒシモ足早ク斷念シ前針路ニテ航走ス、午後零時二十分東經百三十八度五十二分北緯三十一度三十七分水溫二十一度八ノ海區ニテ五百尾乃至一貫二百尾ノ鰹二千五百三十八尾ヲ漁獲シ歸途ニ就ク

五月七日午後八時五十二分清水投錨

第三回

五月八日午後六時三分清水出帆餌場タル濱島ニ向ヒ五月九日午前十一時四十分濱島投錨餌料積入、午後一時四分投錨出漁ス

五月十日午前七時東經百三十七度二十八分北緯三十三度五分水溫二十度五ノ海區ニテ大群ニ出會ヒタルモ餌付不良ニシテ中鰹六十六尾ヲ漁獲シ七時三十分終ル

五月十一日午後零時三十分東經百三十九度二分、北緯三十一度十六分水溫二十度五ノ海區ニテ大群ニ出會ス、水色良好ニシテ五百尾乃至一貫四百尾ノ鰹三千八百二十九尾ヲ漁獲ス

五月十二日魚群ニ逢ヒ得ズ午後一時四十八分歸途ニ就キ五月十三日午後三時五十五分清水投錨

第四回

五月十四日午後八時三十分清水出帆、五月十五日午前八時四十分館山入港、餌糺積載出漁ス

五月十六日午前六時四十五分「トンボ」小群ニ逢ヒ三貫乃至四貫ノモノ四十尾ヲ漁獲ス、位置東經百四十一度二十五分北緯三十三度四十五分水溫十九度五餌付不良ナリ、午後四時「トンボ」小群ニ逢ヒ二貫乃至四貫ノモノ百十尾ヲ漁獲ス

位置東經百四十一度三十三分北緯三十三度四十五分水溫二十度ニシテ餌付良好ナリ
五月十七日午前七時四十分「トンボ」小群ニ逢フ、位置東經百四十一度二十三分北緯三十三度五十七分水色良好餌付モ良ク二貫乃至四貫ノモノ百四十尾ヲ漁獲ス

五月十八日午後五時十分鰹付大群ニ逢フモ餌ニ付カズ全六時漂流ス
五月十九日午前七時五十五分鰹付大群ニ出會ヒ釣始ム、餌付稍良カリシモ後不良トナル、水色良ク水溫二十二度五分位置東經百三十九度二十七分北緯三十一度二十三分ノ海區ニシテ中鰹千二百三十尾ヲ釣リ全九時二十分終ル、午後零時二十分全一海區ニテ大群ニ出會ス、水色良好水溫二十二度二餌付良好中鰹一千三百八十五尾ヲ漁獲シ歸途ニ就ク

五月二十日午後四時十三分清水投錨

第五回

五月二十一日午後五時八分清水投錨、二十二日午前五時十三分館山投錨

五月二十四日午後六時餌料活納館山出帆漁場ニ向フ

五月二十五、六、七日ハ大群ニ數回逢ヒタルモ餌ニ付カズ

五月二十八日午前九時十五分東經百四十四度四十八分北緯三十五度七分水色良水溫二十一度二ノ海區ニテ五六百尾ノ鰹五百二十九尾ヲ漁獲ス
五月二十九日ヨリ六月一日迄群ニ逢フモ餌ニ付カズ

六月二日午後四時二十分鮪ノ大群ニ逢ヒ二貫乃至九貫ノバチ百二十五尾三貫乃至四貫ノトンボ百四十二尾ヲ釣獲ス
六月三日午後八時頃暴風雨トナリ微速力ニテ航走
六月四日午後八時三十五分清水ニ投錨ス

第六回

六月六日午前七時十分清水投錨、午後五時五十分館山投錨
六月七日午後六時四十二分餌料活入館山ヲ出帆ス
六月十三日午前六時十五分鳥島東ノ瀬ニテ四、五百尾ノ鰹九百七十尾漁獲、水色良ク水温二十二度ナリ
六月十四日午後一時四十二分「スミス」中ノ瀬ニテ小群ニ逢ヒ五、六百尾ノ鰹二百五十尾漁獲、水色良好餌付普通ニシ
テ水温二十三度五ナリ、全五時四十分魚群ヲ發見セシモ足早ク追ヒ付キ得ズ
六月十五日「スミス」西ノ瀬ニテ四百尾乃至九百尾ノ鰹千七十八尾漁獲ス、水温二十三度餌付並、後「ハロス」ニ到ルモ
其ノ後群ヲ發見セズ
六月十七日午前十一時四十二分清水ニ投錨ス

第七回

六月二十二日午後五時七分清水投錨
六月二十三日午前五時五分館山投錨、午後五時二十一分餌料ヲ入レ出帆ス
六月二十八日午後一時三十分鮫付大群ニ逢フ、位置東經百四十五度三十七分北緯三十四度五十分水温二十四度五ノ海區ニ
シテ水色良好ナレドモ餌付不良ニテ五六百尾ノ鰹二百二十尾六、七百尾バチ四十尾ヲ漁獲シ尙調査ス
二十九日ハ四回魚群ニ逢ヒシモ餌ニ付カズ

第八回

六月三十日午前五時五十分東經百四十六度三十九分北緯三十四度十三分水温二十三度七水色良好ナル海區ニテ五六百尾
鰹一千三百七十五尾八、九百尾ノバチ三十三尾ヲ漁獲シ餌料終了セシヲ以テ歸港ノ途ニ就キ七月三日午後一時三十分清
水投錨
七月二十五日午後四時三十五分清水投錨館山ニ向フ
七月二十九日午前五時館山出帆
七月三十一日午後零時四十分東經百四十四度三十五分北緯三十七度五十九分水温二十二度五水色良好ナル海區ニテ七八
百尾ノモノ二百十二尾ヲ漁獲ス
八月一日午前八時二十五分鮫付大群ニ逢ヒ五百尾乃至一貫二百尾ノ鰹七百三十七尾二貫五百尾乃至八貫五百尾ノバチ四
十六尾鰹一尾ヲ漁獲ス、位置東經百四十四度四十三分北緯三十八度二分水温二十一度七水色良好ナリキ、終了後氣仙沼
ニ向ヒ八月二日午前十一時十二分氣仙沼投錨

第九回

八月四日午前八時三十分氣仙沼投錨餌料活納出漁ス
八月五日午前五時十分鮫付大群ニ出逢フ、東經百四十四度三十四分北緯三十九度五十二分水温二十一度五水色良ク六百
尾乃至一貫八百尾ノ鰹千八百五十尾二貫四百尾ノバチ一尾ヲ漁獲シ、更ニ午後二時二十分全一海區ニ於テ鮫付大群ヲ發
見、餌付良好ナラザレドモ六百尾乃至一貫二百尾ノモノ六百十尾ヲ漁獲シテ歸途ニ就ク
八月六日午後二時二十分氣仙沼投錨

第十回

八月九日午前六時三十五分氣仙沼投錨、餌料活入ノ上出漁ス
八月十日午後二時三十五分餌付並ノ小群ニ逢ヒ五六百尾ノ鰹五十尾ヲ漁獲ス、位置東經百四十四度四十八分北緯三十九
度四十二分水温二十一度四、水色良好ノ海區ナリ
八月十一日風浪高ク雨ヲ加ヘテ調査困難ナリ、午後一時五分小群ニ出會ヒ小鰹二百尾ヲ釣ル、東經百四十五度五分北緯
三十九度十六分水温二十一度四水色良好ノ海區ナリ
八月十二日午後零時五十分餌付並ノ大群ニ逢フ、東經百四十五度二十二分北緯三十九度一分水温二十二度水色良好ニシ
テ小鰹三百尾ヲ漁獲ス
事故發生セル爲大船渡ニ向ヒ八月十四日午前九時三十五分全地ニ投錨ス

第十一回

八月十五日午前八時二十八分大船渡出帆、午後一時二十五分氣仙沼投錨

八月十九日午前八時五十分氣仙沼ヲ出帆セシモ北東風強吹シ操業ノ見込ナク午後三時歸港シ八月二十一日午前五時十五分再ビ出漁ス

八月二十二日午前七時三十五分東經百四十五度十三分北緯三十九度五十四分水温十九度六水色良好餌付モ良ク八百匁乃至一貫五百匁ノ鰹千五十五尾ヲ漁獲シ更ニ全一海區ニテ八百匁ノ鰹三百八十尾ヲ釣ル

八月二十三日午後五時四十五分バチ混リ大群ニ出會シ八百匁乃至一貫二百匁ノ鰹二百十尾二十五貫ノバチ一尾ヲ漁獲ス水温二十一度水色良好ニシテ位置東經百四十五度十七分北緯四十度四分ナリ

八月二十四日午後二時五十分東經百四十四度二十五分北緯三十九度四十八分水温二十三度五水色良好ナル海區ニテ小群ナルモ餌付良ク七八百匁ノ鰹四百四十尾ヲ漁獲ス、餌料終了セルヲ以テ歸途ニ就キ八月二十五日午前十一時三分氣仙沼ニ投錨ス

第十二回
八月二十七日午前五時五十分氣仙沼出帆、午前七時二十五分遭難船(三重縣萬榮丸)ヲ發見セルヲ以テ氣仙沼ニ曳航シ直チニ出漁ス

八月二十八日午後四時十五分鯨付大群ニ會セシモ餌付ナシ

八月三十日午前八時天候險惡ニシテ操業ノ見込ナク歸途ニ就キ三十一日午前八時三十五分萩濱ニ投錨ス

場務ノ都合ニ依リ之ヲ以テ本年度鰹釣漁業試験ヲ打切りタリ

鰹釣漁業試験表

月日	符號	位置(緯度)	天候	力向風	氣壓	氣温	水温	水色	漁具	使用時	餌料種類	種類	獲量	水揚高	記	事
四二二	B			NW4	七五三	七五三			ヒラゴ	マサゴ	ヒラゴ	魚類				PMPM 一時四十分三谷拔錨濱島ニ向フ

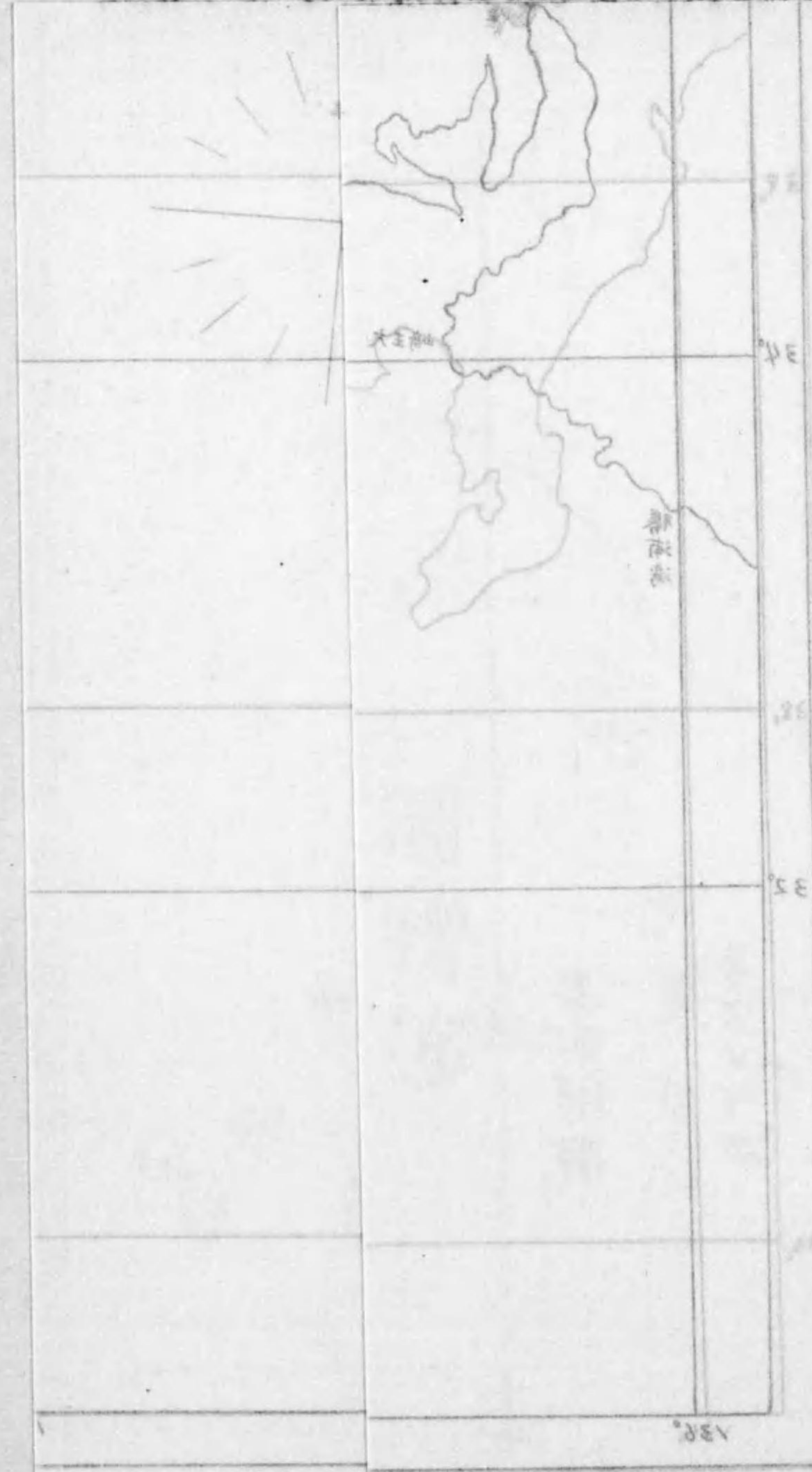
五	四	三	二	五	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三
4	3					2	1					
一六〇〇三	一三〇五〇	一三〇五〇	一三〇五〇	一三〇五〇	一三〇五〇	一三〇五〇	一三〇五〇	一三〇五〇	一三〇五〇	一三〇五〇	一三〇五〇	一三〇五〇
BC	B	B	B	C	R	C	C	B	BC	R	C	
S 1	S 3	E 1	W 2	SSW 1	ESE 2	NE 1	SE 1	EIS 2	N 5	SW 1		
一九〇五	七六三	七六三	七六三	七六三	七六三	七六三	七六三	七六三	七六三	七六三	七六三	七六三
二〇三	二〇三					元	良					
全AM	全PM					全AM	全PM					
二〇〇五〇	六〇〇五	六〇〇五	六〇〇五	六〇〇五	六〇〇五	六〇〇五	六〇〇五	六〇〇五	六〇〇五	六〇〇五	六〇〇五	六〇〇五
全	マサゴ	ヒラゴ				全	マサゴ	ヒラゴ				
中カツヲ	中カツヲ					中カツヲ	カツヲ					
六八五	三七七					六、〇	一、五、六					
全前	群大ナリシモ餌付惡シ	AM 九時餌活入出漁	AM 三時三十七分清水出帆濱島ニ向フ	AM 七時五分御前崎沖ニテ遭難船三宅島万吉丸ヲ發見之ヲ救助シ清水入港	後餌料終レルヲ以テ歸途ニ就ク			全前	數回魚群ニ逢フモ餌付ナシ	AM 七時十八分濱島拔錨漁場ニ向フ	全前	濱島碇泊

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八
		12									11	
		三三〇・七 一四〇・八									一九〇・七 三三〇・七	
B	C	C.	B	B	B	B	R	R	B	C	BC	
NW 2	E 1	ESE 1	S 1	SSE 1	NE 3	WSW 1	SM 1	O	SE 1	E 1	ESE 1	
七五八・五 三二	七五七 二二	七五七 一九〇・五	七五五 二二	七五三・五 二〇	七五二・五 二二	七五〇・五 二二	七五〇・五 二〇	七五〇・五 二〇	七五七 二二	七五八 一九〇・八	七五八・五 三三	
		二二 三三							三三			
		全AM							全AM			
		九〇・三 九〇・三							九〇・三 七五五			
		ヒラゴ マサゴ							マサゴ ヒラゴ			
		カツヲ 五・六〇〇 匁							中カツヲ			
		五元							一、二三〇			
									一、四〇〇・三五			
全前	群ニ逢フモ餌ニ付カズ			全前	群ニ逢フモ餌ニ付カズ	PM 六時餌料活入館山出漁	AM 五時十三分館山投錨	PM 五時八分清水抜錨館山ニ向フ	PM 四時十三分清水投錨	歸途ニ就ク	PM 五時十分鯨付鰹大群ニ逢フモ餌ニ付カズ	

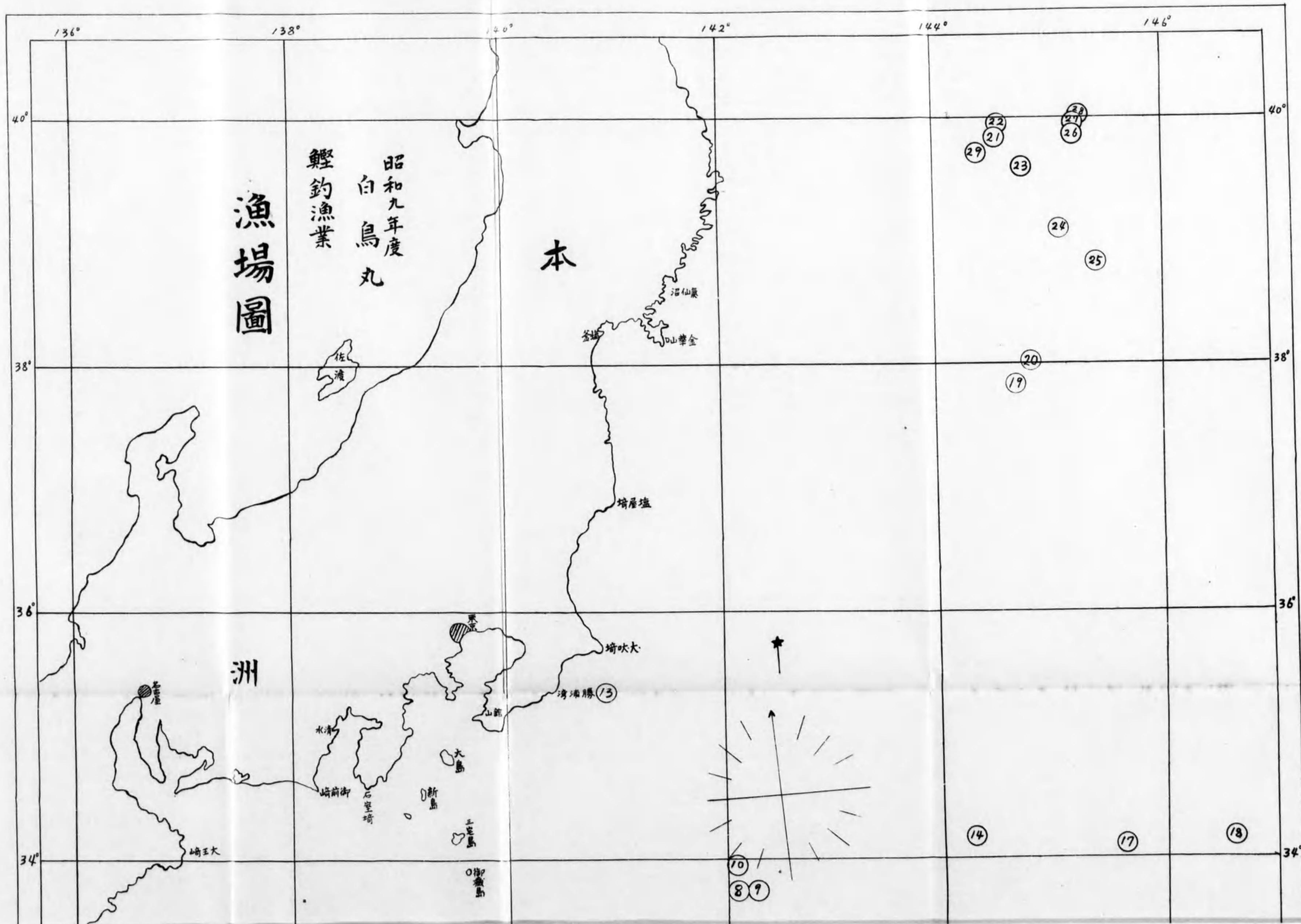
一七	一六	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	五	六
10	9	8					7	6				5
一四〇・三 三三〇・七	一四〇・三 三三〇・七	一四〇・三 三三〇・七					三三〇・七 一九〇・八	三三〇・七 一九〇・八				三三〇・七 一九〇・八
B	B	B	B	B	C	BC	B	C	C	B	B	B
ENE 1	NE 2	NE 1	WSS 1	NE 1	W 1	S 2	S 1	SSW 2	SW 2	SSE 1	WSW 1	
一八五 七五八	七五七 二〇	七五五 一九	七五二・五 一九	七五二・五 二二	七五八・五 一九	七五九・五 三三	二〇〇 七六一	二〇〇 七六一	二〇〇 七六一	二〇〇 七六一	二〇〇 七六一	二〇〇 七六一
三〇	三〇	一九・五					二〇〇 七六一	二〇〇 七六一				二〇〇 七六一
全AM	全PM	全AM					全PM	全AM				全PM
八〇・五 七〇・四	四〇〇・〇 三三〇・〇	七〇・八 七〇・八					一〇〇・〇 一〇〇・〇	七〇・〇 七〇・〇				二〇〇・〇 二〇〇・〇
全	マサゴ ヒラゴ	マサゴ ヒラゴ					全	マサゴ ヒラゴ				全
トンボ 二貫一匁	トンボ 三貫一匁	トンボ 三貫一匁					カツヲ 一貫四匁	中カツヲ				カツヲ 一貫四匁
一四〇	二二〇	四〇					三、八元	六元				二、五八二・三五 一、四四二・四五
						二、二五〇・三〇						
			AM 八時四十分館山入港餌積載出漁	PM 八時三十分清水出帆	PM 三時五十分清水投錨	群ニ逢ハズ歸途ニ就ク		大群ナルモ餌付不良	PMAM 十一時四十分濱島投錨餌料積入	PM 六時三分清水出帆濱島ニ向フ	歸途ニ就ク PM 八時二十五分清水入港	

二一	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	六	ク	五	四
				24	23	22			21	20	
				三九・〇一 一四四・三四二	三九・一六 一四四・四八	三九・四二 一四四・八			右全	三九・三三 一四四・三四	
B	R	B	B	B	C	BC	C	B	B	B	R
E 1	SW 1	S 1	SW 1	W 1	SSE 5	NNE 1	SW 2	NW 1	NW 1	NW 1	NW 1
七五・〇 二二・五	七〇・三 二二・〇	七六・〇 二四・五	七五・五 二三・五	七五・五 二三・五	七五・五 二三・五	七五・五 二三・五	七五・五 二三・五	七五・五 二三・五	七五・一 一九・	七五・〇 二二・	七五・〇 二二・
三・五			三・〇	三・四	三・四	三・四			三・五	三・五	三・五
			良	良	良						
			全PM 一〇・五〇	PM 一〇・五	PM 二・五				全PM 五・〇〇	全AM 五・〇〇	
			ク	ク	マサゴ				マサゴ	マサゴ	
				小鯉	五・六百 奴カツヲ				カツヲ 五・〇〇	カツヲ 五・〇〇	
			〇〇〇	〇〇〇	五〇				六二〇	一、八五〇	
		三三、三						七五、一〇			
AM 五時一五分氣仙沼抜錨	PMAM 八時二五分大船渡出帆 一時二五分氣仙沼投錨	AM 九時三十五分大船渡ニ投錨	PM 九時事故發生		風浪高ク雨ヲ加へ調査困難ナリ		AM 六時三十五分氣仙沼抜錨出漁ス	PM 二時二〇分氣仙沼投錨	釣終了後歸途ニ就ク		AM 八時三十分氣仙沼出帆

二	八	三一	三〇	二九	二六	二五	三	二	七	六
		19								18
		三七・五九 一四四・三五								三四・三三 一四六・三元
R	C	B	C	B	C	C	B	C	C	BC
N	ESE 1	E 1	E/N 2	SE 1	N 1	NE 1	S 1	SW 1	SW 2	SE 1
七五・五 二二・	七三・三 二〇・	七六・〇 一九・七	七六・〇 三四・	七五・五 二七・	七五・八 三三・	七五・七 二五・	七五・五 二五・	七五・九 二四・	七五・五 二五・	七五・五 二二・五
	三・	三・五								三・七
		良								良
	全AM 二・八・五 二〇・	全PM 二・〇・四〇								AM 五・五〇
	全	ヒラゴ マサゴ								ヒラゴ マサゴ
	カツヲ 二・五〇〇 八、〇〇〇ハチ	七・八〇〇 カツヲ								五・六〇〇 カツヲ 八・九〇〇 バチ
	七・七	二・三								一、三三五
三三・三							三九〇・六三			
AM 十一時十二分氣仙沼投錨				AM 五時館山抜錨出漁	AM 四時十二分館山投錨	PM 四時三十五分清水投錨	PM 一時三十分清水投錨			何れ終了シ歸途ニ就ク



三一	二八	二七	二五	二四	二三	二二
				27	26	25
				一四元・四八 一四四・三五	一四〇・四〇 一四五・三七	一四九・四四 一四五・二三
C	B	B	R	R	C	C
ENE1	NW1	SSW 1		SW3	SW1	SE1
七五・〇〇 三〇・〇〇	七五・〇〇 三三・五〇	七五・〇七 三三・〇〇	七五・〇五 三三・〇〇	七五・〇〇 三三・五〇	七五・〇〇 三〇・五〇	七五・〇五 三〇・〇〇
		二・五		三・〇	二・〇	二・六
				良		良
				全 PM	PM	全 AM
				三・三〇 二・五〇	五・四五	二・七五 一・四〇
				ク	ク	マサゴ
				七〇〇-八〇〇 カツラ	八〇〇-一・二 カツラ 八〇〇-一・二 カツラ	八〇〇-一・五 カツラ
				四四〇	二二〇	一四・五
				七五・〇〇		
AM 終了 八時三五分 荻濱投錨 釣漁業試験		AM 五時五〇分 氣仙沼出帆、七時一五分 遭難船三重縣万榮丸ヲ 氣仙沼へ 曳航再ビ出帆	AM 一時三分 氣仙沼投錨			

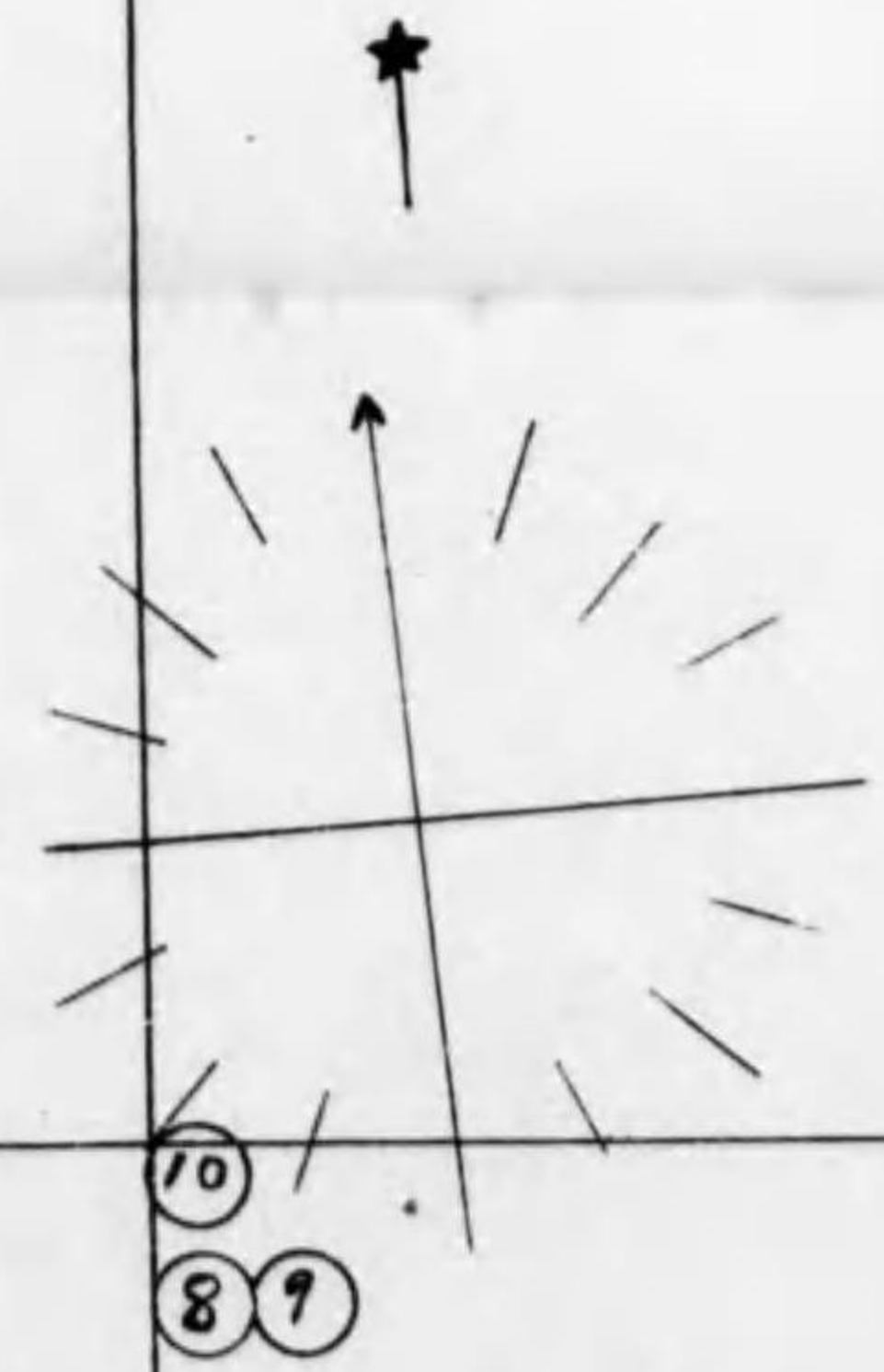


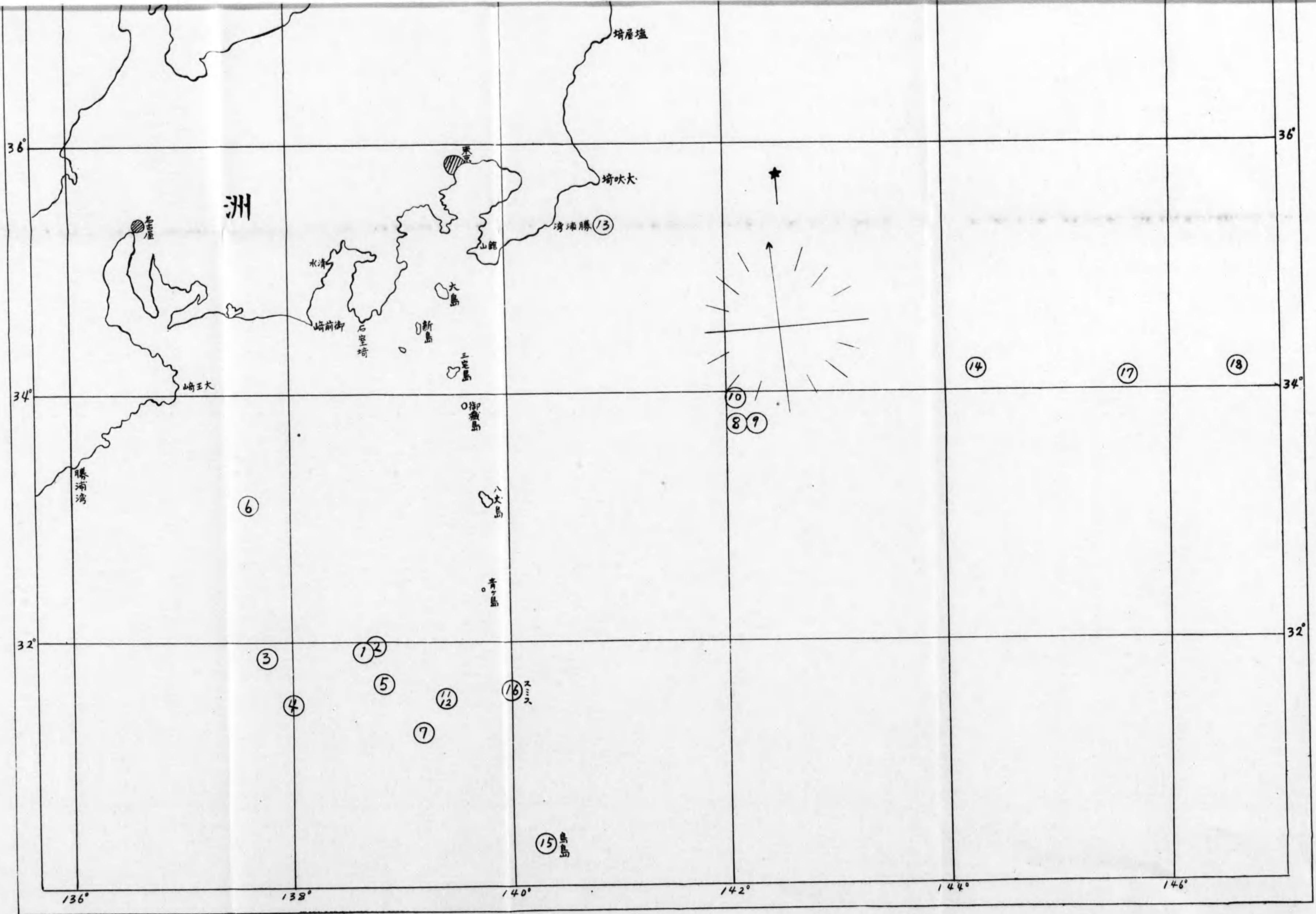
漁場圖

昭和九年度
白鳥丸
輕釣漁業

本

洲





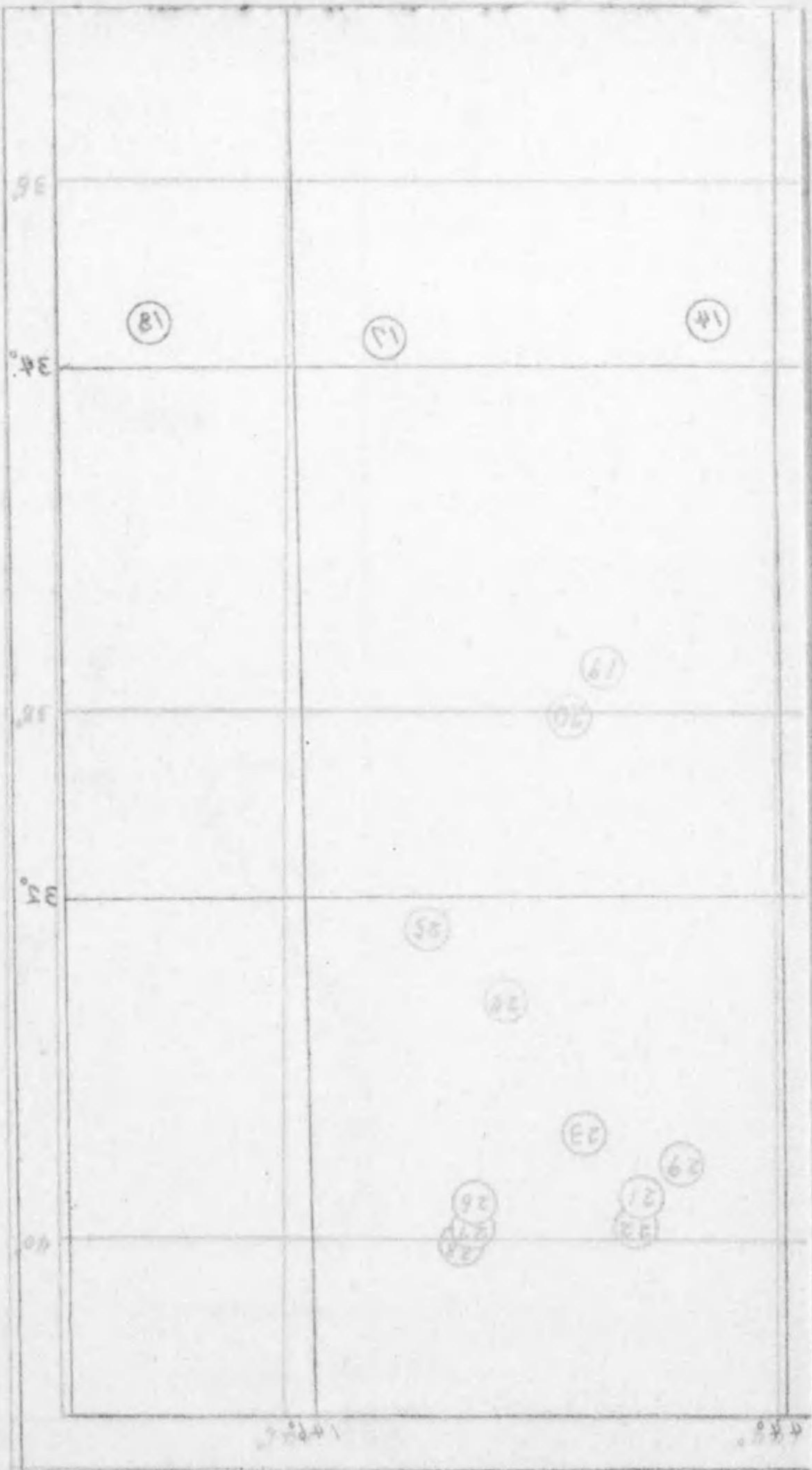
二、鮪延繩漁業試験

前年度ニ繼承シテ本試験ヲ施行セリ

試験船 白鳥丸(總噸數七九噸一五 機關純一三〇馬力)
 乗組員 本場職員 一名 船長以下船員十八名
 操業區域 自和歌山縣沖合 至靜岡縣沖合
 期間 自昭和九年十一月 至昭和十年二月
 航海數 一〇回
 漁獲尼數 まかじき三尼 めかじき三尼 めばち四十一尼 とんぼ二百七十七尼 さめ類九十五尼
 漁獲金額 千三百三圓三十錢

漁具 中繩 百鉢

構造
 幹繩 綿糸二十手百五本三ツ打(三百十五本)長サ百五十尋
 枝繩 (大鮪用)綿糸二十手百五十本三ツ打(四百五十本)長サ五尋二本
 セキヤマ 長サ四尋 二本
 ワイヤー 三本撚三ツ打長サ二尋 二本
 枝繩 (トンボ用)綿糸二十手四十五本三ツ打(百三十五本)長サ三尋九本
 口繩 ラミー二十手三十本撚三ツ打長サ一尋半九本



釣 鈎 大鮎用二本 トンボ用九本
 浮子繩 綿糸二十手四十五本 三ツ打(百三十五本)長サ二十尋
 副漁具 藤田式T型鮎延繩捲揚機
 餌 料 一航海 烏賊五百尾 鱈三千尾

昭和九年十一月二十一日午前七時十五分名古屋港拔錨全日午後三時二十五分三重縣濱島港ニ入港、漁具ノ補充ヲナシ翌二十日午前六時二十五分濱島港拔錨全日午後二時〇分和歌山縣勝浦港ニ投錨出漁ノ諸準備ヲ整ヘ十一月二十五日ヨリ昭和十年二月二十七日ニ至ル間鮎延繩漁業試験ヲ施行ス概要左ノ如シ

第一回

十一月二十五日午前一時五十分勝浦ヲ拔錨東經百三十六度十七分北緯三十三度九分ノ位置ニ至リ午前六時四十五分投錨開始全七時二十五分終了、午後五時〇分揚繩開始全八時十分終了めばち一尾、いらぎ一尾、さめ八尾ヲ漁獲シ全夜ハ漂流シタルモ天候不良トナリタル爲メ二十六日午前二時五十七分歸途ニ就キ午後一時二十五分勝浦投錨漁獲物ノ陸揚ゲヲナス

第二回

十一月二十九日午前六時十分勝浦拔錨東經百三十五度五十四分北緯三十三度十三分ノ位置ニ至リ午前九時四十分投錨開始全十時二十三分終了、午後四時四十分揚繩開始全八時七分終了、いらぎ一尾、まんだい一尾ヲ漁獲シ北東ニ航走、三十日午前四時漂流ス、三十日午前八時十八分東經百三十六度十八分北緯三十三度十六分ノ位置ニ於テ投錨開始全九時七分終了午後四時四十五分揚繩開始全八時十七分終了、さめ七尾、いらぎ三尾ヲ漁獲シ北々東ニ航走シ十二月一日午前三時漂流ス十二月一日午前八時三十五分東經百三十六度二十七分北緯三十三度四十六分ノ位置ニ於テ投錨開始全九時十五分終了、午後五時揚繩開始全八時十六分終了、いらぎ二尾、さめ三尾漁獲シ其ノ儘漂流ス

十二月二日午前九時東經百三十六度十六分北緯三十三度三十四分ノ位置ニ於テ投錨開始全九時四十五分終了、午後四時四十五分揚繩開始全七時四十五分終了、いらぎ二尾、くろかわかじき一尾、まんだい一尾ヲ漁獲歸途ニ就キ午後十時二十二分勝浦港ニ投錨、十二月三日漁獲物ノ陸揚ゲヲナス

第三回

十二月十日午前六時三十五分勝浦拔錨、東經百三十六度十一分北緯三十三度二十五分ノ位置ニ至リ午前九時投錨開始、全九時四十分終了午後五時五分揚繩開始全七時五十五分終了、さめ三尾 いらぎ一尾ヲ漁獲シ其儘漂流ス

十二月十一日午前八時三十分東經百三十六度三十分北緯三十三度二十四分ノ位置ニ於テ投錨開始全九時二十五分終了、午後四時四十分揚繩開始全七時十五分終了、漁獲ナク北ニ向ケ航走、十二日午前三時五十分漂流ス

十二月十二日午前八時十七分東經百三十六度十八分北緯三十三度三十七分ノ位置ニ於テ投錨開始全九時四分終了、午後四時五十分揚繩開始全七時五十三分終了、さめ二尾、めばち一尾ヲ漁獲シ歸途ニ就キ午後十時五十八分勝浦ニ投錨、十三日漁獲物ノ陸揚ゲヲナス

第四回

十二月二十日午前六時三十五分勝浦拔錨全十一時五十二分東經百三十六度二十一分北緯三十三度ノ位置ニ至リ投錨開始午後〇時三十分終了、全五時五十五分揚繩開始全九時終了、さめ一尾、いらぎ一尾、めかじき一尾ヲ漁獲シ東微北ニ向ケ航走ス

十二月二十一日午前七時十五分東經百三十七度三十七分北緯三十三度八分ノ位置ニ至リ投錨開始全八時終了午後四時五十分揚繩開始全七時五十分終了、さめ九尾ヲ漁獲、北西微北ニ向ケ航走、二十二日午前五時三十五分漂流ス

十二月二十二日午前八時五分東經百三十六度二十三分北緯三十三度四十四分ノ位置ニ於テ投錨開始、全八時四十分終了、午後五時揚繩開始全七時三十五分終了、さめ三尾、いらぎ一尾、まんだい二尾ヲ漁獲シ南々東ニ向ケ航走シ二十三日午前二時漂流ス

二十三日午前八時天候險惡ノ模様トナリタレバ歸途ニ就キ午後二時四十分勝浦投錨、漁獲物ノ陸揚ゲヲナス

第五回

一月十二日午前〇時三十分勝浦拔錨、東經百三十六度二十六分北緯三十二度四十七分ノ位置ニ至リ午前八時二十二分投錨開始全九時八分終了、午後五時三十五分揚繩開始全九時終了、さめ七尾ヲ漁獲シ南々西ニ航走、十三日午前八時二十八分東經百三十六度十二分北緯三十一度二分ノ位置ニ至リ投錨開始全九時十五分終了、午後六時揚繩開始全九時二十分終了、しび五尾、さめ二尾、めかじき一尾ヲ漁獲シ北々東ニ航走、十四日午前三時漂流ス

第十四、五兩日共天候不良ニシテ操業不能ニ付キ午後十一時二十五分勝浦ニ入港、十六日漁獲物ノ陸揚ゲヲナス

第六回

一月二十日午後四時四十分勝浦拔錨漁場ニ向ヒ二十一日午前四時四十五分漂流、投錨準備ヲナセルモ天候不良ニ付キ中止シ午後六時三十分勝浦ニ投錨ス

第七回

一月二十四日午後五時十五分勝浦拔錨、二十五日午前〇時漂流全七時、南西ニ航走午後一時四十二分東經百三十六度三十九分北緯三十二度二十九分ノ位置ニ至リ投錨開始全二時三十三分終了、午後六時四十分揚錨開始全十時終了、とんぼ十六尾、青鯨三尾、むろざめ一尾ヲ漁獲シ南東ニ向ケ航走ス

二十六日午前七時三十八分東經百三十七度二十九分北緯三十一度三十七分ノ位置ニ至リ投錨開始、全八時二十分終了、午後五時三十五分揚錨開始全八時三十八分終了、とんぼ二十九尾、さめ五尾ヲ漁獲シ北微西ニ航走ス

一月二十七日午前九時四十分北東ニ轉針シ午前十時東經百三十七度二十二分北緯三十二度五十四分ノ位置ニ於テ投錨開始全十時四十五分終了、午後四時三十五分揚錨開始全七時三十五分終了、とんぼ二尾、さめ五尾ヲ漁獲シ北東微北ニ定針歸途ニ就ク、二十八日午後六時三十分靜岡縣清水港ニ投錨二十九日漁獲物ノ陸揚ゲヲナス

第八回

二月十三日午後五時二十五分勝浦拔錨、漁場ニ向フ十四日、午後一時九分東經百三十七度四十九分北緯三十二度五分ノ位置ニ至リ投錨開始全一時五十八分終了、午後七時揚錨開始全十時十五分終了、めばち二尾、とんぼ七尾、めかじき一尾、いらぎ二尾ヲ漁獲シ其ノ儘漂流ス、二月十五日午前七時四十六分東經百三十八度二十二分北緯三十二度三十七分ノ位置ニ於テ投錨開始全八時三十分終了、午後六時二十分揚錨開始全九時三十分終了、とんぼ六十一尾、さめ二尾、めばち十一尾ヲ漁獲シ午後十時十分南西ニ航走ス

二月十六日午前一時、南西ニ轉針全四時四十五分更ニ東北東ニ轉針全七時三十分東經百三十八度三十分北緯三十三度二十分ノ位置ニ至リ投錨開始全八時二十九分終了、午後六時三十分揚錨開始全九時五十五分終了、めばち五尾、とんぼ六十四尾、いらぎ一尾、さめ二尾ヲ漁獲シ歸途ニ就ク、十七日午前十時五十五分清水港ニ投錨、十八日漁獲物ノ陸揚ゲヲナス

第九回

二月二十一日午後八時十五分勝浦拔錨漁場ニ向フ、二十二日午前八時東北東ニ轉針午後三時北々東ニ更ニ轉針シタルモ天候險惡ノ兆アリタレバ歸途ニ就キ全六時二十三分勝浦ニ投錨ス

第十回

二月二十四日午前二時十分勝浦拔錨、全七時東經百三十六度四十五分北緯三十三度十七分ノ位置ニ至リ投錨開始全七時五十一分終了、午後六時三十分揚錨開始全九時五十五分終了、まかじき一尾、めばち五尾、とんぼ五十五尾、さめ六尾ヲ漁獲シ東南東ニ航走ス

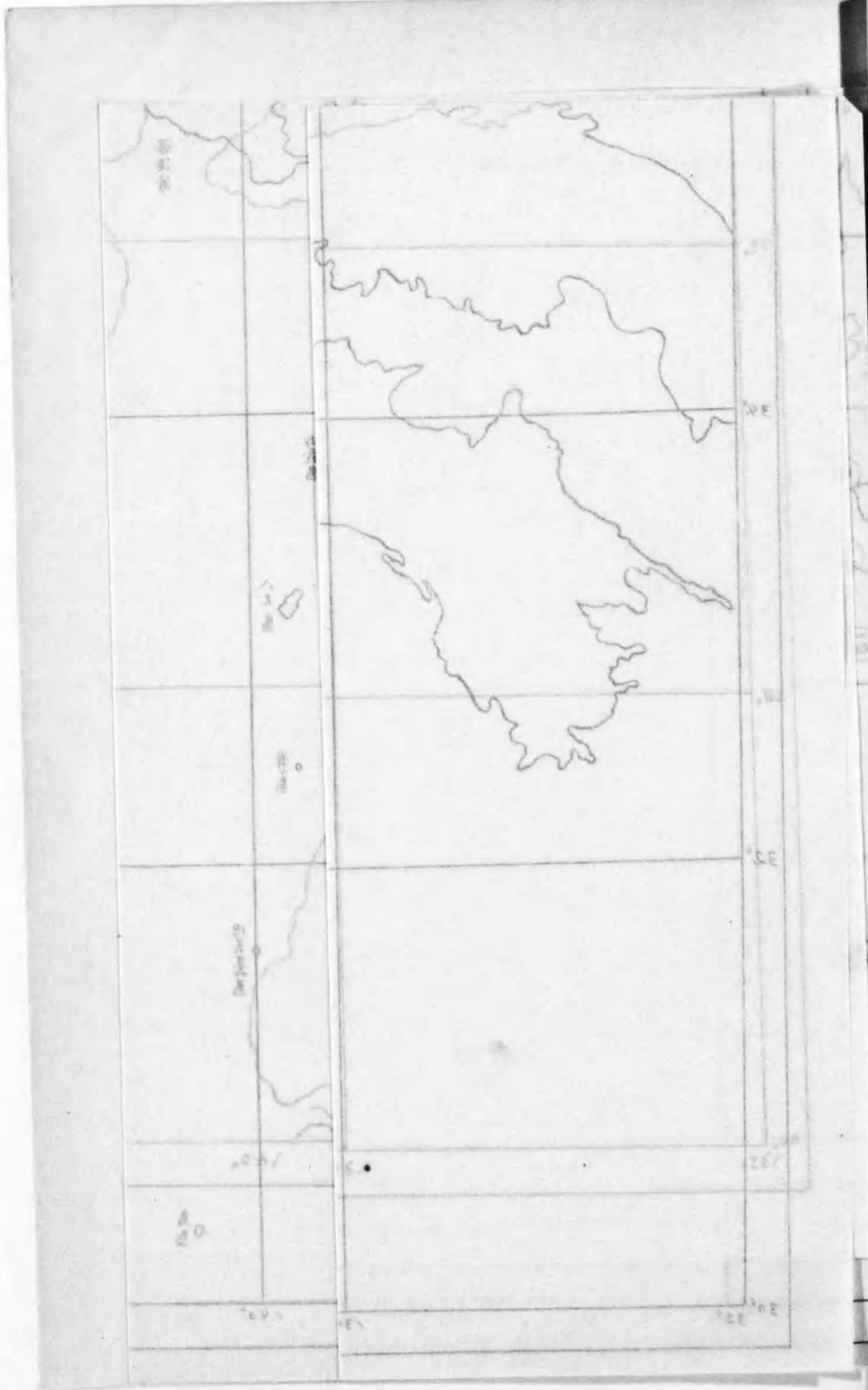
二月二十五日午前六時七分東經百三十六度二十四分北緯三十三度六分ノ位置ニ至リ、投錨開始、全七時終了、午後六時三十分揚錨開始全九時四十四分終了、めばち十尾、とんぼ八尾、さめ四尾ヲ漁獲シ東ニ航走ス

二十六日午前四時漂流シ、全七時二十五分東經百三十六度二十五分北緯三十三度十一分ノ位置ニ於テ投錨開始、全七時五十分終了シタルモ天候險惡ノ兆アリ、午前十一時三十分揚錨開始午後一時五十八分終了、めばち一尾、とんぼ三十五尾ヲ漁獲シ北微東ニ定針歸途ニ就ク、二十七日午前十時三谷港ニ投錨漁獲物ノ陸揚ゲヲナス

業務ノ都合ニ依リ以上ヲ以テ本試験ヲ中止セリ

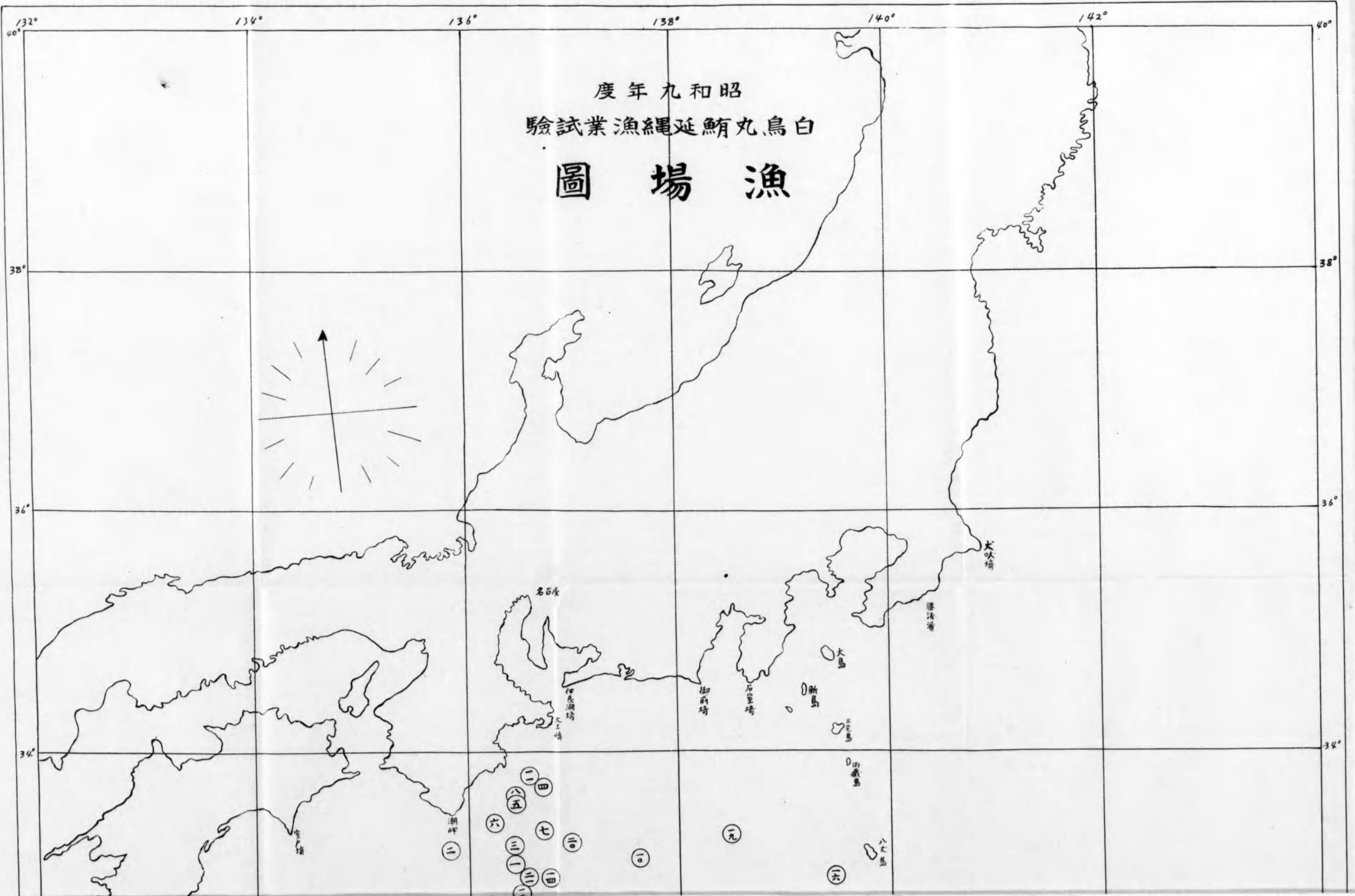
鮪延繩漁業試験表

月日	符號	位(東經) 置(北緯)	候天	風力 風向	氣壓 氣温	水温	漁具 揚錨時分	使用數	餌料	漁獲物 種類 數量 價格	記事
十一 二五	(一)	一三六・七 三五・九	B	E1	一七・五 一七・〇	三三・五	後前 六・四 八・〇	二〇鉢	い わ し か	めばち いらぎ さめ	第一航海
二九	(二)	一三五・四 三五・三	B	NW1	一七・四 一七・〇	三三・三	後前 九・四 八・七			まんだい いらぎ	第二航海
三〇	(三)	一三六・八 三五・六	B	NWN2	一七・四 一七・〇	三三・八	後前 八・八 八・七			いらぎ	全

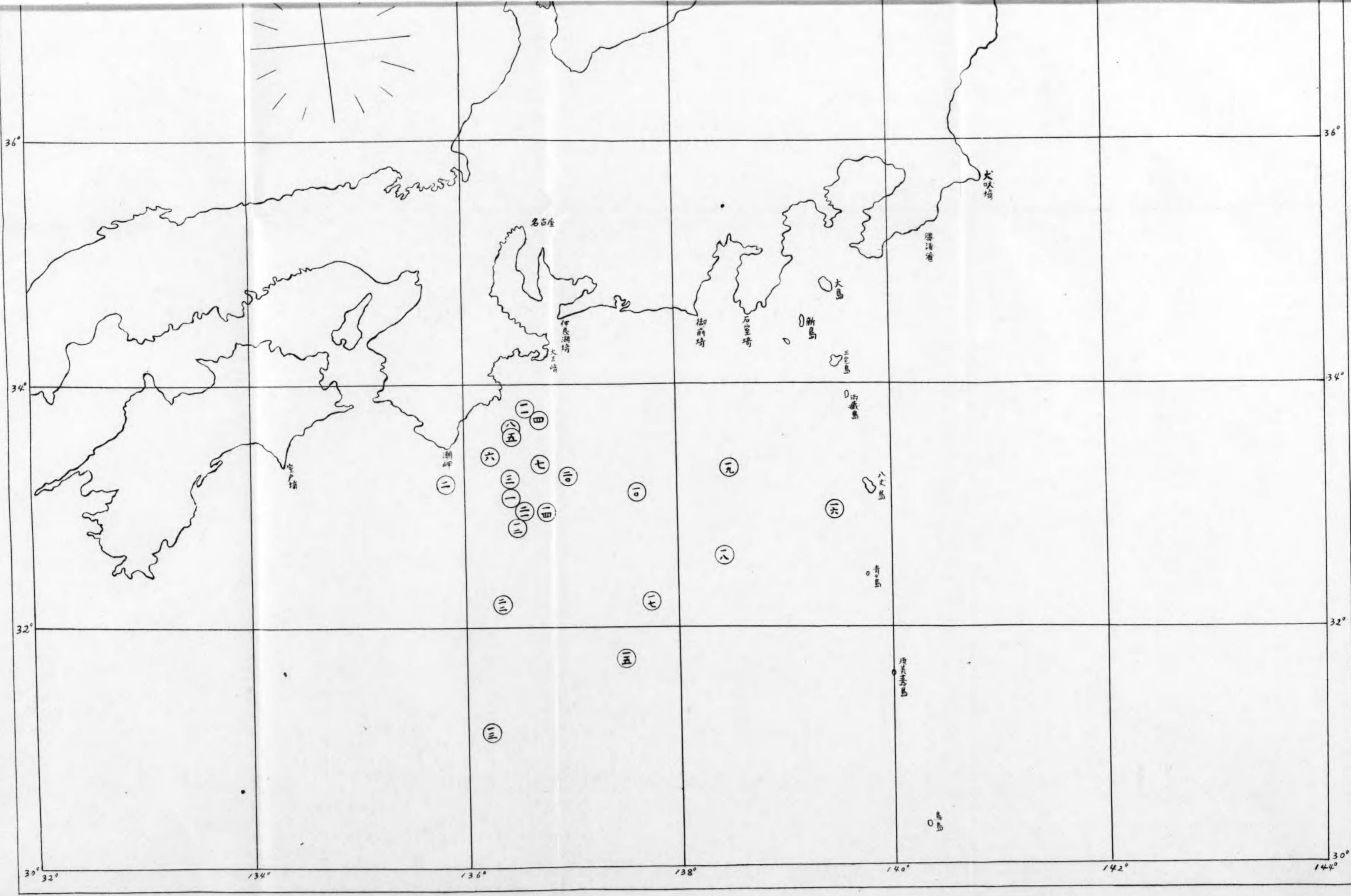


二二	二〇	一三	一一	一一	一一	二〇	一一	一一	一〇	二	十二
		(三)	(三)	(二)	(二)	(九)	(八)	(七)	(六)	(五)	(四)
		一六・三三 三〇・〇三	一六・三六 三〇・四七	一六・三三 三〇・四四	一七・七七 三〇・〇八	一六・二二 三〇・〇〇	一六・二八 三〇・〇七	一六・三〇 三〇・〇四	一六・二二 三〇・〇五	一六・二六 三〇・〇六	一六・二七 三〇・〇七
C	B	C	B	C	C	BC	B	B	B	B	B
W 1	SW1	NE2	NW1	NE1	NE3	ESE1	NE1	NE1	WSW2	SW1	NW3
一四・七五 一六・五	一三・七六 一五・〇	一六・二二 二〇・〇八	一五・〇〇 一七・七	一六・三三 一八・五	一五・〇〇 一七・六	一六・〇〇 一九・〇	一六・〇〇 一九・〇	一六・五五 一九・三	一六・〇〇 一九・〇	一〇・五五 一九・五	一四・五五 二八・八
		後前 九・〇〇 八・二八	後前 九・〇〇 八・三三	後前 七・五五 八・〇五	後前 七・五五 七・五五	後前 九・〇〇 一一・五三	後前 七・五三 八・一七	後前 七・五三 八・〇三	後前 七・五五 九・〇〇	後前 七・四五 九・〇〇	後前 八・二六 八・五五
		めさし めかじき	さめ	まんだい	さめ	めかじき	めさめ		いらぎ	まんだい	くろかわ いらぎ
		一一五	七	二一三	九	一一四	一一二		一一三	一一三	二二
		二六、五九		五、七〇			五、二〇			一四、三	
天候不良ノ爲メ操業セズ	第六航海	漁獲物賣却	第五航海	漁獲物賣却	全	第四航海	漁獲物賣却	全	第三航海	漁獲物賣却	全

昭和九年九月
 白鳥丸延縄漁業試驗
 漁場圖

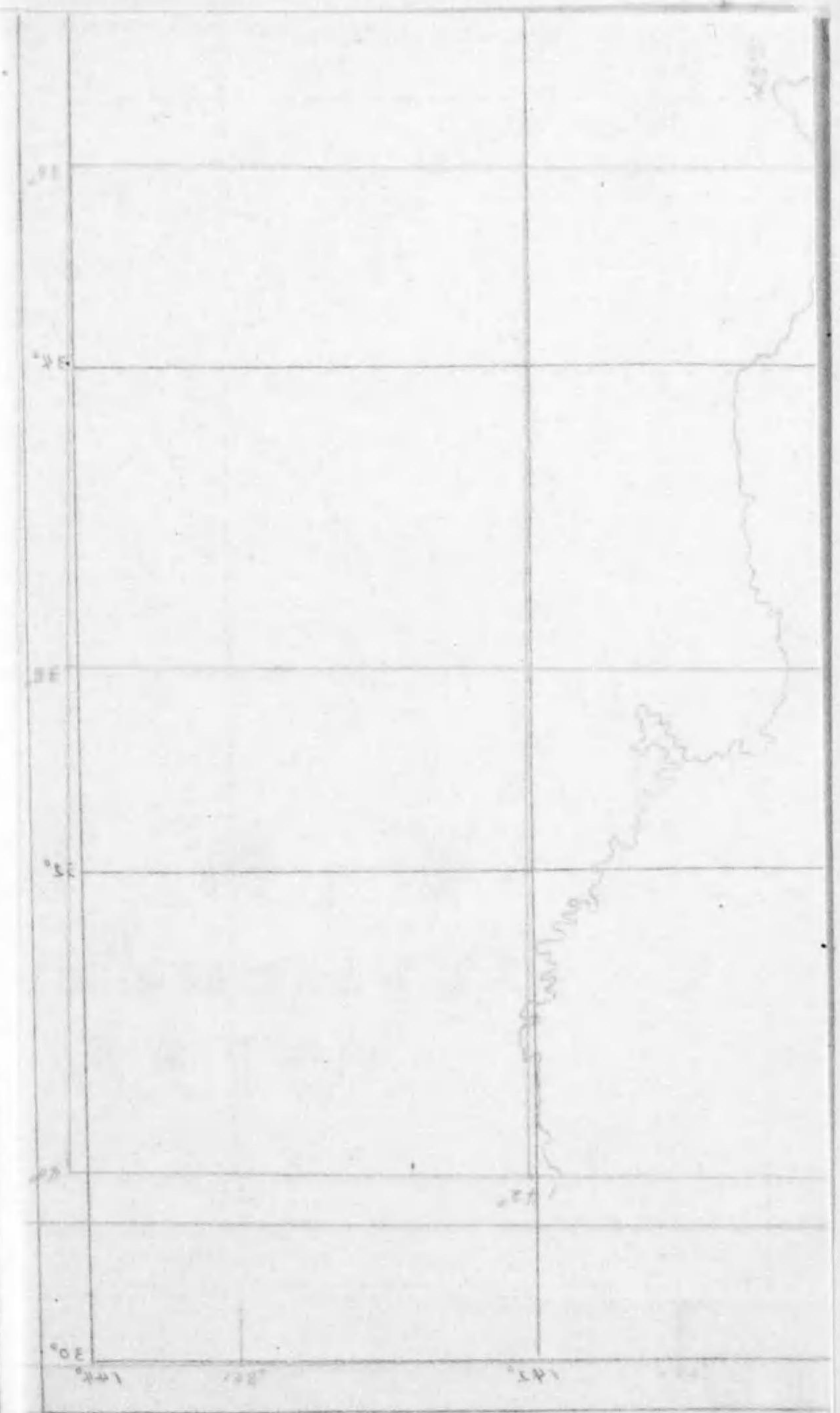


二	
C	B
W 1	SW
四七 三二	一六 二九
一六	二九



二
C
W 1
四七五
三六五
天候不良ノ爲メ操業セズ

二六	二五	二四	二三	二二	一六	一五	一四	二七	二六	二五	
(三)	(三)	(三)			(元)	(六)	(七)	(六)	(五)	(四)	
一三 三〇 二二	一三 三〇 二四	一三 三〇 二五			一三 三〇 二〇	一三 三〇 二七	一三 三〇 二九	一三 三〇 二五	一三 三〇 二七	一三 三〇 二九	
R	B	C	R	B	B	B	B	B	B	B	
SSE 2	NW 2	SE 1	SW 3	SE 1	NW 2	WNW 1	N 1	NNW 2	W 1	NW 3	
一三 七〇 〇〇	一六 七三 〇〇	九〇 七三 〇〇	一八 七五 〇〇	一四 七三 〇〇	一四 七三 〇〇	一七 七三 〇〇	一四 七三 〇〇	二二 七三 〇〇	二二 七三 〇〇	九〇 七三 〇〇	
一七 六〇 〇〇	一七 六〇 〇〇	一七 六〇 〇〇	一七 六〇 〇〇	一五 六〇 〇〇	一八 五五 〇〇	一八 五五 〇〇	一八 五五 〇〇	一六 五五 〇〇	一六 五五 〇〇	一六 五五 〇〇	
後前	後前	後前			後前	後前	後後	後前	後前	後後	
一七 五八 〇〇	九〇 四七 〇〇	九〇 四七 〇〇			九〇 四七 〇〇	九〇 四七 〇〇	一〇 四五 〇〇	七〇 四五 〇〇	八〇 三八 〇〇	一〇 四五 〇〇	
とめ んば ぼち	さとめ んば めぼち	さとめ んば めぼち	まか し めぼち		さいとめ らんば めぎぼち	めさ らんば ちめぼ	いめ らんば きぎぼち	さ らんば めぼ	さ らんば めぼ	む らんば めぼ	あ らんば めぼ
三 五	一 四八〇	一 六五五	一 五五		二 一六四五	二 一六	二 一七二	五 二	五 九	一 三六	
三 四一、四 五					四 二、六			一 〇八、八 五			
漁獲物賣却	全	第十航海	荒天ノ爲メ操業セズ	第九航海	漁獲物賣却	全	第八航海	漁獲物賣却	全	第七航海	



三、夏季水産講習會

夏季休暇ヲ利用シ縣下實業補習學校教員ノ水産ニ關スル知識普及ノ爲左記ノ通り講習會ヲ開催セリ

記

- 一、講習期間 自七月二十五日 至全二十九日 五日間
- 二、講習科目 水産行政、漁撈、製造、養殖及水産物罐詰其他加工實習
- 一、講習場所 幡豆郡寺津町小學校
- 一、講習生 約 百 名
- 一、講 師 水産講習所教授 理學博士 松 生 義 勝
愛知縣水産課長 飛 塚 高 次
愛知縣水産試驗場長 西 塔 朝 祐
愛知縣農林技師 內 田 泰 二
同 大村三樹之助
同 向山豐之進
愛知縣農林技手 關 根 宗 三

船舶職員養成講習會

輓近漁業ノ進展ニ伴ヒ大型漁船ノ發達著シキモノアリ之ガ取扱者タル有資格者ヲ養成スルノ急務ヲ痛感シ左記ノ通り講習會ヲ開催セリ

- 一、講習期間 自十一月十五日 至全月五日 二十二日間
- 一、講習場所 知多郡師崎町大井 師崎町役場
- 一、講習生 男三十六名 女七名

一、講 師 漁船技術員養成所囑托 岡 崎 龍
本講習會終了後船舶職員試驗規程ニ依ル小形發動機船三等機關士ノ學科試驗並ニ体格検査ヲ施行セリ

- 學科試驗
- 一、受験者 男三十六名 女七名
- 一、合格者 全 全
- 体格検査
- 一、受檢者 男三十五名 女七名
- 一、合格者 男三十四名 女七名

第二製造部

一、鰺トマト漬罐詰製造試験

本年ハ八月ヨリ十月ニ至ル間三河灣ニ於ケル魚建網ニ多數ノ漁獲アリシモ場所ノ諸種ノ事情ニ依リ製造試験ヲ實施スルコト能ハズ、漸ク二月末日ニ至リ伊勢灣篠島沖ニ於テ漁獲サレタル中羽鰺ヲ以テ本試験ヲ實施セリ
原料使用數量一九貫六〇〇匁ニシテ樽圓三號罐二〇七罐ヲ生産セリ
試験期日、生産數量次表ノ如シ

試験期日	原料數量	生産數
二月二十五日	一九貫六〇〇匁	二〇七罐

試験方法

(1) 原料測定

前記原料一九貫六〇〇匁中ヨリ次ノ二〇尾ヲ選ビ測定セルニ次ノ如シ
第一回

番 號	秤 量	體 長	體 量	頭 部 除 去 後 ノ 體 量	頭 部 及 內 臟 除 去 後 ノ 體 量	備 考
1	五、 五、 五、 分		一三、 〇、 匁	九、 五、 匁	八、 五、 匁	

第二回

番 號	秤 量	體 長	體 量	頭 部 除 去 後 ノ 體 量	頭 部 及 內 臟 除 去 後 ノ 體 量	備 考
平均		五、 六、	一四、 八、	一〇、 五、	九、 四、	
10		五、 七、	一五、 〇、	一一、 五、	一〇、 〇、	
9		六、 一、	一五、 五、	一一、 〇、	一〇、 〇、	
8		六、 〇、	一六、 五、	一二、 〇、	一〇、 五、	
7		六、 〇、	一六、 〇、	一一、 五、	一〇、 〇、	
6		五、 八、	一五、 五、	一一、 〇、	一〇、 〇、	
5		五、 六、	一三、 五、	一〇、 〇、	八、 五、	
4		五、 八、	一五、 〇、	一一、 〇、	九、 五、	
3		五、 六、	一四、 〇、	一〇、 〇、	八、 五、	
2		五、 七、	一四、 〇、	一〇、 〇、	八、 五、	

(2) 原料處理

平均	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
五、八	五、九	五、七	六、一	六、〇	五、九	五、八	五、七	五、八	五、八	六、一 <small>十分</small>
一五、五	一五、五	一四、〇	一五、〇	一五、〇	一六、〇	一四、〇	一五、五	一四、五	一五、五	一七、五
一一、五	一一、〇	一〇、五	一一、五	一一、〇	一二、〇	一〇、〇	一一、五	一〇、五	一一、五	一三、〇
九、五	一〇、〇	九、五	一〇、〇	九、五	一〇、〇	九、五	一〇、〇	九、五	一〇、〇	一一、〇

(イ) 頭部、内臓除去及ビ洗滌 前年度同様

(ロ) 鹽漬 母氏一五度 四十五分間

(ハ) 洗滌 前年度同様

(ニ) 乾燥 陰乾、日乾共ニ前年度同様ニ行ヒタルモ陰乾シ三時間、日乾一時間半ニシテ、乾燥度ハ鹽漬水切後ノ魚体重量ニ對シ一三「パーセント」ニ相當セリ 尙尾部及脊椎骨ノ除去モ昨年度ト同様ナリ

(3) 肉 詰

先ツ楕圓三號罐ニ(4)ノ配合割合ヲ以テ調製セル「トマトソース」一勺(六匁)宛ヲ罐底ニ入レソノ上ニ前記ノ通り處理セル鱈四七匁宛(一罐四七匁ヲ限度トシテ六尾宛)頭部尾部ヲ交互ニ且ツ魚腹ヲ斜上向トシテ体裁ヨク肉詰シ更ニ「トマトソース」一勺(六匁)ヲ注加シ「アドリアンシーマー」ヲ以テ卷締密封ス

(4) 「トマトソース」配合割合

品名	數量	品名	數量
「トマトバルブ」	一斗四升	食塩(精製塩)	二二〇匁
砂糖(白ザラ)	四九〇匁	食酢	一升四合
パブリカ	八匁	タイム	少量
カツパー	一四匁	セイジ	少量
味ノ素	六匁		

(5) 給 熱

(イ) 脱氣加熱 攝氏一〇〇度 一〇分間
 (ロ) 殺菌加熱 攝氏一〇〇度 六〇分間
 本年度ハ諸種ノ事情ニ依リ三河灣ニ於ケル盛漁期ヲ逸シ漸ク二月末日ニ至リ試験セシ爲鱸ノ味及ビ含有脂肪分等良好ナラザリシ嫌アリ且ツトマトソース濃度ニ於テモ適當ナラズト思惟セラル、ヲ以テ明年度以降尙繼續試験セントス

二、荒布罐詰製造試験

本年度ニ於テハ原料貯藏試験ヲ兼ネ行ハンガ爲昨年度購入ノ原料ヲ充分乾燥後貯藏セルモノト本年新ニ採集セル原料トニ付同一方法ヲ以テ比較試験ヲ施行セリ 原料トシテ昨年産五二〇匁本年産四貫二八〇匁ヲ使用シ試験ノ結果六號罐(半封度罐)二五七罐生産セリ
 試験期日生産數量次表ノ如シ

試験期日	原 料	生 産 數
二月 二十一日	八年産 五二〇匁	四一
全	九年産 二貫二四〇匁	一一三
二月 二十七日	九年産 二貫〇四〇匁	一〇三

一、方 法

第一回 試験 昭和十年二月二十一日

(A)

- (1) 原料採集地 渥美郡赤羽根村和地地先
- (2) 原料採集時期 昭和八年八月
- (3) 處理及調味
 乾燥貯藏セル原料(五二〇匁)ヲ一夜水漬シテ株切ヲ行フ後荒布ノ縁邊及ビ汚染セル部分ヲ切り捨テ方五分位ニ細切シ更ニ一夜水漬ス 翌朝之ヲ引揚ゲ充分ニ水切後二重釜ニ移シ細切荒布ヲ浸ス程度ニ清水ヲ加ヘ更ニ食酢(一合五勺)ヲ注入シ約四十分間湯煮軟化セシメ水切放冷後調味ヲ行フ

調味液配合割合

醬 油 (龜甲萬) 二 升
 砂 糖 (黃ザラ) 二〇〇 匁
 味 淋 一 合
 味 ノ 素 五 匁

先ヅ醬油ニ砂糖ヲ溶解セシメ之ニ前記ノ充分水切セル細切荒布ヲ入レ四十分間煮熱セル後味淋ヲ加ヘ更ニ十分間煮熱最後ニ「味ノ素」ヲ加ヘ攪拌シツ、五分間煮熱シ荒布ノ調味ヲ了ハル 之ニ次ギノ通り調味セル大豆及生姜ヲ加ヘ攪拌シテ充分混和セシメタルモノヲ煮揚箕ニ取上ゲ、調味液ヲ滴下放冷後肉詰ヲ行フ

(イ) 生姜ノ調味 生姜ヲ叮嚙ニ洗滌剝皮セルモノヲ一分角長サ五分乃至六分位ニ細切シ醬油一升五合、砂糖(黃双)一五〇匁ノ割合ニ配合セル調味液中ニテ二十分間煮熱味付シ調味液ト共ニ三等分ス

(ロ) 大豆ノ調味 大豆(白大豆)二升ヲ水洗シテ爽雜物ヲ除キ三時間半文火ニテ湯煮シ充分軟化セシメタル後醬油一升五合ヲ加ヘテ更ニ二十分間煮熱調味シ之ヲ生姜ト同様三等分ス

備考 三等分セル生姜、大豆ハ夫々調味セル(A)、(B)、荒布ニ混和スルモノトス

- (4) 肉 詰 前述ノ通り調味セル荒布、大豆、生姜ヲヨク混和シ六號罐(半封度罐)ニ四十匁宛肉詰シ之ニ調味殘液一匁宛注入後卷締密封ス
- (5) 給 熱 脱氣加熱 攝氏一〇〇度 一分間
殺菌加熱 五封度 五〇分間
- (6) 製了罐數 四十一罐
- (7) 荒布處理中ノ步留表

乾燥セル時ノ重量	水漬後ノ重量	株切後ノ重量	細切後ノ重量	水漬後ノ重量	製罐數
五二〇匁	一貫九四〇匁	一貫七四〇匁	一貫〇〇〇匁	一貫三〇〇匁	四一罐

(B)

- (1) 原料採集地 知多郡豐濱町地先
- (2) 原料採集時期 昭和九年八月
- (3) 處理及調味
乾燥貯藏セル原料(二貫二四〇匁)ヲ(A)ト同様ノ方法ニ依リ細切セルモノヲ二等分シ湯煮軟化セルモノト然ラザルモノトノ二方法ヲ以テ調味ス
(a) 湯煮セザルモノ
前記ノ如ク處理セル細切荒布三貫五四〇匁ノ中一貫七六〇匁ヲ(A)ノ場合ト同様ノ方法ヲ以テ調味シ糞ニ三等分シ置ケル大豆、生姜ヲ混和シテ肉詰ス

調味液配合割合

醬油 (龜甲萬)	二升五合
砂糖 (黃ザラ)	二五〇匁

食酢 一合
味淋 一合五勺
味素 五匁

(b) 湯煮セルモノ
細切荒布一貫七八〇匁ヲ水八升食酢三合ヲ以テ(A)ト同様ニ湯煮ヲナシ左記調味液中ニテ味付セルモノニ(a)同様大豆及生姜ヲ混和シ肉詰ス

調味液配合割合
醬油 (龜甲萬) 二升五合
砂糖 (黃双) 二五〇匁
味淋 一合五勺
味素 五匁

- (4) 肉 詰 (A)ノ場合ト同様
- (5) 給 熱 (a) 五十五罐
- (6) 製了罐數 (b) 五十八罐
- (7) 荒布處理中ノ步留表

(a)	乾燥セル時ノ重量	水漬後ノ重量	株切後ノ重量	細切後ノ重量	水漬後ノ重量	製罐數
(b)	二貫二四〇匁	四貫二六〇匁	三貫九〇〇匁	二貫六五〇匁	一貫七六〇匁	五五罐
(b)	—	—	—	—	一貫七八〇匁	五八罐

第二回試驗 昭和十年二月二十七日

(1) 原料採集地 知多郡豊濱町地先

(2) 原料採集期日 昭和九年八月

(3) 處理及調味

原料ノ處理及調味等凡テ第一回ノ(B)(b)ト同様ニシテ湯煮及調味ノ配合割合ヲ示セバ次ノ如シ

湯煮用

細切荒布 水切セルモノ 四貫三八〇匁

水 一斗五升

食酢 六合

調味用

細切荒布 湯煮水切セルモノ 四貫一〇〇匁

醬油 (龜甲萬) 五升五合

砂糖 (黃双) 五五〇匁

味淋 三合五勺

味ノ素 一〇匁

生姜調味用

生姜 (Aト同様ニ細切セルモノ) 一貫〇八〇匁

醬油 (龜甲萬) 三升

砂糖 (黃双) 三〇〇匁

大豆調味用

大豆 (白大豆) 二升五合

醬油 (龜甲萬) 二升

生姜、大豆共ニ第一回試驗ト同様ニ調味シ置キ荒布ノ調味ヲ終ルト同時ニヨク混和、肉詰ス、肉詰給熱モ第一回ト同様ニ付省略ス

荒布處理中ノ步留表

乾燥時ノ重量	水漬後ノ重量	株切後ノ重量	細切後ノ重量	水漬後ノ重量	生産數
二貫〇四〇匁	五貫二八〇匁	四貫八五〇匁	三貫四〇〇匁	四貫三八〇匁	一〇三罐

(ニ) 結論

本品ニ對スル名古屋市内主ナル食料品商ノ品評ヲ綜合スレバ次ノ如シ

- 1、硬度外觀共ニ適當ナラズ尙工夫ヲ要ス
 - 2、鹹味多ク甘味不足ナリ
 - 3、混和物トシテ大豆ヲ用フル場合ハ充分ニ調味スベク生姜ノ用量過多ナリ、尙大豆ヲ廢シ蛤、蜆等ヲ混用シ又ハ紫蘇實ニ依リ香味ヲ添ガスルコト
 - 4、罐詰トスルヨリハ鹽昆布ノ如ク荒布ノミ適當ニ調味シ折詰又ハ樽入トシテ販賣スルヲ得策トスベシ
 - 5、罐詰トシテノ賣價ハ一罐卸價七錢小賣價拾錢迄ナラバ相當需要アルベシ
- 以上品評結果ニ鑑ミ更ニ調味方法ヲ考究シ經濟試驗ヲモ併セ行ハントス

三、實地指導講習

縣下幡豆郡寺津町寺津公民學校ニ於テ左記ノ通り蚶及海苔ノ加工ニ關シ實地指導及講習ヲ行ヘリ

一、期 日 昭和九年五月三日、四日、二日間

二、講習要目 第一日、蚶加工ニ關スル講義及時雨煮鹽漬講習
第二日、海苔加工ニ關スル講義及佃煮鹽漬講習

三、講習生 寺津公民學校生徒及別科生徒

四、講師 愛知縣農林技手 關根宗三

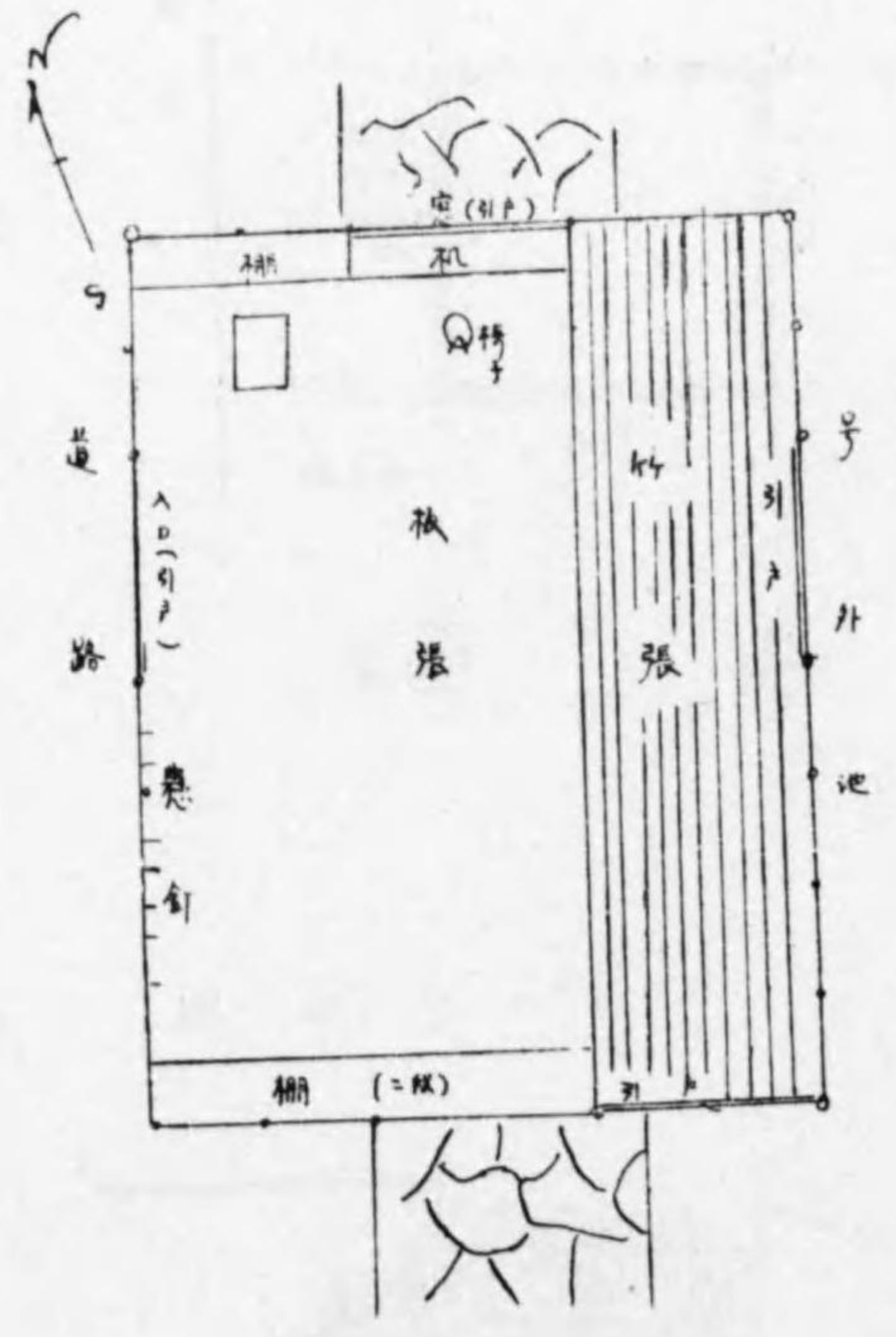
實飯郡前芝村梅齋 山口章次

第三 養殖部

一、鹹水養魚試驗

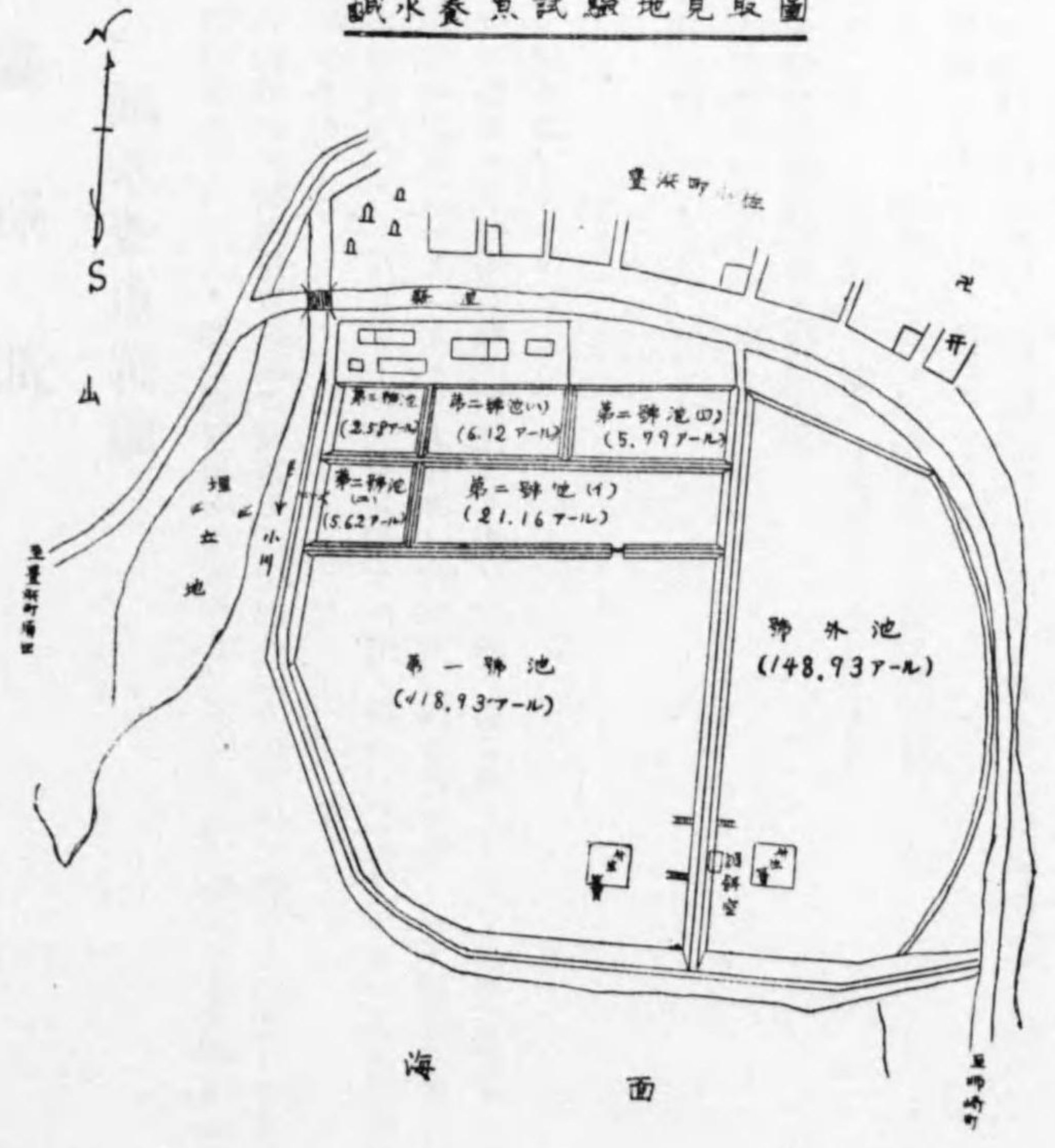
鹹水魚族養殖試驗ノ爲昭和九年六月ヨリ知多郡豐濱町小佐所在ノ養魚池（大正九年本場養殖部引揚以來十有五年其儘荒廢ニ委シアリシモノ）ヲ利用シテ鹹水養魚試驗ヲ實施セリ全池ハ三方山ヲ以テ繞サレ冬暖ニ夏涼シク海水清澄ニシテ淡水ノ影響ヲ蒙ルコト比較的少ナシ
其設備ハ別圖ノ如ク水面積三〇八、五五アルルヲ七區劃セル池ノ外一、二七アルルノ事務室兼宿直室一棟、倉庫及小使室一棟、物置一棟、番小屋兼調餌室一棟、九・一米四方ノ竹生簀二個及投餌場トシテ棧橋三個ヲ設ク尙舊水門アレトモ破損埋没シテ其ノ用ヲナサズ海水ハ堤防用石塊ノ間隙ヨリ潮ノ干満ニ從ヒ出入ス且ツ永年放置セシ爲甚ダシク荒廢シ使用シ得ルハ僅カニ第一號池及號外池ノミナリ



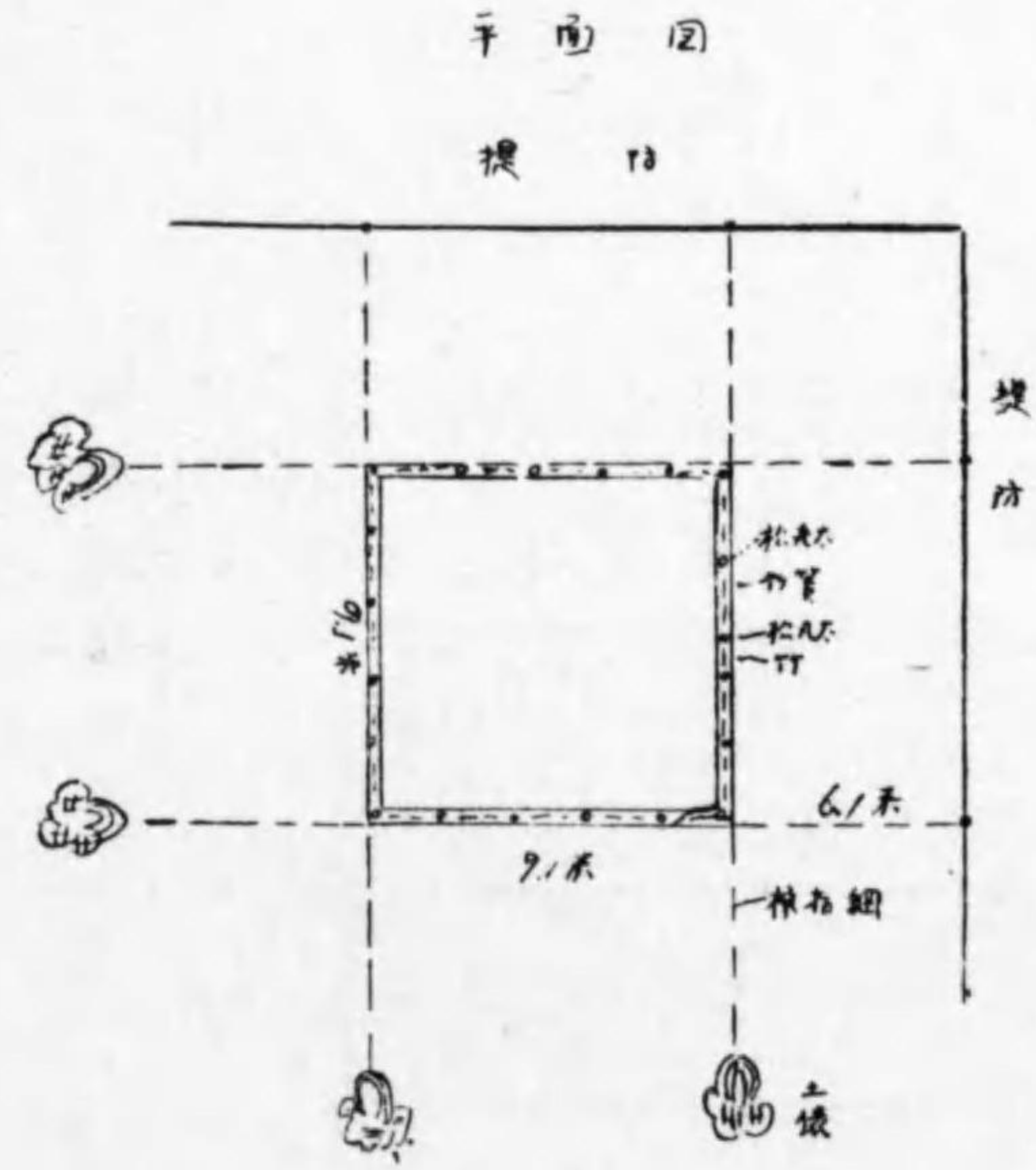


調餌室見取圖

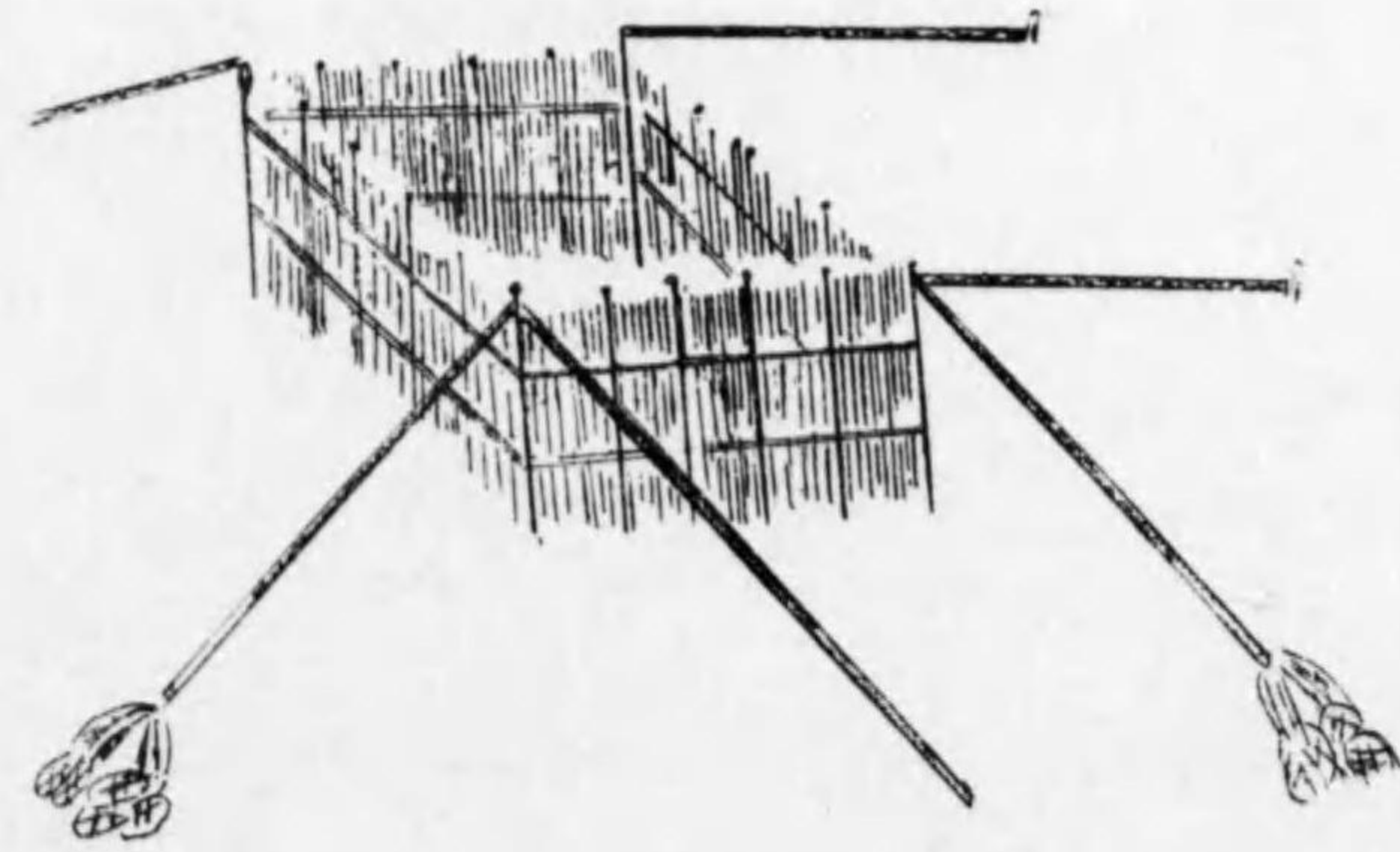
鹹水養魚試驗地見取圖



竹生簀



立体圖



1. 鱸仔飼育試験

鱸仔ノ生育、經濟等ニ關スル基礎的試験ノ目的ヲ以テ第一號池及號外池ニ於テ施行セリ

(イ) 試験池ノ狀況

- (一) 面積 第一號池 一一八、三五アール
- 號外池 一四八、九三アール
- 計 二六七、二八アール

(二) 底質

底質ハ岩石ナルモ其上ニ約〇、七米ノ泥土沈積シ、あじも、ほんだわら、あをさ等相當ニ繁茂ス

(三) 水質

清濁 清澄

水温 (養成期間) 自六月二十六日 最高 攝氏 二九、七度
至十月十一日 最低 〇、〇度

比重 (全 右) 最高 二四、三三度
最低 一八、九三度

附記 第一號池ハ降雨ノ際西側ニアル小川ヨリ堤防ヲ通シテ濁水浸入シ池表ヲ覆フコトアルモ池底ハ其ノ影響殆ン下皆無ナリ

(四) 水深

深所 大潮 四、三米—三、一八米
小潮 四、一米—三、一米

浅所 大潮ノ干潮時露出ス

(五) 棲息魚族

黑鯛 鱸 鰻 がさみ 車蝦 海鼠 はぜ くじめ類 さより仔 其他

(ロ) 放養

(一) 月 日 六月二十四日
六月二十五日

(二) 稚魚ノ購入先 三重縣志摩郡濱島町
知多郡内海町久村沖合

(三) 採捕方法

濱島ハ釣、内海ハ大敷網ニ依リ採捕セルモノナリ

(四) 尾 數 五、七三七尾 (一アール當リ一八・五尾)

(五) 大サ (平均) 全長 一五糎三八

體長 一三糎〇六

體高 三糎二四

體重 四〇五〇

(ハ) 飼育方法

(一) 索餌開始月日 七月一日

(二) 餌料ノ種類 主餌料 生 鱈
小 魚

副餌料 雜 魚

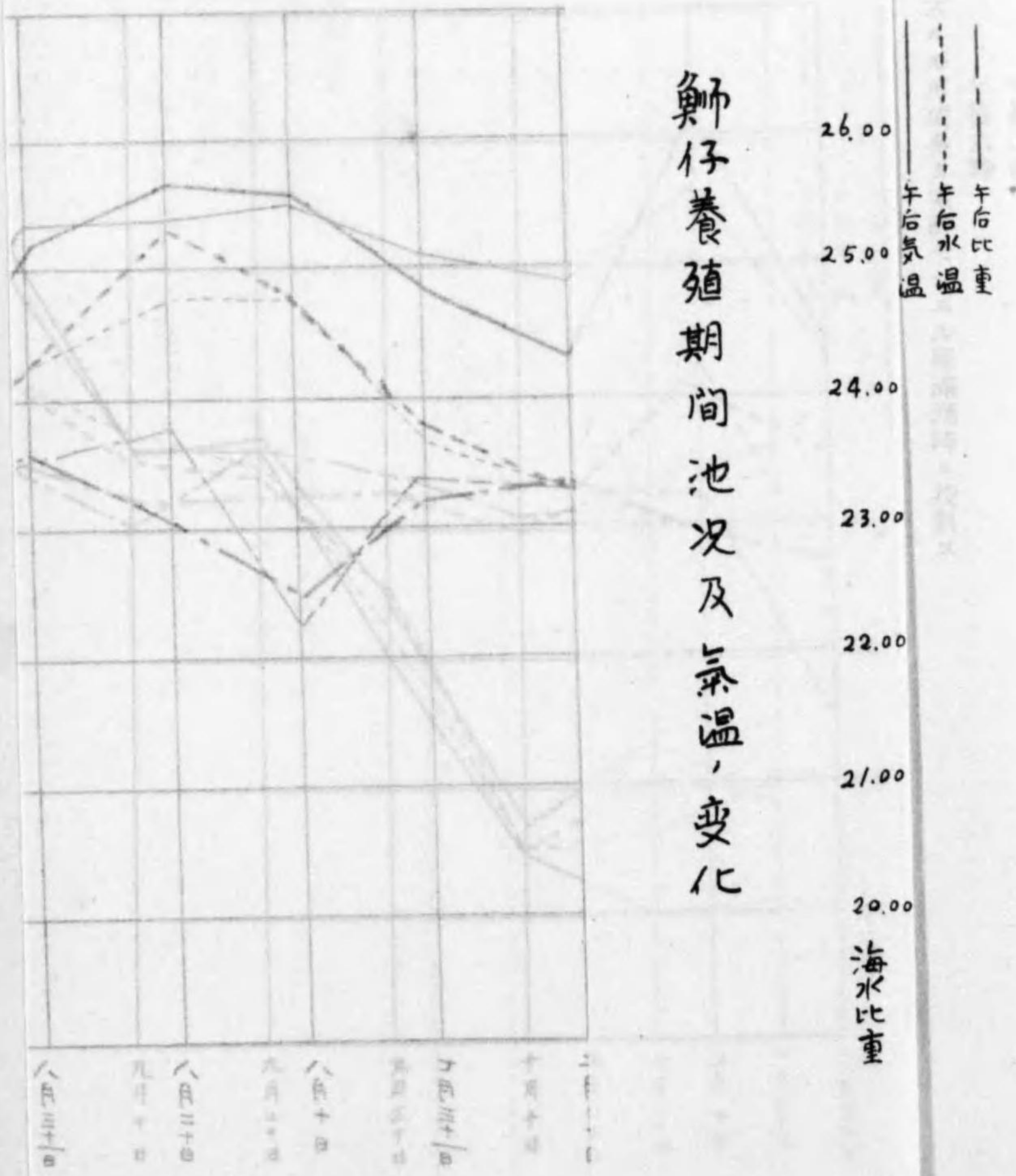
鹽漬鱈

(三) 餌料ノ蒐集 打瀬網ニ依リ漁獲サレタルモノヲ魚市場ヨリ購入ス

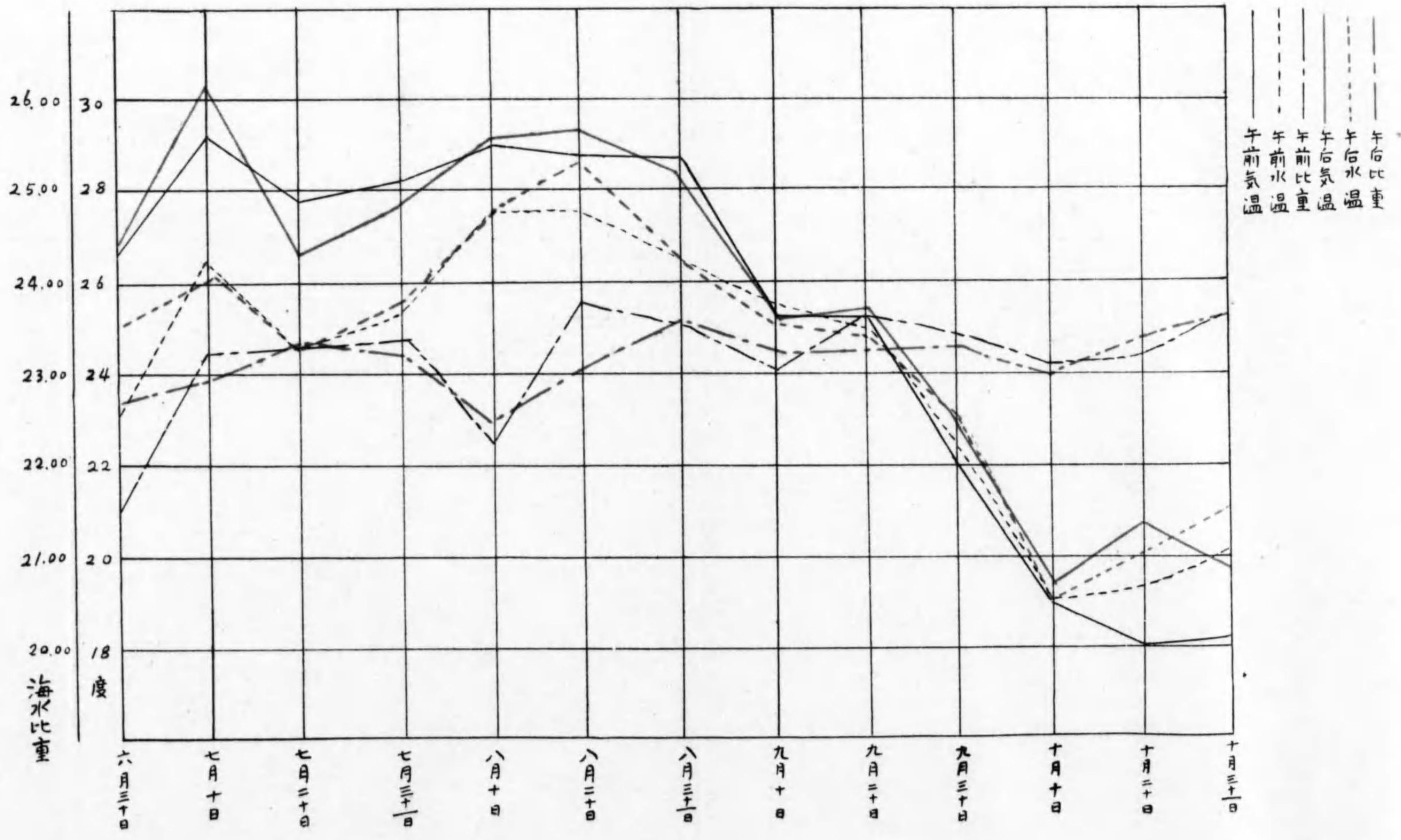
(四) 一日ノ投餌回數 四回

(五) 投餌時間 午前七時
午前十時

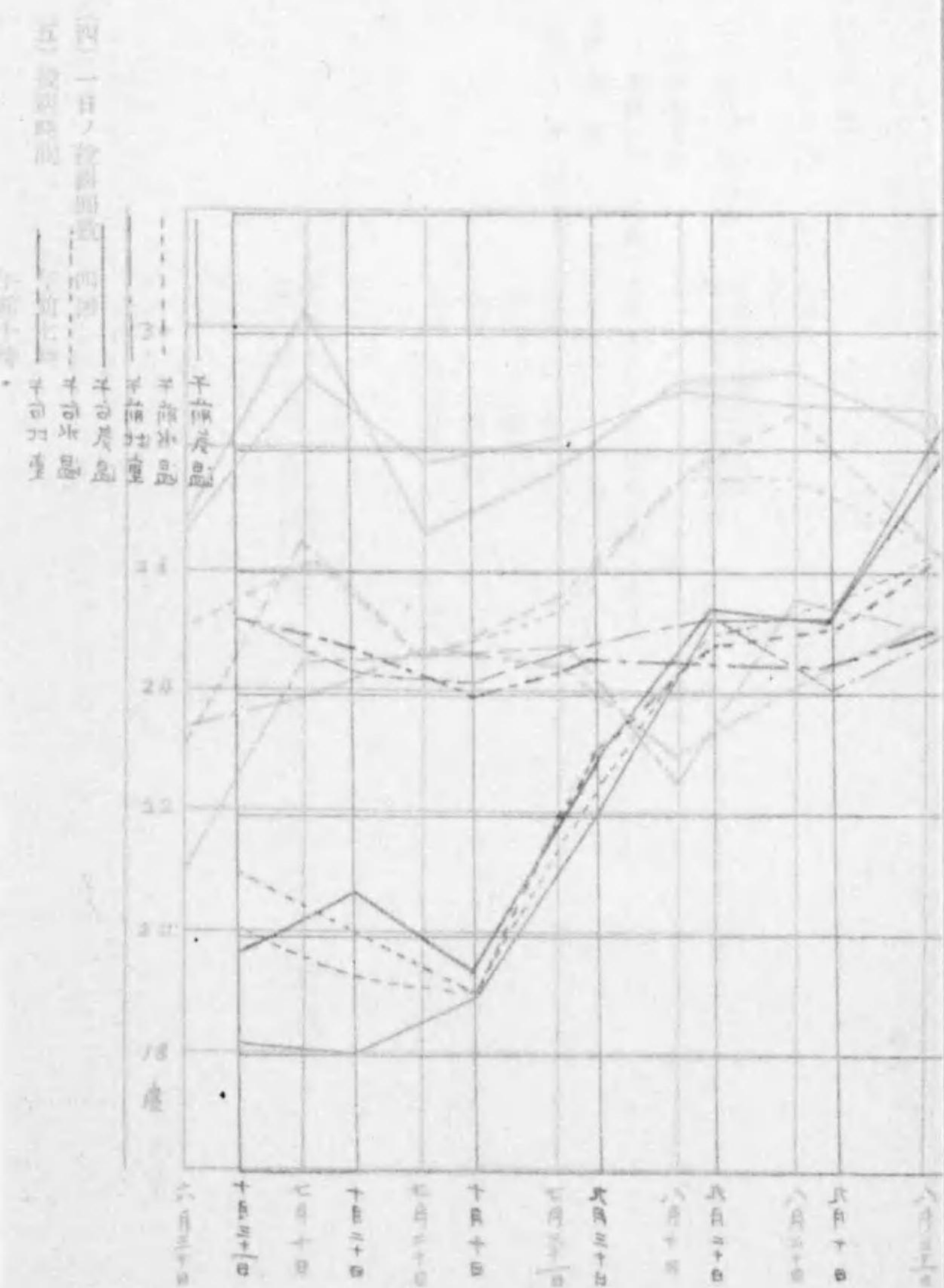
鯽仔養殖期間池況及气温变化



- (一) 飼育方法
- (二) 索餌開始月日 七月一日
- (三) 餌料ノ種類 主餌料 生鱈 小魚 副餌料 雜魚 鹽漬鱈
- (四) 餌料ノ蒐集 打瀬網ニ依リ漁獲サレタルモノヲ魚市場ヨリ購入ス
- (五) 一日ノ投餌回数 四回
- (六) 投餌時間 午前七時 午前十時



鯽仔養殖期間池水及气温变化



(四) 一日ノ投餌量
 (五) 投餌時間
 午後二時
 午後六時

大体右ニ準ズルモ可成多ク索餌セシムル様滿潮時ニ投餌ス

(六) 投餌方法

初メハ棧橋上ニテ出双ヲ用ヒ截斷シツ、棧橋附近一帯ニ撒布シ平均ニ索餌セシムルモ後半期ハ鱸ヲ截斷セズ其儘投與ス

(七) 投餌量及價格

一 日 ノ	一 尾 ニ 對 ス ル	投 餌		摘 要
		量	價 格	
	總數ニ對スル	二〇八七九、二五〇	六五九九五〇	
	一尾ニ對スル	三、七一八	一一八	
一 日 ノ		三七、五—三六、二五		

(ニ) 一尾ノ平均成長割合

(一) 全体長(九月二十一日測定)

(二) 体 重(取揚魚ノ平均)

(三) 投餌量ニ對スル増肉割合

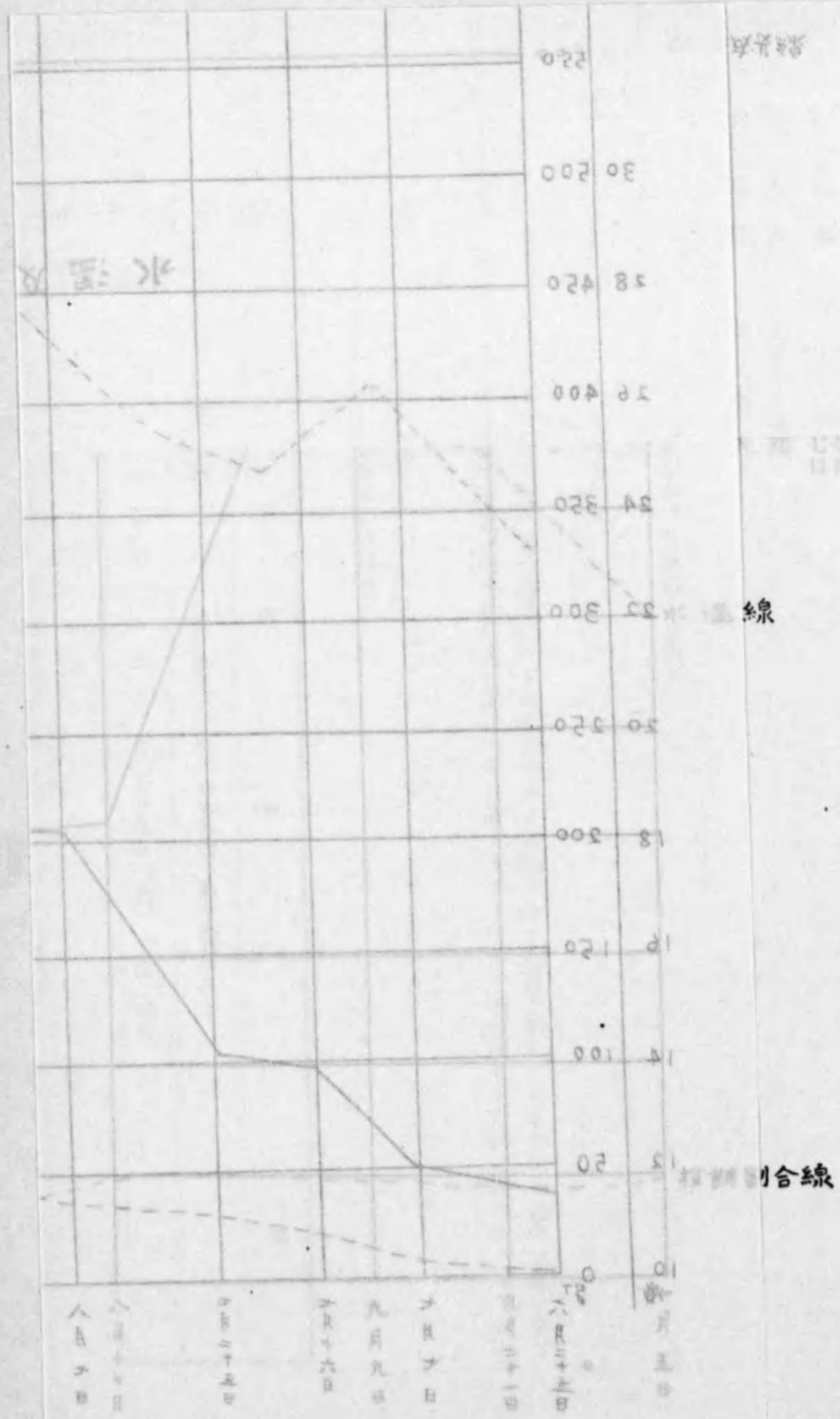
(四) 各月ノ成長度

三八、五(放養時ノ二・五倍)

六五二瓦(放養時ノ一六・三倍)

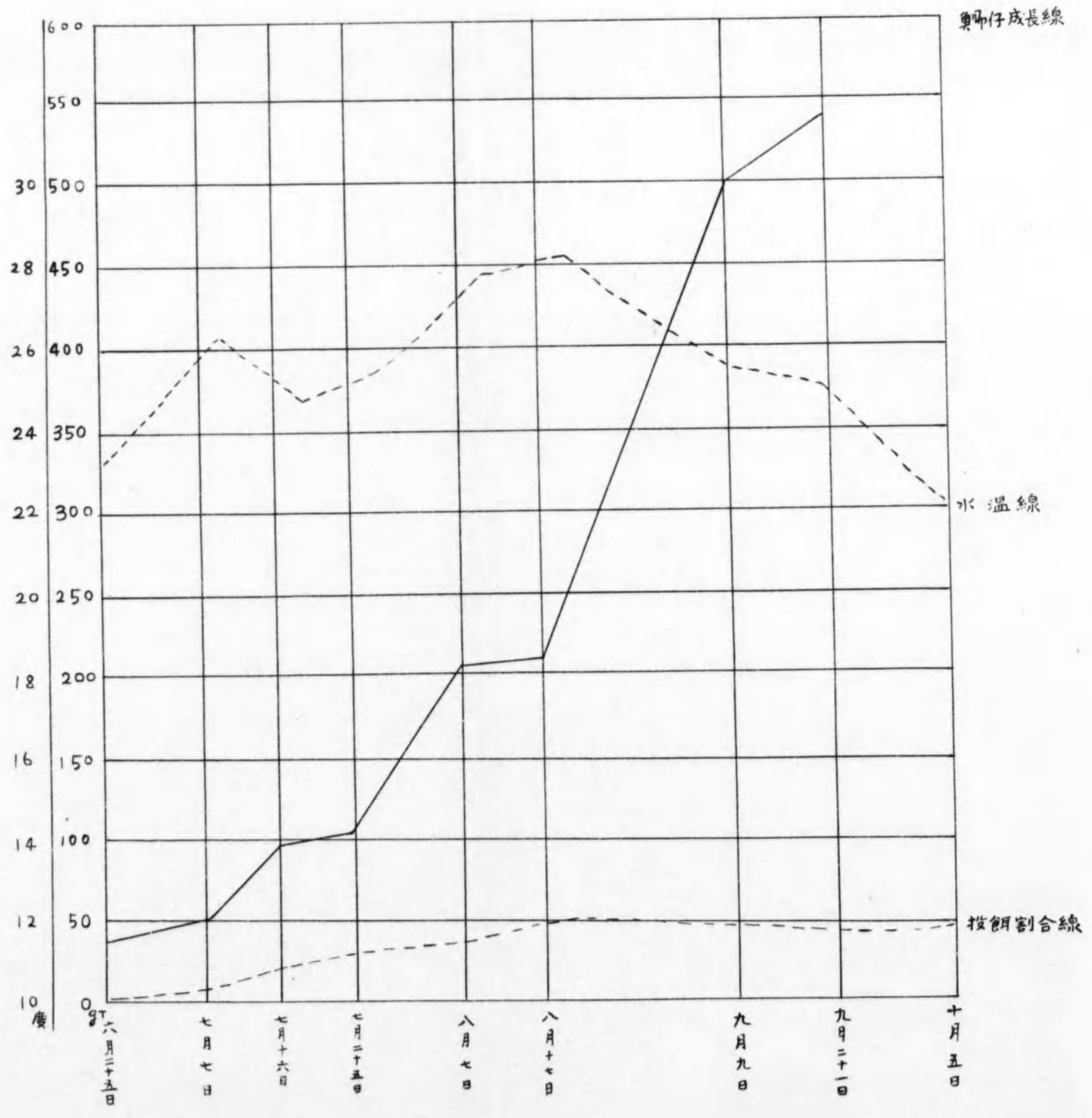
一六、五%

即六、六七疋投餌スレバ一疋増肉スルコト、ナル



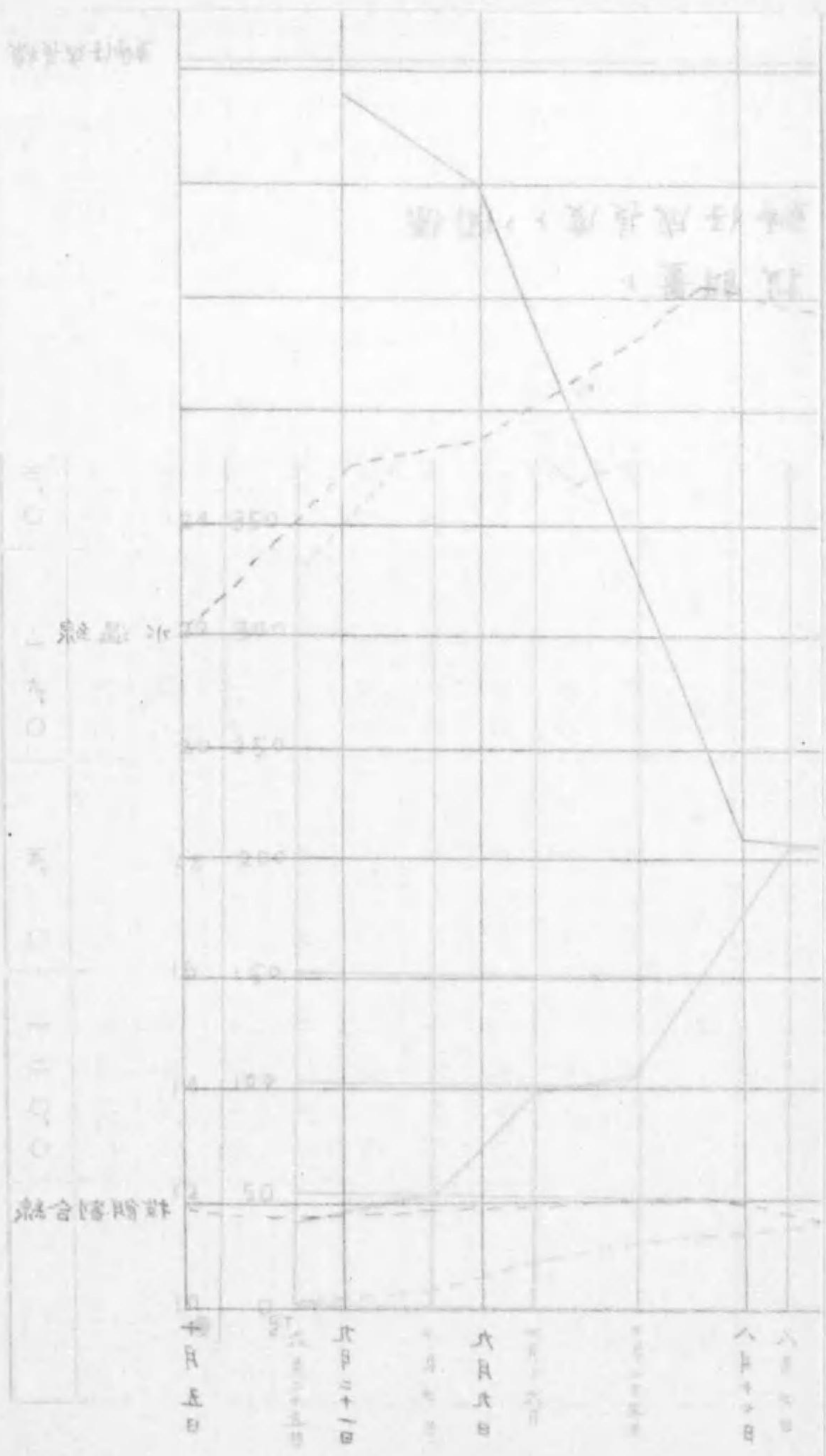
最 小	最 大	九、二 一	九、九	八、一 七	八、七	七、二 五	七、一 五	七、七	六、二 五	月 日
二 三、 〇	四 一、 〇	三 八、 五	三 五、 六	三 〇、 七	二 五、 七	一 九、 三	二 〇、 二	一 八、 〇	一 五、 四	全 長
一 九、 〇	三 六、 〇	二 〇、 七	三 一、 七		二 二、 四	一 六、 三	一 七、 四	一 六、 〇	一 三、 二	体 長
五、 〇	一 〇、 〇	八、 三	八、 二	六、 九	六、 〇	四、 三	四、 七	三、 九	三、 一 五	体 高
一 二 〇、 〇	八 〇、 〇	五 四、 〇	五 〇、 二	二 〇、 七	二 〇、 六	一 〇、 三	九 八、 〇	五 一、 六	四 〇、 〇	体 重
										摘 要

水温及投餌量と
鯽仔成長度との関係



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

月日	全長	体長	体高	体重	摘要
六、二五	一五、四	一三、二	三、一五	四〇、〇	
七、七	一八、〇	一六、〇	三、九	五一、六	
七、一五	二〇、二	一七、四	四、七	九八、〇	
七、二五	一九、三	一六、三	四、三	一〇三、〇	
八、七	二五、七	二二、四	六、〇	二〇六、〇	
八、一七	三〇、七	二七、七	六、九	二〇七、六	
九、九	三五、六	三一、七	八、二	五〇二、〇	
九、二一	三八、五	二〇、七	八、三	五四〇、〇	
九、二一	四一、〇	三六、〇	一〇、〇	一二〇、〇	



(ホ) 收穫

自 八月二十七日
至 十月二十七日

- (一) 時期
- (二) 方法 主トシテ釣獲
- (三) 尾數 五、一四二尾
- (四) 收穫率 八九、六%
- (五) 減耗尾數 五九五尾 (越年魚ヲモ減耗ト見做ス)
- (六) 減耗率 一〇、三三%
- (七) 收穫重量 三、三五四斤八七五
- (八) 收穫重量率 一四、七倍
- (九) 附記

右五九五尾中ノ生存魚ハ水温低キト尾數少キタメ索餌ヲ止メ釣獲不能トナリシヲ以テ越年試驗ニ供セシニ本年ハ比較的水温高ク最低水温攝氏六・五度ナリシヲ以テ一部分越年シ六月ノ候ニ至リ屢々其姿ヲ見受ケタリ

(ニ) 收支
内 譯 一 金壹千八拾壹圓五拾四錢也

種目	金額	摘要
稚魚	四〇一	五三七尾代 輸送運賃ヲ含ム
餌料	六五九	二〇八七九斤二五〇 鱧 雜魚
	九五	

投餌人夫	二〇〇〇
計	一、〇八一五四

二 收入 一金壹千壹百五拾七圓九拾四錢也

内 譯

種 目	金 額	摘 要
販 賣 價 額	一、一五七九四	販賣總額一、二四五圓八錢ヨリ漁業組合口錢八七圓一四錢ヲ控除セルモノ

三 差引利益 一金七拾六圓四拾錢也

(ト) 試驗結果

水面積三〇八、五五アールへ五、七三七尾放養セルヲ以テアール(三〇、二五坪)當リ一八、五尾トナリ減耗品ハ五九五尾ニシテ即チ放養數ノ一〇、三七%ニ當ル
 而シテ取揚魚一尾ノ種苗代ハ七錢八厘一毛弱ニシテ種仔拂底ノ爲殆ンド例年ノ二倍ニ相當ス又取揚魚一尾ノ餌料代(投餌人夫ヲ含ム)ハ拾參錢二厘二毛強而シテ一尾ノ賣價ハ(市場口錢ヲ差引ク)二拾二錢五厘二毛弱ナルヲ以テ一尾利益ハ一錢四厘七毛ニ當ル
 尙投餌量二〇、八七九尾ニ對スル増肉量ハ三二二六尾八三ニシテ六尾六八ヲ投餌スレバ壹尾増肉スルコト、ナル而シテ増肉量ノ壹尾ノ價格ハ二十四錢一厘九毛弱ニシテ之ニ要スル餌料代ハ二十一錢七厘七毛強(餌ハ壹尾投餌人夫費ヲ含メ三錢二厘六毛弱ノモノ六尾六七九ヲ要ス)故ニ増肉量一尾ノ利益ハ二錢四厘二毛ナリ
 利益ノ薄キハ種仔例年ノ約二倍ノ價額ナリシニ由ル

項 目	尾 數	重 量	價 額	備 考	販 賣			越年試驗ニ供セシモノ		
					數	尾	數			
購 入 尾 數	五、七三七	二二八〇四五	四〇一五九〇		成長良好ナルモノ	四、九三一	三一一三七	三四八		
放 養 尾 數	全	二二八〇四五			成長不良ナルモノ	九八	一八三八			
斃 死 尾 數	一一一				死魚トシテ販賣セシモノ	一一三	二一五	六八九		
計	五、一四二	三、三五四	一一五七七							
	四七四	八七五	九四〇							
										推定尾數

2. がさみ 蓄養 試驗

がさみヲ夏期廉價ナルトキ購入蓄養シ、價格高騰セルトキ販賣スベク所謂蓄養試驗ヲ施行スル爲號外池ニ設置セル竹生簀(別圖参照)ニ約五百尾放養スルト共ニ第一號池ニ試驗的放養ヲナセリ
 がさみハ自八月上旬至十月上旬間蟹建網ニテ漁獲セラレタルモノヲ絲若シクハ藥ヲ以テ鉗脚ヲ縛シ運搬中嚙合ノ爲五ニ負

傷スルヲ避ケシメタリ

共ノ大サ平均一八〇瓦内外ノモノ千五百尾購入セルモ鉗脚ヲ附シテ運搬スル經驗ナカリシ爲メ口器ヲ鉗脚ニテ壓シ斃死スルモノ多ク且ツ種々ノ原因ニ依リ斃死又ハ負傷セシノミナラズ時恰モ盛夏ノ候ニシテ運搬中衰弱ヲ來シ放養後斃死スルモノ亦尠カラサリキ

餌料ハ放養後三日目ヨリ打瀬網ニテ漁獲セラレタル小魚ヲ主トシ鹽漬鱸等ヲ投與セリ

投餌期間ハ九月上旬ヨリ十月下旬ニシテ夕刻ヲ撰ビ一日平均一八八〇瓦位投與セルモ屢々殘餌ヲ見受ケタルコトアリ十月下旬ヨリ次第ニ委ヲ現ハスモノ減少シ十一月下旬頃殆ソド其委ヲ見サルニ至レリ是寒冷ノ候水温低下シ泥中ニ潜伏シタルモノト思惟ス

之レヨリ先九月下旬大暴風襲來シ竹生養破損セル爲蟹ハ大部分生養外ノ號外池ニ逃避シ其結果不詳トナレリ

尙第一號池ニ放養セルモノハ鱸仔ニ投與セル餌料並ニ天然餌料ノミナルガ其後夜間屢々游泳セルヲ見受ケタリ

3. 昭和九年度氣象觀測表

月	日	時	刻	天候	風向	平均氣温	平均水温		平均比重		摘要
							第一號池	號外池	第一號池	號外池	
月七	上旬	午前十時	晴	東	二九、二	二六、五	二六、二	二二、一五	二二、五七	小佐沖ニ赤潮來襲	
		午後四時	曇	西	三〇、三	二六、二	二六、二	二二、三	二二、三		
		午後十時	曇	西	二七、八	二四、七	二四、五	二二、三	二二、五九		
中旬	午後四時	〃	〃	〃	二六、六	二四、六	二四、八	二二、三	二二、七		
	午前十時	晴	西南	二八、二	二五、四	二五、一	二二、四	二二、三			
	午後十時	晴	西	二八、八	二六、六	二六、六	二二、三	二二、三			
下旬	午後四時	晴	東	二八、八	二六、六	二六、六	二二、三	二二、三	十五日水質汚濁ス		
	午前十時	〃	〃	二九、五	二八、七	二八、三	二二、五	二二、三			
	午後十時	〃	〃	二八、八	二七、七	二七、五	二二、七	二二、七			
月八	上旬	午前十時	〃	南東	二九、三	二七、七	二七、五	二二、五	二二、〇		
		午後四時	〃	〃	二八、八	二七、七	二七、六	二二、五	二二、〇		
		午後十時	〃	〃	二八、八	二六、六	二六、六	二二、三	二二、三		
中旬	午後四時	〃	〃	二八、八	二六、六	二六、六	二二、三	二二、三			
	午前十時	〃	〃	二八、八	二六、六	二六、六	二二、三	二二、三			
	午後十時	〃	〃	二八、八	二六、六	二六、六	二二、三	二二、三			
下旬	午後四時	〃	〃	二八、八	二六、六	二六、六	二二、三	二二、三	堤防欠壞ス		
	午前十時	〃	〃	二八、八	二六、六	二六、六	二二、三	二二、三			
	午後十時	〃	〃	二八、八	二六、六	二六、六	二二、三	二二、三			
月九	上旬	午前十時	〃	南	二五、三	二五、三	二五、三	二二、三	二二、三		
		午後四時	〃	〃	二五、三	二五、三	二五、三	二二、三	二二、三		
		午後十時	〃	〃	二五、三	二五、三	二五、三	二二、三	二二、三		
中旬	午後四時	〃	〃	二五、三	二五、三	二五、三	二二、三	二二、三			
	午前十時	〃	〃	二五、三	二五、三	二五、三	二二、三	二二、三			
	午後十時	〃	〃	二五、三	二五、三	二五、三	二二、三	二二、三			
下旬	午後四時	〃	〃	二五、三	二五、三	二五、三	二二、三	二二、三	二十一日大暴風雨アリ		
	午前十時	〃	〃	二五、三	二五、三	二五、三	二二、三	二二、三			
	午後十時	〃	〃	二五、三	二五、三	二五、三	二二、三	二二、三			
月十	上旬	午前十時	〃	西	一九、〇	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三		
		午後四時	〃	〃	一九、〇	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三		
		午後十時	〃	〃	一九、〇	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三		
中旬	午後四時	〃	〃	一九、〇	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三			
	午前十時	〃	〃	一九、〇	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三			
	午後十時	〃	〃	一九、〇	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三			
下旬	午後四時	〃	〃	一九、〇	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三	堤防欠壞ス		
	午前十時	〃	〃	一九、〇	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三			
	午後十時	〃	〃	一九、〇	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三			
月十一	上旬	午前十時	晴	北西	二〇、八	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三		
		午後四時	〃	〃	二〇、八	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三		
		午後十時	〃	〃	二〇、八	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三		
中旬	午後四時	〃	〃	二〇、八	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三			
	午前十時	〃	〃	二〇、八	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三			
	午後十時	〃	〃	二〇、八	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三			
下旬	午後四時	〃	〃	二〇、八	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三	堤防欠壞ス		
	午前十時	〃	〃	二〇、八	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三			
	午後十時	〃	〃	二〇、八	二二、二	二〇、九	二二、一七	二二、三			

前年度ニ繼承シ河川冷水帯利用ノ目的ヲ以テ矢作川増殖場、豐川、巴川ノ兩鱒孵化場ニ於テ鮭卵一四五、〇〇〇粒虹鱒卵

一、鱒増殖事業

月三			月二		
下旬	中旬	上旬	下旬	中旬	上旬
午後四時	午前十時	午後四時	午後四時	午前十時	午前四時
夕曇	晴	曇	夕	夕	曇
夕	夕	西	夕	夕	夕
九、二	八、三	二、七	八、〇	一〇、一	七、九
一〇、九	一〇、五	一〇、八	一〇、一	八、八	八、七
一〇、七	一一、一	一〇、四	九、九	九、八	八、二
二二、七	二三、七	二四、七	二四、四	二四、〇	二四、一六
二三、九	二四、五	二四、八	二四、一〇	二四、〇	二四、二九

月一			月二十			月一十		
下旬	中旬	上旬	下旬	中旬	上旬	下旬	中旬	上旬
午後四時	午前十時	午後四時	午後四時	午前十時	午前四時	午後四時	午前十時	午前四時
夕曇	夕	夕	夕	夕	夕	夕曇	夕	夕
夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕
六、〇	四、九	七、六	七、〇	九、二	七、五	二、二	一、七	一、四
八、一	八、八	九、四	九、二	一〇、九	一〇、九	一四、三	一五、三	一七、七
七、八	七、五	八、九	八、五	一〇、七	一〇、三	一四、五	一四、八	一六、九
二二、九	二三、七	二三、七	二三、七	二三、八	二三、〇	二三、八	二三、五	二三、三
二四、三	二三、九	二三、七	二三、六	二三、九	二三、〇	二三、八	二三、五	二三、二

七五七、〇〇〇粒（内六二、〇〇〇粒採卵）合計九〇二、〇〇〇粒ヲ夫々收容孵化シ内虹鱒四五〇、一七〇尾、鮭一〇四、〇五〇尾計五五四、二二〇尾ヲ矢作、豊川、天龍諸川ノ本支流ニ放流スルト共ニ豊川鱒孵化場、矢作川増殖場ニ於テ親魚養成ノ目的ヲ以テ虹鱒二二〇、一〇〇尾養成中ナリ

一、設備

前年度ト全様

二、成績概要

(イ) 採卵成績

豊川鱒孵化場ニ於テ養成中ノ三才及四才魚ノ虹鱒ヨリ六二、〇〇〇粒採卵ス

月日	魚種	採卵用親魚		採卵數	採卵地	體長			備考		
		雌	雄			最大	最小	平均			
二、三	虹鱒	四八	六八	一一四	豊川鱒孵化場	雄 五二 雌 五三	三三	一、八〇〇	四三〇	九〇〇	乾導法ニ依ル
				三、〇〇				一、五〇〇	三四五	七二五	

(ロ) 孵化成績

孵化場名	鮭		虹鱒		計	
	收容數	孵化數	收容數	孵化數	收容數	孵化數
豊川鱒孵化場	七六、〇〇〇	七〇、九四四	三三、〇〇〇	三〇、一〇四	一〇九、〇〇〇	一〇一、〇四八
矢作川増殖場	—	—	三三、〇〇〇	三〇、一〇四	三三、〇〇〇	三〇、一〇四
計	七六、〇〇〇	七〇、九四四	六六、〇〇〇	六〇、二〇八	一四二、〇〇〇	一三一、一五二

養成場所	魚種	産地	收容數	養成數	自收容至現在養成	生存率
豊川鱒孵化場	虹鱒	青森縣相坂養魚場産	一〇一、〇〇〇	七〇、一〇〇		六九%
矢作川増殖場	全	日光産	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇		一〇〇%
計			一五七、〇〇〇	一二〇、一〇〇		七六%

(ハ) 親魚養成々績

孵化場名	魚種	産地	收容數	放流數	收容數ニ對スル放流率	放流河川名	備考
豊川鱒孵化場	鮭	日光産	六六、〇〇〇	五二、一〇〇	七八%	豊川水系 寒狭川、田口川、巴川、其他 (内養魚委託試驗 三、〇〇〇尾)	
	虹鱒	青森縣相坂養魚場並ニ縣内採卵	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	一〇〇%	豊川水系 寒狭川、巴川、田口川、瀧川、其他 (内養魚委託試驗 八、〇〇〇尾)	
計			九九、〇〇〇	八五、一〇〇	八六%		

(ニ) 放流成績

孵化場名	魚種	産地	收容數	放流數	收容數ニ對スル放流率	放流河川名	備考
豊川鱒孵化場	鮭	日光産	六六、〇〇〇	五二、一〇〇	七八%	豊川水系 寒狭川、田口川、巴川、其他 (内養魚委託試驗 三、〇〇〇尾)	
	虹鱒	青森縣相坂養魚場並ニ縣内採卵	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇	一〇〇%	豊川水系 寒狭川、巴川、田口川、瀧川、其他 (内養魚委託試驗 八、〇〇〇尾)	
計			九九、〇〇〇	八五、一〇〇	八六%		

總計	合計		巴川鱒孵化場		矢作川増殖場	
	鮭	虹鱒	計	鮭	計	全
				日光産		日光産
				日光産		日光産
七五、〇〇〇	一四、〇〇〇	五九〇、〇〇〇	一七、〇〇〇	七、〇〇〇	二六、八〇〇	一八、〇〇〇
五五、四、三三〇	一〇四、〇五〇	四〇五、〇七〇	一四三、九三〇	九〇、九七〇	三三、八〇〇	一四、八〇〇
七五、四	七、八	七六、三	八、三	七、〇	六、五	七、三
				矢作川水系 乙川、足助川、大見川、川面川	矢作川水系 乙川上流、足助川、名倉川	矢作川水系 名倉川、黒田川、段戸川、足助川 豊川水系 寒狭川上流 矢作川水系 名倉川、段戸川、黒田川、足助川 天龍川水系 津具川、振草川 豊川水系 寒狭川上流

鱒孵化放流成績一覽表 () 八親魚養成中

場名	豐川鱒孵化場								種魚
	計	鮭	鮭	鮭	鮭	鮭	鮭	鮭	
計	三二、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	鮭
收養月日	三・二六	二・一八	三・〇〇	三・〇〇	三・〇〇	三・〇〇	三・〇〇	三・〇〇	六・七
收養卵數	四三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
自一月日	二・二六	二・一八	三・〇〇	三・〇〇	三・〇〇	三・〇〇	三・〇〇	三・〇〇	六・八
尾數	三九、七九	三、二八	三、二八	三、二八	三、二八	三、二八	三、二八	三、二八	二、九七
死卵數	三、二九	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	二、七三
死卵率	八・三	四・七	四・七	四・七	四・七	四・七	四・七	四・七	九・三
放養月日	三・二二	三・二二	三・二二	三・二二	三・二二	三・二二	三・二二	三・二二	六・七
尾數	三、八、四三	三、八、四三	三、八、四三	三、八、四三	三、八、四三	三、八、四三	三、八、四三	三、八、四三	三、八、四三
死兒數	三、八、四三	三、八、四三	三、八、四三	三、八、四三	三、八、四三	三、八、四三	三、八、四三	三、八、四三	三、八、四三
死兒率	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三
放流月日	七月初旬	七月初旬	七月初旬	七月初旬	七月初旬	七月初旬	七月初旬	七月初旬	七月初旬
放流尾數	(七、〇〇〇)	(七、〇〇〇)	(七、〇〇〇)	(七、〇〇〇)	(七、〇〇〇)	(七、〇〇〇)	(七、〇〇〇)	(七、〇〇〇)	(七、〇〇〇)
放流河川名	(備考) 養成	(備考) 養成	(備考) 養成	(備考) 養成	(備考) 養成	(備考) 養成	(備考) 養成	(備考) 養成	(備考) 養成

總計	場化辦鱒川巴				場殖增川作矢					
	計	鱒	ク	鱒虹	計	ク	ク	ク	鱒	虹
620,000	177,000	217,000	218,000	209,000	333,000	41,000	36,000	32,000	27,000	217,000
		77,000	57,000	77,000						
		310	308	307		423	424	423	423	219
		110	110	110		130	130	130	130	130
		5,900,000	5,900,000	5,900,000		3,200,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000
		10,000,000	10,000,000	10,000,000		10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000
		3,200,000	3,200,000	3,200,000		3,200,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000
		1,000,000	1,000,000	1,000,000		1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
		5,000,000	5,000,000	5,000,000		5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
		7,000,000	7,000,000	7,000,000		7,000,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000
		10,000,000	10,000,000	10,000,000		10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000
		15,000,000	15,000,000	15,000,000		15,000,000	15,000,000	15,000,000	15,000,000	15,000,000
		20,000,000	20,000,000	20,000,000		20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000
		25,000,000	25,000,000	25,000,000		25,000,000	25,000,000	25,000,000	25,000,000	25,000,000
		30,000,000	30,000,000	30,000,000		30,000,000	30,000,000	30,000,000	30,000,000	30,000,000
		35,000,000	35,000,000	35,000,000		35,000,000	35,000,000	35,000,000	35,000,000	35,000,000
		40,000,000	40,000,000	40,000,000		40,000,000	40,000,000	40,000,000	40,000,000	40,000,000
		45,000,000	45,000,000	45,000,000		45,000,000	45,000,000	45,000,000	45,000,000	45,000,000
		50,000,000	50,000,000	50,000,000		50,000,000	50,000,000	50,000,000	50,000,000	50,000,000
		55,000,000	55,000,000	55,000,000		55,000,000	55,000,000	55,000,000	55,000,000	55,000,000
		60,000,000	60,000,000	60,000,000		60,000,000	60,000,000	60,000,000	60,000,000	60,000,000
		65,000,000	65,000,000	65,000,000		65,000,000	65,000,000	65,000,000	65,000,000	65,000,000
		70,000,000	70,000,000	70,000,000		70,000,000	70,000,000	70,000,000	70,000,000	70,000,000
		75,000,000	75,000,000	75,000,000		75,000,000	75,000,000	75,000,000	75,000,000	75,000,000
		80,000,000	80,000,000	80,000,000		80,000,000	80,000,000	80,000,000	80,000,000	80,000,000
		85,000,000	85,000,000	85,000,000		85,000,000	85,000,000	85,000,000	85,000,000	85,000,000
		90,000,000	90,000,000	90,000,000		90,000,000	90,000,000	90,000,000	90,000,000	90,000,000
		95,000,000	95,000,000	95,000,000		95,000,000	95,000,000	95,000,000	95,000,000	95,000,000
		100,000,000	100,000,000	100,000,000		100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000

三、小鮎移殖放流並斡旋事業

前年度ニ繼承シ河川上流水面利用ノ目的ヲ以テ關係河川漁業組合ト協同シ琵琶湖産小鮎ヲ木曾、庄内、矢作、豐川、天龍ノ諸川本支流ニ三、六二六尾(約八七九、〇八八尾)ヲ移殖放流スルト共ニ池中養魚ノ目的ヲ以テ七八九尾(約一九一、四二三尾)ヲ斡旋セリ而シテ本年度ハ一般ニ氣候温暖ニシテ琵琶湖附近山嶽地帯ノ殘雪少ク注水河川ノ水温上昇比較的早カリシ爲近年稀ナル豐漁ニシテ移殖後ノ成績モ從來ニ比シ頗ル良好ナリキ

概況左ノ如シ

一、移殖期間 自三月三十日 至五月八日

二、購入先 滋賀縣水産試驗場内 滋賀縣小鮎配給協會

三、河川放流數

縣 四五四、五〇〇尾(一、八七五尾)
 組合 四二四、五八八尾(一、七五一尾六)
 計 八七九、〇八八尾(三、六二六尾六)

但シ右尾數ハ重量一尾一匁一分トシテ計算セルモノナリ

四、放流魚ノ大サ

平均体長 八、三三厘(二、七五寸)
 平均体重 五、七五瓦(一、五六匁)

五、河川別放流尾數

水系別	河川別	尾數	尾	尾數	備考
矢作川		三七六、四七四		一、五五三	

矢作川 五八三、九四二尾 (二、四〇九疋〇)		名倉川 五二、三八一	段戸川 二六、一八一	巴川 九一、六二六	乙川 三七、二八〇	豐川 一二、一二〇	寒狭川 九一、六二七	三輪川 一三、〇九〇	振草川 六五、四五四	大入川 三八、二九三	津具川 一二、一二〇	玉野川 一三、〇八八	木曾川 四九、三五四
豐川 一一六、八三七尾 (四八二疋〇)													
天龍川 一一五、八六七尾 (四七八疋〇)													
庄内 一三、〇八八尾 (五四疋〇)													
木曾川 四九、三五四尾 (二〇三疋六)													
計		八七九、〇八八尾	三六二六疋六										

六、放流場所

地	名	尾	數	疋	數
西加茂郡	舉母町舉母		五、三六		三六、〇
全郡	高橋村野見		一三、〇九〇		五、〇
全郡	猿投村廣瀬		二六、八一		一〇八、〇
全郡	石野村廣瀬		五、三八		三三〇、〇
全郡	全富田		一三、〇九〇		五、〇
全郡	藤岡村川口		五、三三		三三〇、一
全郡	小原村日面		六、五四		二七、〇
全郡	東加茂郡旭村笹戸		三、七五八		一三、〇
全郡	全有間		五、六七		三三〇、〇
計		八七九、〇八八尾	三六二六疋六		

全	郡	全	村	則	定	六、〇八〇	二五、〇
全	郡	足助町	中ノ御所			一、〇〇九	五、四
全	郡	下山村	平瀬			一四、〇九〇	五四、〇
全	郡	賀茂村	安實京			六、五四五	二七、〇
岡	崎	市	小美町			三、七五七	一五、五
額	田	郡	河合村	秦	梨	三、七五七	一五、五
全	郡	形埜村	鍛埜			五、五七五	二二、〇
全	郡	豊富村	櫻井寺			一六、一四三	六六、六
全	郡	全	村	極	山	二、〇三三	八、三
全	郡	全	村	片	寄	二、〇三三	八、三
全	郡	宮崎村	明見			二、〇三三	八、三
全	郡	全	村	中	金	二、〇三三	八、三

全	郡	全	村	小	渡	五、三六七	二二、〇	
全	郡	全	村	時	瀬	一三、〇九〇	五四、〇	
全	郡	全	村	牛	地	一〇、九〇八	四五、〇	
北	設	樂	郡	稻	橋	村	大野瀬	五〇、〇
全	郡	全	村	稻	橋	一四、〇九九	五八、〇	
全	郡	全	村	中	當	八、七五〇	三六、一	
全	郡	名倉村	西納庫			一七、四五三	七二、〇	
東	加	茂	郡	賀	茂	村	段戸川筋一圓	一〇八、〇
全	郡	松平村	九久平			二、六四四	五二、〇	
全	郡	盛岡村	霧山			六、五四五	二七、〇	
全	郡	全	村	追	分	三、七六〇	一五、五、二	
全	郡	全	村	戸	中	七、八五三	三三、四	

全	郡	全	村	大島川號	三、五二五	一四、五
八	名	郡	七	郷村	六、五四五	二七、〇
全	郡	全	村	田峯	六、〇三〇	二五、〇
全	郡	段	嶺	村	六、〇三〇	二五、〇
北	設	樂	郡	田口町	六、五四五	二七、〇
全	郡	鳳	來	寺村	六、五四五	二七、〇
全	郡	作	手	村	七、〇一九	二九、〇
全	郡	鳳	來	寺村	一〇、一一〇	八三、〇
全	郡	鳳	來	寺村	三、二七二	一三、五
全	郡	長	篠	村	三、七二四	一五、〇
全	郡	長	篠	村	三、七二二	一三、五
南	設	樂	郡	新城町	三、三三〇	五〇、〇

北	設	樂	郡	川三輪村	三、〇四〇	一一、五					
全	郡	本郷町	下川村	中設樂	五、三六四	二六、〇					
全	郡	振	草	村	二、〇九〇	五四、〇					
北	設	樂	郡	豐	根	村	一〇、八五七	四四、八			
全	郡	全	村	小	造	四、〇三三	一六、六				
全	郡	全	村	川	合	九、六九五	四〇、〇				
全	郡	全	村	金	越	九、六九五	四〇、〇				
全	郡	全	村	老	手	前	四、〇三三	一六、六			
全	郡	下	津	具	村	三、一三〇	五〇、〇				
東	春	日	井	郡	高	藏	寺	町	四、八四八	二〇、〇	
全	郡	全	村	大	志	段	味	橋	留	四、一三〇	一七、〇
全	郡	鳥	居	松	村	四、一三〇	一七、〇				

葉栗郡北方村	中北方字	一三、〇九〇	五四、〇
全郡全村	全大字字 東本郷	一三、一一〇	五〇、〇
全郡全村	全大字字 西大字	二四、一四四	九九、六
計			三六、六六六

七、池中養殖鱒先立数量

氏名	住	所	尾数	疋数
渡邊壽一	南設樂郡新城町櫻ヶ淵		一三、一一〇	五〇、〇
葛谷芳一	葉栗郡木曾川町		一三、〇九〇	五四、〇
河村友一	額田郡岩津町上大門矢作川魚場		三、四七六	二五七、七五
内垣留吉	豊橋市小池町		二六、一七九	一〇八、〇
高畑由一	渥美郡杉山村杉山		三三、七五五	九八、〇
奥村健太郎	豊橋市牟呂町市場		一三、〇九〇	五四、〇

大西泰二	名古屋市南區錦町三ノ二九		六、〇六〇	二五、〇
青木彌三郎	寶飯郡前芝村前芝		六、〇〇〇	二五、〇
神谷新右衛門	知多郡龜崎町有脇		一、九三九	八、〇
梅村峯太郎	渥美郡高豊村小學校		一、四五四	六、〇
竹尾倉藏	寶飯郡小坂井町平井		六、〇〇〇	二五、〇
坂部八郎	寶飯郡小坂井町平井		一九、二六八	七六、七
計			一九一、四三三	七六九、七

四、鯉兒放流事業

河川増殖事業ノ一トシテ海部郡彌富町産鯉兒四萬二千尾ヲ左記ノ通放流セリ

- 一、放流月日 二月二十五日
- 二、放流數

矢作川水系 二〇、〇〇〇尾
 巴川 〃 七、〇〇〇尾
 名倉川 〃 三、〇〇〇尾
 寒狭川 〃 五、〇〇〇尾
 入鹿池 〃 七、〇〇〇尾
 計 四二、〇〇〇尾

三、放流魚ノ平均体長体重
 体長 八、九四種(二寸九分五厘) 体重 八、八七瓦(二匁三七)

四、輸送方法
 金魚桶二個ヲ以テ一荷トシ之ニ約三千尾ヲ收容シ人夫附添ノ上トラツク或ハ汽車、電車ニテ輸送セリ

五、放流場所並數量其他

放流月日時	放流場所	放流數	放流時		備考
			氣溫	水溫	
二月二十五日 午後一時	東加茂郡旭村小渡	四、五〇〇	一〇・〇	九・〇	一〇・〇
〃	西加茂郡阿措村藤澤	六、〇〇〇	一〇・〇	九・〇	一〇・五
〃	西加茂郡猿投村越戸	一〇、五〇〇	一〇・五	五・〇	一〇・〇
〃	西加茂郡松平村築山	一、〇〇〇	一三・〇	六・五	五・五
〃	東加茂郡盛岡村追田分振	一、〇〇〇	一三・〇	五・〇	五・五

〃	東加茂郡足助町落三本松	一、〇〇〇	一三・〇	四・五	五・五
〃	東加茂郡賀茂村川萩野	一、〇〇〇	一三・八	三・〇	五・五
〃	東加茂郡下山村平瀬	一、〇〇〇	一二・九	三・二	五・五
〃	南設樂郡長篠村寒狭橋下	一、五〇〇	一六・八	五・四	三・五
〃	南設樂郡鳳來寺村小松辨天	一、五〇〇	一八・一	六・一	四・八
〃	南設樂郡鳳來寺村大谷	二、〇〇〇	一八・一	五・八	五・〇
〃	東加茂郡賀茂村戸中	三、〇〇〇			
〃	丹羽郡入鹿池	七、〇〇〇	八・五	七・五	八・九

五、公魚採卵孵化放流事業

縣下各地ニ散在スル溜池愚水路利用ノ目的ヲ以テ碧海郡油ヶ淵ニ於テ三百萬粒ヲ採卵シ左記ノ通移殖放流セリ

一、採卵場所 碧海郡明治村油ヶ淵

- 二、採卵月日 自二月二十二日 至二月二十六日
- 三、移植月日 三月十一日
- 四、移植數 三〇〇萬粒（一梓一萬五千粒）
- 五、移植場數並總面積
 - 溜池 七ヶ所
 - 悪水路 二ヶ所
 - 計 九ヶ所
- 六、移植場所並數量

場	所	面積	水深	放流數量	備考
愛知郡	天白村平針荒池	九・一 <small>町歩</small>	二五 <small>尺</small>	一五 <small>万粒</small>	
岡崎市	羽根町奥山大池	二〇	一〇	三〇	
岡崎市	欠町大山田足延池	一・五	一五	三〇	
愛知郡	日進村美濃池	六	一二	一五	
碧海郡	富士松村大字井ヶ谷洲原池	三八	一二	四五	
海部郡	立田村立田川	延長 二里		六〇	

六、草魚移植試験

將來溜池利用ノ目的ニ資センカ爲メ初メテ移植試験ヲ施行セリ概況左ノ如シ

- 一、輸送期日 昭和十年三月二十日
- 二、移植尾數 三千百尾
- 三、輸送方法 石油空罐ノ横腹ニ穴ヲ穿テタルモノニ
五〇〇―五二〇尾宛收容シ人夫附添ノ上米原ヨリ名古屋迄汽車便ニテ、名古屋ヨリ各移植地迄ハ電車又ハ汽車便ニ依リ名古屋驛ニテ一回換水セリ
- 四、輸送時ノ觀測 氣温八、五度 容器中水温七、〇度
晴、風強、
- 五、移植先並尾數

愛知郡	猪高村高針牧ノ池	三〇 <small>町歩</small>	一三	二二、五	
渥美郡	赤羽根村若見用水池	五	三〇	二二、五	
丹羽郡	池野村入鹿池	一六九・八	八〇	六〇	

位	置	名	稱	尾	數	摘	要
南設樂郡	鳳來寺村布里	豐川	鱒孵化場		一、〇二〇 _尾		
額田郡	岩津町上大門	矢作川	魚場		五三〇	二千坪 腐殖土 二、五〇、八米	
丹羽郡	池野村	入鹿池	池		一、〇二〇		
栗原郡	淺井町	森林平			五三〇		
計					三、一〇〇		

六、移植後ノ經過

各池放養後ノ狀況ヲ綜合スルニ放養當時ハ未タ水温低キ爲索餌セズ三月下旬頃水温二十度前後ニ上リテヨリ索餌ス性質極メテ臆病ニシテ些カノ音響ニモ驚愕シ常ニ群游ヲナス
 清冷水ヲ嫌ヒ日光直射ヲ避ケテ物影ヲ好ム性アリ入鹿池ヲ除キ鱒、雜草、魮、小麥粉、蛹等ノ人工餌料ヲ與ヘ飼育試験中ナリ

第四 養殖出張所

本縣伊勢三河ノ兩灣ハ淺海干潟頗ル廣大ニシテ加之地形底質水質將又天然餌料等有用貝藻類ノ發生成育ニ適シ本邦有數ノ内灣ナリ輒近養殖適地ハ當業者ノ自覺ト相俟テ漸次開發セラレツ、アリ就中海苔養殖事業ハ近年長足ノ進歩發展ヲナシ適地ノ約二分ノ一ヲ利用スルノ盛況ニアリト雖養蠶事業ノ如キハ未ダ發芽時代ノ域ヲ出テス前途幾多ノ迂餘曲折アルヘク銳意適地利用ノ範ヲ垂レ之カ指導發達ニ努力スルノ外淺海ノ利用厚生上最モ緊急必要ナル事業ヲ選ヒ年々各種ノ増殖試験ヲ實施シツ、アリ

一、牡蠣増殖試験

一、鐵筋混凝土柵狀附着器養蠶試驗

(1) 伊勢灣濱部新川庄内川地先 (前年度繼承)

趣旨 伊勢灣濱部庄内川、新川、蟹江川等河川ノ注入多キ干潟ニ於テ牡蠣養殖ヲ行フニ從來枝付松、海苔古粗朶利用柵式及孟宗竹等ノ附着材料ヲ以テ試験セルコトアリシモ年々夏季出水ノ際泥土ノ沈積多ク且ツ稚貝脱落シテ埋沒斃死スルモノ尠カラサルニ鑑ミ之ガ對策トシテ稚貝ノ脱落防止ト半永久的材料トヲ主眼トセル鐵筋混凝土柵狀附着器ナルモノヲ考案セリ

(イ) 鐵筋混凝土柵狀附着器ノ構造

鐵線八番長サ八八種ノモノ三本ヲ鐵線二十番ニテ兩端及中央部ヲ結縛シ各間隔ヲ四・五種トシ右鐵筋ヲセメント一

砂三小礫(〇、五種)六ノ割合ニ配合セルモノヲ三角柱ノ型ニ入レ出来上リ九一種ニ製作シ又同一方法ニ依リ出来上リ六〇、五種ノモノヲ作り後者ヲ脚部トシ六〇、五種四方地上約二四種ノ高サニ建テ此上ニ九一種ノモノ二本ヲ架シ針金十八番線ニテ結附シ更ニ之レト直角ニ同一長サノモノ三本ヲ載セタルモノナリ普通一反歩ニ對シ一三六棚ヲ建設ス

(ロ) 試験經過

從來試験ノ結果風水害ニ依ル牡蠣ノ墜落斃死等ハ或ル程度迄之ヲ防止シ得タルモ舟行其ノ他ノ障害ニ依リ往々崩壊スルコトアルヲ以テ更ニ組立上考究ノ餘地アリ尙附着牡蠣ヲ採取スルニ當リ多少ノ破損ヲ免レ且ツ浮泥沈積ノ爲建設後一、二年ハ牡蠣ノ成長良好ナルモ年々稚貝ノ附着遞減シ少クトモ建設後四、五年經過セバ附着面ヲ削リ石灰乳劑ヲ以テ塗抹スル必要アリト認ム

(ハ) 本年度迄伊勢灣濶部本所養蠔試驗地ニ建設セル反別左ノ如シ

年度別	場所	建設反別	備考
大正十五年	第一養蠔場	五〇棚	一棚當リ 一米六ノモノ 二本 一米二七ノモノ 四本 六〇、五種ノモノ 四本(脚部)
昭和二年	第二	七〇棚	〃 九〇種ノモノ 二本 一米二七ノモノ 四本(脚部)
昭和四年	第四	六八棚	〃 九〇種ノモノ 六本(脚部)
昭和五年	第二	六八棚	〃 九一種ノモノ 五本 六〇、五種ノモノ 四本(脚部)
昭和六年	第四	六八棚	〃
昭和七年	第二	一一六棚	〃

昭和八年	第四	二七二棚	〃
計	第一養蠔場 五〇棚 第二 二五四棚 第四 四〇八棚	七一二棚	

(ニ) 收納狀況

昭和八年度建設セシ二〇アールハ昭和九年九月二十一日ノ風水害ニ依リ破損埋没セル爲附着牡蠣ノ大部分ハ斃死シ生存セシ稚貝ノ成長亦不良トナリ採取ヲ見合セタリ尙大正十五年以降昭和七年度迄建設セシモノモ大部分風水害ヲ蒙リ倒壊セル爲昭和九年度ニ於テハ牡蠣ノ生産ニ大減少ヲ來シ豫期成績ヲ舉クルコト能ハザリシカ一部ヲ青田賣セリ

(2) 知多郡上野村名和地先牡蠣養殖試験 (前年度繼承)

(イ) 試験地 知多郡上野村名和地先距岸一四〇米沖合

(ロ) 建設月日 昭和八年自七月二十日至八月九日

(ハ) 建設反別 鐵筋混凝土棚狀附着器 二〇アール(二七二棚)

(ニ) 試験經過 昭和八年七月中建設セルモノハ稚貝ノ附着良好ナリシモ八月ニ入りテ建設セルモノハ附着量ノ減少ヲ示シタリ

九月四日ノ調査ニ依レバ平均殻高二、三四種殻長一、五三種殻巾〇、七八種ニ達シ本年五月十二日ノ調査ニ依レバ平均殻高四、五五種殻長二、七六種殻巾一、三三種ニ達セリ然ルニ本年九月二十一日大暴風ノ爲附着材料ノ飛散セシモノ甚ダ多ク牡蠣ノ大部分ハ脱落埋没セリ

(ホ) 身入調査 本年十月二十二日身入狀況ヲ調査セシニ殻付一斗ノ重量一〇・三三疋空殻一八立七・九八疋剝身一・三五立ニシテ商品價値中等品ト認メラル

連絡試験ノ方法ニ依リ十月、十一月、十二月、二月ノ四回牡蠣百個ニ付生産量調査ヲ行ヒタルモ其ノ結果ハ連絡試

驗ノ項ニ記載セルニ付之ヲ省略ス

(3) 知多郡横須賀地先牡蠣養殖試験 (前年度繼承)

知多郡西海岸ハ近年海苔養殖場トシテ發達著シキモノアリ一方牡蠣養殖地トシテモ其ノ適地少カラズ之ガ開發ハ淺海増殖上極メテ緊要ナルモノト認メ數年前ヨリ松丸太或ハ鐵筋混凝土棚等各種附着材料ヲ投ジ或ハ場所ヲ移動シテ附着量ト害敵ノ驅除ヲ計ル等銳意試験ニ努力セシモ當海岸一帯ニ亘リいほにし、にし類ノ蕃殖盛ニシテ牡蠣稚貝ハ漸次食害セラレ毎年全滅ノ憂目ヲ見之ガ豫防對策ヲ講ジタルモノ一方盜難モ頻々ニシテ管理上遺憾ノ點アリ不止得右試験ハ本年度ヲ以テ中止スルコトトセリ

(4) 知多郡半田、成岩、武豊各地先養蠶試驗 (前年度繼承)

本試験ハ昭和七年度ニ於テ半田、成岩、武豊ノ各地先ニ鐵筋混凝土棚一〇アール宛ヲ建設シタルモノナリ武豊地先ニはいほにしノ蕃殖多ク稚貝ノ成長ト共ニ漸次食害ヲ受ケ之ガ豫防對策トシテ各潮毎驅除ニ努メタルモノ其ノ効果ナク昭和八年度收納ヲ見ズ昭和九年度ニ於テハ九月ノ大暴風ニ依リ大半倒壊飛散シ是亦收納スルコト能ハザリキ半田、成岩地先ニ建設セシモノハ昭和八年度各々第一回ノ收納ヲ見成岩地先ノモノハ成長身入共良好ナリキ然ルニ本年度ニ至リ大暴風ノ爲何レモ破損埋没シ中ニハ二十餘間飛散セルモノアリ依テ年度ヲ改メ大修理並ニ材料補給ヲ行フコトトセリ

(5) 知多郡龜崎町乙川地先養蠶試驗 (前年度繼承)

試験經過

昨年度自七月五日間知多郡龜崎町大字乙川地先ニ鐵筋混凝土二〇アール二七二棚ヲ建設セルコト既報ノ如シ稚貝ハ昭和八年十月平均殻高三・五種殼長二・二四種ニ達シ昭和九年五月一日ノ調査ニ於テハ殻高平均四・九種殼長三・一種ノ伸長ヲ見タリ九月二十一日大暴風ノ爲大部分倒壊斃死セルヲ以テ同月二十四、五、六ノ三日間ニ亘リ大修理ヲ行ヒ十二月二十一日ヨリ二十八日迄及十年二月十八日ヨリ二十四日迄人夫ヲシテ採取セシメタルモ牡蠣小形ナル

ニ加ヘ一般ニ相場下落ノ爲豫期ノ成績ヲ得ル能ハザリキ

(6) 碧海郡志貴崎、新川、吉濱各地先牡蠣増殖試験 (新規)

本縣下各地ニ於テ牡蠣ノ養殖漸次擡頭シ來レルモノ一般ニ不振ノ状態ニシテ殊ニ碧海郡沿岸ハ牡蠣ノ養殖適地廣大ナルニ不拘未ダ發達セザルヲ遺憾トス依テ之ガ指導獎勵ノ爲左ノ各地ニ於テ本試験ヲ實施セリ

(イ) 試験地 碧海郡旭村志貴崎地先、同郡新川町地先、同郡高濱町吉濱地先

(ロ) 試験反別 各二〇アール 一〇アール一三六棚ノ割

(ハ) 試験地ノ概況及材料ノ製作

A 旭村志貴崎地先

距岸一八二米ノ海區ニシテ底質砂、南方ニ矢作川アリ夏季之ガ影響ヲ受クルコト屢々アリ満潮時水深二米餘ニ達シ干潮時ニ於テ露出ス潮流又良好ナリ

B 新川町地先

試験地ハ距岸一二〇米ノ所ニシテ南北三七米東西六〇米約二〇アールノ區劃ヲ選定シ附着材料ヲ建設セリ底質泥砂質ニシテ水深満潮時二米五〇アリ干潮時ニ至ルモ沖合部ニ設置セル部分ハ露出セズ北一八一米ニ新川アルモ淡水ノ流出大ナラズ衣ヶ浦灣ニ面シ潮ノ流通良好ナリ

C 吉濱地先

新川試験地ヨリ更ニ灣澳ニ入り距岸五五米底質泥七分砂三分ノ極メテ軟キ俗稱みぢト稱スル地ナリ満潮時一米八〇ノ水深アリ干潮時露出ス

前記各試験地ニ建設スル鐵筋混凝土材料ハ全部本所内ニテ製作シ金鯧丸ニテ運搬ス(材料製作及組立方法ハ共同試験(一)参照ノコト)

(ニ) 建設月日

旭村志貴崎地先 自昭和九年七月十一日 至八月十六日

新川地先 自昭和九年六月三十日 至八月十日
吉濱地先 自昭和九年八月一日 至八月十四日

(ホ) 建設方法

旭村志貴崎地先ノ建設ハ南北七六米三六東西二七米二七ニ反歩ヲ建設セリ即チ中間三米六四ヲ舟通トシ一反歩ハ三七米ノ長ニ棚十七棚ヲ設ケ二七米二七ノ間ニ八列ヲ建テ中間五米四五ヲ舟通トス又各列ノ間隔ハ二米七三トシ棚間ハ一米六七脚部ハ地上三〇糎ノ高サトス他ノ一反歩モ之レト同一方法ニ依リ建設セリ
吉濱地先モ之レト同一方法ニ依リ新川地先ハ南北二七米東西六〇米ニ二〇アールヲ建設ス一列ノ長サ三七米トシ之ニ十七棚ヲ建込ミ二〇アールニテ十六列トナルコト前同様ナリ

(ニ) 稚貝ノ發育状況

八月十二日調査 吉濱試験地最大殻高一、〇糎平均殻高〇、五糎建込時期遅キ爲稚貝ノ附着少ナシ
八月十三日調査 新川試験地平均殻高二、一糎平均殻長一、四四糎 伸長良好いばにしノ被害少ナシ
十月七日調査 志貴崎試験地平均殻高二、四八糎平均殻長一、八一糎
十月九日調査 新川試験地平均殻高五、四二糎平均殻長三、三八糎
吉濱試験地平均殻高二、六二糎平均殻長一、八四糎
全 前記ノ通ニシテ新川地先ノモノ最モ成績良好ナリ

(ト) 其ノ後ノ經過

九月二十一日ノ大暴風雨ノ爲各試験地共材料ノ倒壊飛散多ク牡蠣ノ脱落流失等ノ損害亦尠カラズ材料ノ大修理ヲ行ヒタリ

(7) 幡豆郡寺津町地先 (前年度繼承)

本地ハ昭和五年度同地方ニ於ケル從來ノ養殖法ヲ改善指導スル爲同組合ノ願出ニ依リ混凝土棚狀附着器ヲ以テ試験セルモノナリ



(イ) 試験場所

幡豆郡寺津町中根新田地先

(ロ) 建設月日

昭和五年七月十五日

(ハ) 建設數量

三四棚

(ニ) 試験ノ經過 初年度ハ牡蠣ノ附着良ク成育モ亦良好ナリシガ舟行激シキ爲倒壊スルモノ多ク豫期ノ成績ヲ擧ゲ得ザル状態ナリシヲ以テ昭和八年度ヨリ之ヲ當業者三名ニ分チ委託試験トシ何レモ責任ヲ以テ管理及試験ニ當ランメ相當ノ成績ヲ收メタルモ附着棚僅少ニシテ豫期ノ成績ヲ擧グルコト困難ナリ

二、簡易採苗試験 (前年度繼承)

簡易垂下式竝ニ簡易横張棚、杭打式懸張法ニ依リ簡易ニ採苗スル方法ニシテ本年度試験次ノ如シ

(イ) 試験材料

板屋貝殻

(ロ) 試験地

伊勢灣澳庄内川沖合本所第一養蠔場

(ハ) 試験月日

昭和九年七月二十一日

(ニ) 試験方法

板屋貝ノ左殻ノミヲ使用シ貝殻ノ中央部ニ穴ヲ穿チ十四番亞鉛引針金九〇糎ノ長サニ約二〇〇枚ヲ通シタルモノ一四四本ヲ作り前年使用セル採苗棚上一列ニ載セ更ニ女竹ヲ以テ上部ヲ押へ結付ス

(ホ) 抑制試験

昭和九年八月下旬調査セルニ稚貝ノ附着多ク其ノ成長良好ナリ九月十日成長抑制ヲ行フ抑制棚ハ檜丸太杭末口徑六糎長サ九〇糎ノモノヲ一米五〇間隔ニ一列ニ五本打込ミ地上十八糎ノ高サトシ同一ノモノヲ同一方法ニ依リ前方九〇糎ニ一列ヲ作り上記二列ノ杭頭ニ九〇糎ノ丸太五本ヲ架シ釘打セリ更ニ之レト直角ニ長サ三米〇三末口六糎ノ丸太二本繼トセルモノ三本ヲ架シ釘打シタルモノニシテ二棚ヲ作レリ右棚上ニ直角ニ前記採苗セル材料一四四本ヲ二

段ニ並べ上ヲ棕梠繩ニテ抑ヘ抑制試驗ヲ行フ當時ニ於ケル板屋貝殻表面ノ稚貝數ハ平均二〇個裏面附着數ハ九個ニシテ稚貝ノ平均殻高一、二五種殻長〇、八種ニ達セリ其ノ後調査ノ結果殻高ノ成育ハ普通ノモノニ比シテ約六割抑制ノ結果ヲ得タルモ上部ニ面スルモノハ「セイ」ノ附着多ク且ツ之ニ壓倒セラレシモノ、如ク尙下敷トナレル牡蠣種苗ハ一般ニ衰弱セルヲ認メタリ

三、杭打式懸張法牡蠣増殖試験 (前年度繼承)

- (イ) 試験場所 知多郡半田町、成岩町、武豊町各地先
- (ロ) 試験ノ經過 昭和八年度六月八、九兩日武豊、成岩、半田各地先ニ伊勢灣澳部庄内川沖合ニ於テ採苗セル板屋貝殻附着器ヲ横張式ニ依リ養成セシモ大部分斃死シ新牡蠣ノ附着極メテ多ク採取期タル十二月ニ至リ形小ナル爲更ニ一年ヲ經過シ收納セントセリ斯クテ昭和九年四月三十日ニ至リ各試験地ニ於ケル横張式杭ノ修理ヲ行ヒ五月二十七、八兩日ニ亙リ各試験地ニ於ケル仲長度ヲ見ルニ武豊地先ノモノ平均殻高四、八五種殻長三、〇種殻巾二、五一種、成岩地先ノモノ殻高七、五八種殻長四、五〇種殻巾二、八九種、半田地先ノモノ殻高七、一八種殻長四、五一種殻巾二、一三種ニ伸長ヲ見、成岩地先ノモノ最モ成績良好ナリ然ルニ九月二十一日大暴風ノ爲半田、武豊地先ノモノハ皆無トナリ成岩地先ノモノ亦九割餘ヲ流失シ本年度ニ於テモ豫期ノ收納ヲ見ルコト能ハザリキ

四、連絡試験

- (1) 牡蠣身入状況及生産量調査
本縣各地養蠔場ニ於ケル牡蠣ノ身入状況及單位面積ニ對スル生産量ヲ連絡試験ノ方法ニ依リ調査シ養蠔方法ノ改善及養蠔場ノ等位ニ關スル資料ヲラシメントス
- (一) 調査場所ノ位置及環境
本縣牡蠣養殖場ノ主ナルモノ七ヶ所ヲ選定シテ本調査ヲ施行セルガ其ノ位置及環境次ノ如シ
- (イ) 海部郡飛鳥村地先
伊勢灣澳部新川庄内川尻ニ位シ河流ノ影響ヲ受クルコト大ニシテ底質泥砂質ニ富ミ干潮時露出シ滿潮時水深二米二〇アリ地盤ノ高サハ最大干潮線ヨリ約三五種高トス冬季ハ附近一帶海苔築建場トナリ養蠔場ヲ圍繞スルノ状態ナリ附近ニハ約六千坪ノ養蠔場アリ
- (ロ) 知多郡上野村名和地先
知多半島ノ根部伊勢灣ニ面シ名古屋港ニ近シ底質ハ泥砂質ニシテ干潮時露出シ滿潮時水深二米ニ達ス地盤高サ約二五種ナリ附近ニハ海苔古粗朶利用ノ養蠔場アリ又其ノ沖合ハ冬季海苔養殖場トナル
- (ハ) 知多郡龜崎町乙川地先
三河灣衣ヶ浦ニ面シ底質泥砂質ニシテ干潮時露出シ滿潮時水深二米ニ達ス地盤ノ高サ約二五種ナリ河川ノ影響殆ン下ナク附近ニハ牡蠣養殖場少ナシ
- (ニ) 幡豆郡寺津町地先
三河灣ニ面シ古クヨリ海苔古粗朶利用ノ養蠔業行ハレタリ底質泥砂質ニシテ地盤高ハ約二〇種内外ナリ近時全地ニ於テハ三、四月頃古粗朶ニ附着シタル種苗ヲ打落シ奥田新田内鹹水路ニ撒布養殖スルモノアリ
- (ホ) 幡豆郡幡豆町東幡豆地先
本地ハ東幡豆海岸ヨリ一哩ヲ去ル一孤島琵琶島通稱前島ノ西北部ニ位スル垂下式筏ニツキ調査シタルモノニシテ水深四米干満ノ差二米アリ河流ノ影響ナク潮流又緩漫ナリ底質ハ泥深ク附近ニ角建網一統アリ
- (ヘ) 渥美郡杉山村地先

渥美郡田原灣口ヲ扼シ底質ハ砂泥質ニシテ地盤ノ高サ二五極内外ニシテ滿潮時水深一、五米ニ達ス附近ニハ大ナル
 河川ナキモ灣内ナルヲ以テ多少淡水ノ影響アリ附近ニハ簡易橫張棚約四〇〇臺アリ
 (ト) 豐橋市大崎町地先
 渥美郡田原灣ヲ扼シ底質砂泥質ナリ地盤高ハ最大干潮面ヨリ三十極乃至四十極低ク附近ニハ簡易橫張式棚約二〇〇
 臺アリ
 (ニ) 牡蠣身入狀況並ニ生産量調査

第一回

月日	調査場所	經營者	養殖方法	養殖種類	移殖時期	個數	右平	長殼	殼量	付重	平均	肉重	殼容	付重	生産量	商品價值	備考	
昭和九年十月一日	海都郡飛鳥村地先	試驗場	混泥土二同	養殖地	昭和九年六月廿一日	100	56	29	12.5	18.2	2.3	2.4	3000	4368	552	588	良狀肥滿	昭和八年八月建設
〃	知多郡龜崎町乙川地先	〃	〃	〃	〃	100	56	29	12.5	18.2	2.3	2.4	3432	5088	648	660	良狀肥滿	建設全七月
〃	知多郡上野村名和地先	〃	〃	〃	〃	100	48	30	10.4	15.3	2.2	2.3	2496	3672	528	552	良狀肥滿	全
〃	幡豆郡寺津町地先	當業者	地撒	〃	〃	100	61	31	12.8	17.0	2.6	2.5	640	750	528	552	良狀肥滿	〃
〃	全幡豆町地先	試驗場	垂下式	〃	〃	100	33	20	12.8	15.3	2.2	2.3	10250	13750	1300	1250	良狀肥滿	〃
〃	東幡豆町地先	當業者	式棚張	〃	〃	100	72	27	21.4	31.1	4.0	4.4	10700	15570	2000	2200	良狀肥滿	〃
〃	渥美郡杉山村地先	當業者	式棚張	〃	〃	100	72	27	21.4	31.1	4.0	4.4	10700	15570	2000	2200	良狀肥滿	〃
〃	豐橋市大崎町地先	試驗場	式棚張	〃	〃	100	71	32	12.0	15.8	2.4	2.2	6000	7900	1200	1120	良狀肥滿	〃

第二回

月日	調査場所	經營者	養殖方法	養殖種類	移殖時期	個數	右平	長殼	殼量	付重	平均	肉重	殼容	付重	生産量	商品價值	備考	
昭和九年十一月一日	海都郡飛鳥村地先	試驗場	混泥土二同	養殖地	〃	100	54	33	15.1	25.0	4.3	4.3	3624	6012	1020	1000	良狀肥滿	昭和八年八月建設
〃	知多郡龜崎町乙川地先	〃	〃	〃	〃	100	51	33	16.4	23.0	2.9	3.4	3936	5532	696	804	良狀肥滿	〃
〃	知多郡上野村名和地先	〃	〃	〃	〃	100	54	37	17.4	25.1	6.6	4.8	4128	6011	1584	1140	良狀肥滿	〃
〃	幡豆郡寺津町地先	當業者	地撒	〃	〃	100	62	36	21.4	28.5	4.4	4.7	10700	14250	2175	2325	良狀肥滿	〃
〃	東幡豆町地先	試驗場	垂下式	〃	〃	100	60	39	19.0	8.0	4.0	5.0	30625	10700	4128	3936	良狀肥滿	〃
〃	渥美郡杉山村地先	當業者	式棚張	〃	〃	100	82	38	29.6	53.2	5.4	5.7	50024	89908	9227	9633	良狀肥滿	〃
〃	豐橋市大崎町地先	試驗場	式棚張	〃	〃	100	63	37	20.0	24.5	4.8	4.9	30420	38633	7300	7452	良狀肥滿	〃

第三回

調査月日	場所	養殖	経営者	方法	産地	移殖時期	調査個数	高殻	右殻	平殻	長殻	殻容量	付重	均生容量	均生肉重	殻容量	付重	均生容量	均生肉重	肥満状況	抱卵状況	卵色	備考
昭和九年四月四日	海部郡飛鳥村地先	養殖	試験場	土棚	養殖場	昭和九年六月廿一日	200個	77	89	54	38	30.2	43.6	7.6	8.9	51642	66915	11559	13537	中	中	中	昭和八年八月建設
〃	知多郡龜崎町乙川地先	〃	〃	〃	〃	〃	〃	68	45	35	45	20.0	25.8	4.8	5.6	50000	64600	12000	14050	優	優	優	〃
〃	名和郡上野村	〃	〃	〃	〃	〃	〃	35	65	21.3	26.9	26.9	5.1	5.5	10650	13460	2525	2755	中	中	中	〃	
〃	幡豆郡寺津町地先	地撒	當業者	〃	〃	〃	〃	54	35	18.6	26.6	26.6	5.5	5.9	4464	6384	1315	1423	優	優	優	幡豆郡平坂町奥田新田内	
〃	幡豆郡幡豆地先	式垂下	試験場	〃	〃	昭和九年六月廿一日	177	54	39	18.6	27.7	27.7	5.1	5.5	4464	6648	1212	1325	良	良	良	約七割「フナツボ」ノ爲斃死	
〃	先東郡幡豆地先	〃	〃	〃	〃	〃	〃	89	48	39	48	41.0	57.7	8.8	10.5	69290	98113	14872	17745	優	優	優	〃
〃	瀧美郡杉山村地先	式横張	當業者	〃	〃	〃	〃	77	48	39	38	41.0	43.6	7.6	8.9	69290	98113	14872	17745	優	優	優	〃
〃	豊橋市大崎町地先	試験場	試験場	〃	〃	〃	〃	77	49	38.5	30.2	43.6	7.6	8.9	51642	66915	11559	13537	〃	〃	〃	〃	

第四回

調査月日	場所	養殖	経営者	方法	産地	移殖時期	調査個数	高殻	右殻	平殻	長殻	殻容量	付重	均生容量	均生肉重	殻容量	付重	均生容量	均生肉重	肥満状況	抱卵状況	卵色	備考
昭和十年二月七日	海部郡飛鳥村地先	養殖	試験場	土棚	養殖場	〃	200個	72	42	250	38.0	5.7	6.2	5988	9201	1372	1488	良	良	良	昭和八年八月建設		
〃	知多郡龜崎町乙川地先	〃	〃	〃	〃	〃	〃	53	40	29.0	43.0	7.2	9.6	1960	10276	1733	2298	良	良	良	〃		
〃	名和郡上野村	〃	〃	〃	〃	〃	〃	76	31	24.2	36.3	7.7	8.7	5827	8729	1834	1276	優	優	優	〃		
〃	幡豆郡寺津町地先	地撒	當業者	〃	〃	〃	〃	51	38	18.6	27.0	4.8	5.6	4464	6571	1152	1344	良	良	良	幡豆郡平坂町奥田新田内		
〃	一月十六日	〃	〃	〃	〃	〃	〃	83	49	38.5	44.4	7.8	9.5	66065	90247	19111	22270	優	優	優	〃		
〃	一月廿二日	〃	〃	〃	〃	〃	〃	71.7	49	38.5	44.4	7.8	9.5	66065	90247	19111	22270	優	優	優	〃		
〃	豊橋市大崎町地先	試験場	試験場	〃	〃	〃	〃	71.7	49	38.5	44.4	7.8	9.5	66065	90247	19111	22270	優	優	優	〃		

前記調査報告ハ其ノ都度連絡各府縣水産試験場並中央水産試験場ニ報告セリ

(2) 垂下式牡蠣斃死原因調査

- (一) 水温及塩分調査
- (イ) 調査場所 寶飯郡西浦村松島地先 民間經營ニ係ル垂下式養殖場
- (ロ) 調査期間 自昭和九年六月十五日 至 昭和九年十月十三日 毎五日目
- (ハ) 水温ハ現場ニテ觀測シ塩分ハ中央水産試験場ニ送付檢定ヲ受ケ尙水温ハ海水送付ノ都度併セテ報告セリ中央試験場ヨリ報告アリタル塩分比重ヲ表示セバ次ノ如シ

一〇・三	九・二八	九・二四	九・一八	九・一四	九・八	九・三	八・二九	八・二四	八・二〇	八・一四	八・九
P.M.	〃	A.M.	P.M.	A.M.	〃	P.M.	〃	A.M.	P.M.	A.M.	〃
二・三〇	一〇・三〇	一〇・〇〇	二・四五	二・一〇	二・四五	二・三〇	二・四五	一〇・〇〇	一・三〇	一〇・三〇	四・三〇
22.0	23.7	23.5	24.6	26.6	26.5	27.0	28.0	27.0	29.2	29.5	29.5
30.90	30.15	32.34	30.59	28.96	31.64	30.97	32.12	31.53	31.33	31.11	31.38
22.84	22.22	23.94	22.59	21.36	23.40	22.89	23.78	23.32	23.17	23.01	23.21
22.0	22.8	23.6	25.2	24.8	26.1	26.5	27.7	25.0	28.5	28.5	29.3
30.90	29.88	32.32	31.60	32.16	21.83	32.21	32.12	32.29	31.29	31.20	31.31
22.84	22.06	23.93	23.38	23.81	23.51	23.85	23.78	22.99	23.14	23.07	23.16
22.0	23.4	23.3	25.0	25.0	25.0	26.0	27.5	24.5	28.0	27.5	28.5
31.20	31.40	32.38	31.64	32.38	32.57	32.50	32.29	32.72	31.42	31.65	31.53
23.11	23.23	23.97	23.41	23.97	24.12	24.07	23.91	24.24	23.24	23.42	23.21
6.60	6.30	5.50	6.60	6.10	5.60	6.00					
滿	二分引	三分引	滿	三分引	五分滿	滿	〃	〃	〃	〃	〃
N	SW	W	N	0	SE	0	W	E	W	0	0
3	4	23	2	0	10	0	2	2	4	0	0
10	2	3	10	7	8	6	3	4	3	6	6
アリ	0	0	アリ	0	0	0	0	0	0	0	0

八・四	七・三〇	七・二五	七・二〇	七・一五	七・一一	七・一	六・三〇	六・二五	六・二〇	六・一五	月採 日水
P.M.	A.M.	〃	P.M.	A.M.	〃	P.M.	A.M.	〃	P.M.	A.M.	時 刻
二・三〇	九・五〇	五・一〇	〇・四五	九・三〇	四・五〇	二・〇〇	一〇・一〇	五・三〇	一・三〇	二・〇〇	
28.6	25.5	26.6	28.0	26.4	27.7	28.5	25.6	23.5	23.0	22.5	水温 上
31.31	31.62	31.02	29.88	30.37	30.61	29.81	29.23	25.97	30.05	31.98	撿分
23.16	23.39	22.93	22.06	22.45	22.62	22.01	21.57	19.06	22.19	23.66	比重
28.5	24.6	26.5	25.0	26.2	27.5	28.3	25.5	22.5	21.6	21.5	水温 中
31.20	32.36	30.95	31.46	30.41	30.88	29.87	29.34	29.18	31.78	32.20	撿分
23.07	22.94	22.88	23.26	22.46	22.83	22.04	21.64	21.52	23.51	23.84	比重
27.8	23.9	26.0	22.5	25.5	26.5	25.5	25.4	20.8	21.3	21.5	水温 下
31.53	32.52	31.02	32.86	31.13	32.01	30.95	29.36	32.16	32.27	32.38	撿分
23.32	24.09	22.93	24.34	23.02	23.69	22.88	21.66	23.81	23.90	23.97	比重
6.10	6.30	6.80	6.20	6.70	6.90	6.10	6.60	7.00	7.50	7.30	水深
〃	〃	〃	〃	滿	八分滿	〃	滿	〃	〃	滿	潮候
W	SW	E	SE	0	0	SW	0	〃	〃	SW	向
2	2	3	3	0	0	3	0	4	2	0	風力
4	2	7	4	5	2	0	0	7	3	0	雲量
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	雨量

一〇・一三	一〇・八
ク	A.M.
二〇・三	一〇・三〇
20.4	20.3
21.24	30.90
23.10	22.84
20.1	20.3
31.17	30.84
23.05	22.80
20.3	20.8
31.18	31.00
23.06	22.92
6.40	5.80
三分引	四分引
E	W
2	4
6	10
0	0

(二) 海水成分ノ分析調査

本調査ハ其ノ設備ナキヲ以テ省略ス

(三) 牡蠣斃死原因調査

本地ニ於テ牡蠣ノ斃死ナカリシモ斃死ト産卵トノ關係調査資料トシテ七月上旬ヨリ十月中旬迄毎月上旬及中旬ニ於テ觀測ノ都度中層牡蠣十個ヲ採取シフォルマリン液ヲ以テ處理ノ上中央水産試驗場ニ送付セリ

(四) 浮出現ノ狀況

水温觀測ノ都度下層ヨリ上層迄垂直的特ヲ採取シタルニ次ノ結果ヲ得タリ

(3) 各地産牡蠣種苗優劣比較試驗

A 第三回

昭和九年二、三月頃各地産牡蠣種苗ノ送付ヲ受ケ海部郡新川、庄内川尻試驗地ニ於ケル横張式棚ニ懸張シテ其ノ成長度ヲ比較試驗セリ

(一) 試驗方法

檜丸太ヲ以テ十一尺平方地上ヨリ約二十五種高ノ棚ヲ建設シ之ニ亞鉛引十番線ニ牡蠣附着器ト管竹ヲ交互ニ通シタル長サ十尺ノモノヲ約十種間隔ニ横張シ成長度ヲ比較セリ

(二) 成長度調査

産地名	種苗到着月日	懸張月日	第一回調査		第二回調査		第三回調査		第四回調査		懸張當時附着器一個ニ對スル附着數	
			月日	殻高	月日	殻高	月日	殻高	月日	殻高		
宮城	昭和九年二月二十三日	二月二十四日	全上	一・八 m.m.	五月二十六日	三・九	八月十日	四・五	九月十日	五・〇	三・〇	二三個
朝鮮	二月二十二日	二月二十四日	全上	一・七	五月二十六日	三・四	八月十日	三・八	九月十日	四・四	二・九	二八ク
愛知		三月三日	全上	一・七	五月二十六日	三・四	八月十日	四・〇	九月十日	四・三	二・九	二二ク
廣島	昭和九年三月一日	三月四日	全上	一・七	五月二十六日	三・七	八月十日	四・〇	九月十日	五・二	三・三	四・三ク
熊本	三月三日	三月四日	全上	二・三	五月二十六日	三・三	八月十日	四・〇	九月十日	四・八	三・〇	二五・三ク
静岡	二月十日	二月十日	全上	二・六	五月二十六日	三・七	八月十日	四・七	九月十日	五・三	三・八	九・〇ク

蛸名	蛸採取月日		昭 和 九 年 六 月 十 五 日	昭 和 九 年 一 月 四 日	多 多 通 稀 極 稀
	蛸名	蛸量			
Appendicularia					
Baranus amphitrite					
Copepoda					
Cladocera					
Cnidaria Larva					
Gastropoda					
Lamellibranchia	Y.Y				
Oyster Larva					
Polychaeta Larva					
Sagitta					
Decapoda					
Evadone					
Asterionera					
Bacillaria					
Biddulphia sp					
Biddulphia shinensis	Y				
Bacteriastrium d. licatum	Y				
Bacteriastrium varians					
Coccolithodiscus	Y.Y				
Chaetoceras	C.C				
Cocconies					
Ceratium					
Ceratium fusus					
Cittarocyclus Ehrenbesgii					
Corethron					
Ditylimum brightwells					
Dinophysis	Y.Y				
Eucampia joodiacus Ehr					
Guinaridia					
Haemiaras					
Lecmophora	Y.Y				
Nityschia seriata					
Nityschia					
Nityschia longissima					
Navicula	Y.Y				
Noctiluca					
Pleurosigma					
Peridinium	Y.Y				
Prophycus					
Rhizosolenia	Y				
Rhizosolenia stouterforthii	Y.Y				
Rhabdonema					
Synedra					
Skeletonema costatum	Y				
Tharsothrix					
Tintinopsis					
Stephanopocis					

牡蠣斃死原因調査
蛸ノ出現表

調査場所 寶飯郡西浦地先

産地名	愛知		静岡		宮城	
	三月三日	昭和九年	二月十日	夕	二月二十四日	昭和九年
懸張式棚	10, 2, 9	9, 1, 1	10, 2, 9	9, 1, 1	10, 2, 9	9, 1, 1
調査日	10, 2, 9	9, 1, 1	10, 2, 9	9, 1, 1	10, 2, 9	9, 1, 1
重量	1, 300	1, 000	700	650	700	1, 300
容量	875	680	480	470	500	1, 300
付						
空	765	590	410	380	450	1, 100
殼	345	370	230	230	330	800
剥	355	295	445	185	155	475
身	330	280	148	150	140	360
煮熟後肉身	275	185	105	85	90	260
乾燥後	81.5	64.9	55.9	39.2	39.4	70.4
乾燥貝	700	580	388	333	360	880
平均	55	51	52	58	53	57
平均	56	56	56	56	56	56
乾燥一個	2.31	1.47	1.09	1.34	1.70	1.40
供試	30	50	80	17	50	100

(三) 身入比較調査
昭和九年六月二十一日前記横張式棚ニ於テ試験中ノ各地産牡蠣種苗ノ一部ヲ幡豆郡幡豆町東幡豆地先琵琶島西北端ニ於ケル垂下筏ニ垂下シ身入比較試験ヲ施行シタルニ次ノ結果ヲ得タリ
(イ) 横張式棚ニ於ケル身入調査

熊本	朝鮮	廣島	愛知		静岡	
			昭和九年	六月二十一日	全	全
九、三、四	九、二、一	九、三、四	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一
九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一	九、二、一

以上ノ結果ヲ綜合スルニ成長度ハ横張式棚ノモノ垂下式筏ニ比シ良好ニシテ乾燥肉身ノ平均ハ朝鮮産ヲ除ク外横張式ノ方垂下式ニ比シ遙カニ優レルヲ知り得タリ尙垂下式ニ於テ平均殼高ヨリ見ルトキハ宮城、朝鮮、愛知、静岡、廣島、熊本等ノ順位ニシテ肉身ノ充實ニ付テハ静岡、愛知、宮城、廣島、朝鮮ノ順位ヲ示セリ

B 第四回

本縣ハ種苗供給縣竝ニ養育擔當縣ナリ

一、種苗採取方法

(1) 附着器及數量

附着器トシテ殼高九種殼長五種内外ノ強固ナル眞牡蠣貝殼ヲ使用シ中央ニ穿孔シ亞鉛引鐵線ニ腹合セ及脊中合セニテ交互ニ貫通セル長サ三尺ノモノ一〇連附着器約四千個ナリ

(2) 建設方法

末口二寸長サ三尺ノ杭ヲ七尺間隔ニ三本一列ニ打込ミ地上約九寸トス此列ト約一尺五寸ノ間隔ヲ保チ並行ニ同様ニ列杭打ヲ行ヒ更ニ之等ノ杭頭ニ末口二寸長サ十四尺ノ檜丸太三本ヲ釘付シテ採苗臺トナシ之ニ前記附着器一一〇連ヲ直角ニ載セ徑一寸内外ノ眞竹ニ針金ヲ以テ結縛ス

(3) 建設場所竝ニ建設月日

知多郡成岩町地先 昭和九年六月十七日

(4) 稚貝附着狀況竝ニ其ノ經過

七月中旬調査セルニ稚貝ノ附着極メテ良好ニシテ大ナルハ〇・五種ニ達セルモノアリ 其ノ後九月二十一日ノ大暴風雨ニ依リ大部分倒壊シ埋没セルモノアリタルヲ以テ應急修理ヲナス 全年九月三十日調査ノ結果平均殼高二・五種平均殼長一・八種ニ達セリ

(5) 種苗送付先、送付時期及送荷方法

協定ニ依リ昭和九年十一月十八日宮城、千葉、東京、神奈川、静岡、和歌山、三重、廣島、山口、徳島、佐賀、沖繩、島根、京都、石川、新潟、關東廳等十七府縣二十個所へ夫々箱詰メトシテ送付セリ

(6) 養育方法

本縣ハ調査用トシテ長サ十三尺ノモノ八連作成、之ヲ昭和九年十一月二十日新川、庄内川尻地先ニ於ケル横張式棚ニ懸張セリ

懸張當時附着器一個ノ平均稚貝個數 一七・七個

一連ハ附着器十八個乃至十九個トシ 平均殼高三六耗 平均殼長二十耗

二、各縣産牡蠣種苗養育試驗

本縣ハ前述ノ如ク養殖擔當縣ニシテ種苗擔當府縣ヨリ夫々左記ノ通種苗ノ送付ヲ受ケタルヲ以テ海部郡新川、庄内川尻地先ニ於ケル試驗地ノ横張式棚ニ懸張シテ試驗中ナリ

種苗供 給府縣	種苗產地	到着月日	附着器數	附着器種類	附着器一個ノ 平均附着數	懸張月日	成 高 一 般 長 度
宮城	宮城縣万石浦	昭和九年 十二月二日	二二〇 ^個	牡蠣空殼	一八 ^個	昭和九年 十二月三日	四・五 ^m 三・五
千葉(内灣)	君津郡木更津	十一月十日	二〇〇	板屋貝殼	二二	十一月十日	一五・〇 一三・〇
東京	江戸川區葛西浦	十一月二十一日	一〇〇	〃	一〇	十一月二十二日	三二・〇 二一・〇
三重	北牟婁郡相賀町 白石湖	十一月十七日	一四四	牡蠣空殼	二〇	十一月十九日	一四・〇 一〇・〇
廣島	廣島市草津町地 先	十一月二十日	一五〇	板屋貝殼	一二	十一月二十二日	二三・〇 一五・〇
熊本	八代郡鏡町地先 毛洲	十一月二十三日	一〇〇	牡蠣空殼	四	十一月二十四日	一五・五 一一・七
新潟	佐渡郡加茂湖	十一月十八日	一五〇	〃	九	十一月十九日	二五・〇 二〇・〇
佐賀	藤津郡塩田川浮 筋	十月二十五日	一〇三	住ノ江牡蠣空殼	二一	十月二十六日	一七・〇 一二・〇
静岡	清水 折戸灣家間	十一月十八日	一五〇	牡蠣空殼	一九	十一月十九日	二三・〇 一六・〇

二、海苔適地利用試験

從來海苔増殖基礎試験繼續施行ノ結果伊勢灣及三河灣ニ於ケル海苔養殖ニ關スル資料ヲ得タルヲ以テ昭和七年度ヨリ五ヶ
年計劃ヲ樹立シ未開發地利用ノ範ヲ垂レ當業者ヲ指導スルト共ニ引續キ海苔養殖ニ關スル各種試験ヲ施行セリ

一、未開拓地利用地子海苔増殖試験

伊勢灣澳部ノ地盤低キ場所ヲ選定シ地子海苔増殖施設ヲナン海苔附着狀況竝ニ成育狀態ヲ試験スルト共ニ當業者ヲ指導
セリ

- 1 試験地ノ位置 海部郡飛鳥村政成新田地先後川澤南
- 2 試験地ノ面積 二〇アール
- 3 附着材料 桎簀六〇〇株
- 4 建込月日 昭和九年十月九日
- 5 試験地ノ海況 建込當日 水深〇・六〇米 水温二一・八 比重二一・八六四
十一月十六日調査セルニ長九・〇耗巾二・〇耗程度ニ成長セルモノ建込全部ニ亙リ附着セルヲ認
メタリ
- 6 附着及成長
- 7 摘採日數 初摘昭和十年一月八日 最終四月十八日(八潮)
- 8 摘採量及抄製數 生海苔一、一三一疋 乾上ゲ三〇、一五〇枚 此金四三八圓七七錢
- 9 平均一株ノ生産 株當リ五〇枚強 金七十三錢強
- 10 試験中ノ概況 本年ハ地子海苔ノ附着意外ニ良好ニシテ桎簀ニハ硅藻ノ附着殆ンドナク「せい」ノ附着モ亦多カラ

ズ 品質色澤共ニ佳良ニシテ初摘以來最終迄殆ンド色澤ノ減退セルコトナク青味ヲ帯ベル良質ノ製品ヲ得タリ 但シ三月中旬頃ヨリ藻ノ下部(地上一尺ヨリ三尺程度迄)ニ青海苔ノ附着ヲ見タルモ 混海苔トシテ採取スル程度ノモノニアラズ 附着層ハ相當高ク最初地上四尺ヨリ五尺五・六寸迄ノ間ニシテ二月下旬頃ヨリ漸次上昇シ下部ノ海苔ハ流失著シク上部ハ六尺位ノ處迄附着ヲ見 地子海苔養殖試験開始以來ノ好成绩ヲ納メタリ

二、未開拓地利用移植海苔増殖試験

伊勢灣澳部ノ比較的地盤低キ場所ニ三河産種藻二種ヲ移植シ之ガ利用ニ付資料ヲ得ルト共ニ種藻産地ニ依ル移植後ノ成育其ノ他經濟的試験ヲ施行セリ

- 1 試験地ノ位置 海部郡飛鳥村地先蟹江川澤東
水深満潮時一米八〇、干潮時露出ス底質ハ軟泥ニシテ足ヲ没スルコト約一〇—一五種ナリ
- 2 試験地ノ面積 五〇アール
- 3 附着材料 桫藻一、五八五株
- 4 種藻産地及數量 豊橋市大崎町地先 一、五〇〇株
渥美郡伊川津地先 八五株
- 5 採苗建込月日 大崎産 昭和九年九月二十六日及二十七日
伊川津産 全 年九月二十六日
- 6 移植月日 大崎産 全 年十月二十六日到着
伊川津産 全 年十一月十五日到着

全

十六日建込

- 7 移植方法 柵間九尺株間四尺一反歩ヲ二十間×二十五間トシ之ヲ一切トス切ト切トノ間ヲ三間又ハ五間トシ一反歩ニ三百八株ノ割ヲ以テ建込ヲ行フ
- 8 試験地ノ海況

調査月日	現場水層			換算比		
	上層	中層	下層	上層	中層	下層
十月二十三日	一九・五	一九・七	一九・六	一六・六八	二〇・六一	二〇・〇一
十一月七日	一六・二	一七・三	一六・七	一五・九	一六・〇	一七・二
十一月二十二日	一三・七	一四・三	一三・八	一六・七	一八・七	一六・九
十二月三日	一一・五	一二・〇	一二・五	一八・三	二〇・二	一八・六
十二月十八日	一一・四	一一・四	一一・五	一九・七	一九・八	二〇・〇
三月一日	一〇・五	一〇・六	一一・〇	一三・〇	一六・九	一八・七
三月十五日	一〇・三	一〇・二	一〇・五	一九・一	一九・三	一九・七
四月十六日	一五・七	一五・二	一五・四	六・五	一一・九	一一・三

備考 右表ハ當日ニ於ケル潮間観測ノ平均ヲ示セルモノナリ

9 附着及成長

1 移植當時ニ於ケル狀況次ノ如シ

大崎産 肉眼ヲ以テ完全ニ認メラル、モノ少キモ諸所ニ三耗程度ニ成長セルモノアリ「せい」ノ附着少キモ青海苔ノ附着著シ

伊川津産 肉眼ヲ以テ完全ニ認メラル、モノ及然ラザルモノ相半バス「せい」及青海苔ノ附着殆ンドナク一乃至二耗程度ノモノ密生ス

2 其ノ後ノ狀況

大崎産 十一月十六日調査ノ結果成育良好ニシテ大ナルモノ最大一三〇耗平均七〇一八〇耗ニ成育セルヲ認メタルモ附着狀況粗ニシテ部分的ナリ十月十八日初摘ヲ行フ コノ頃ヨリ漸次順調ニ全面的ニ附着セリ 二月十八日ヨリ二月二十七日迄ノ採取ヲ最盛期ト認メラレ三月二十日頃迄略同一量ノ生産ヲ得 四月十二日ヲ以テ終期トナレリ コノ當時青海苔(銀青)ノ附着著シク濱ノ地上一尺ヨリ三尺位迄全面ニ青海苔ノ成長ヲ見タルモ其ノ上部ニ附着セル海苔ニハサシタル影響ナク品質ハ可也良好ナリキ

伊川津産 十一月十六日調査セルニ移植當時ト別段變リナク肉眼ニテ認メラレタルモノ約一〇耗ニ成長セルノミ移植當時肉眼ニテ認メラレザリシモノハ依然發見セラレズ「せい」及青海苔ノ附着ナク十二月二十三日初摘ヲナス 其ノ成長最大七〇耗平均五〇耗ニシテ築五株ノミ摘採セリ一月十三日ヨリ二月上旬迄ハ依然摘採量少ナク二月二十日頃ヨリ急速ニ成長シ當初附着ヲ認メザリシ築ニモ次第ニ發芽シ成長モ亦速カナリ之ヨリ三月下旬迄ヲ最盛期ナリト認ム 當時長サ三〇〇耗程度ニ達シタルモ巾ハ最大四〇一五〇耗程度ニシテ即チ細長ク成育セリ 四月九日ヲ以テ終期ニ達セリ 品質ヲ調査スルニ大崎産ニ比シ稍赤味ヲ呈シ色澤劣レリ 著シク弾力アル所謂引強キ青味ヲ帶ベル海苔ハ附近ノ寒芽、馬鹿芽ノ附着成育セシモノト思惟セラル

10 摘採數量及抄製數

回数	摘採月日	生海苔數量	乾燥枚數	合計
			大崎産	
			伊川津産	
			合	
			計	

回数	摘採月日	生海苔數量	乾燥枚數	合計
1	至自十二月二十八日	二、〇〇、〇〇〇 _斤	五、二〇〇 _枚	一〇〇 _枚
2	至自十一月十三日	二、三三、〇〇〇	五、九三〇	二三〇
3	至自一月二十七日	一、六一、〇〇〇	三、八四〇	一六〇
4	至自二月十二日	二、五五、〇〇〇	六、七〇〇	一
5	至自二月二十七日	三、五五、〇〇〇	八、七四〇	六六〇
6	至自三月十五日	二、四四、〇〇〇	六、一四〇	三〇〇
7	至自三月二十九日	二、一七、〇〇〇	五、四五〇	三〇〇
8	至自四月十二日	五、四〇、〇〇〇	一、二〇〇	一〇〇
計		一、七一九、〇〇〇	四三、二〇〇	一、八五〇
				四五、〇五〇

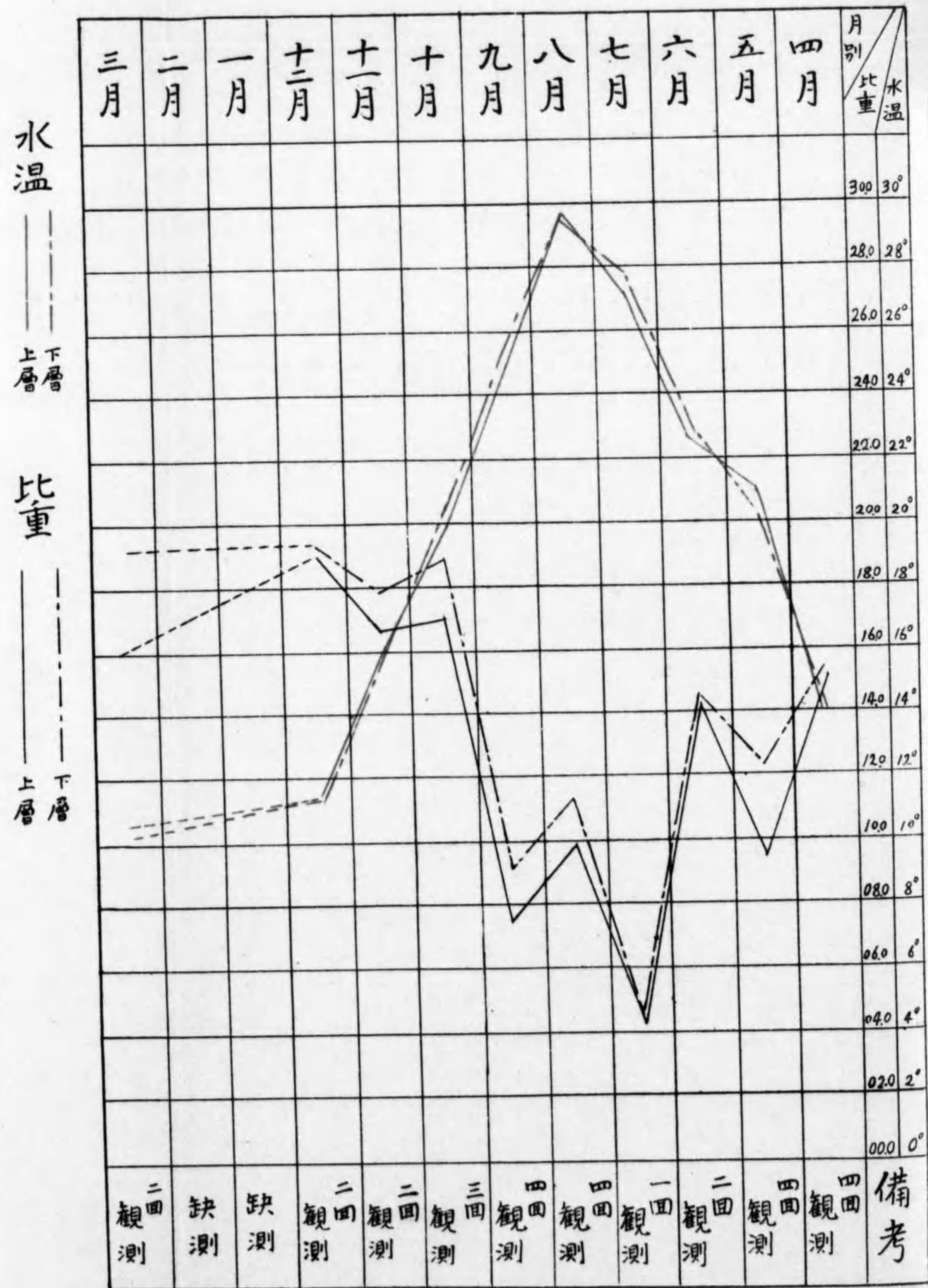
前表ノ如ク生海苔一、七一九枚抄製數四五、〇五〇枚ニ達シ金五百五圓九十一錢ヲ收納セリ

11 平均一株ノ生産 二十八枚強 金三十二錢強トナル

12 試験ノ概況

本年度移植海苔ノ狀況ハ伊勢灣澳部一帶成育良好ニシテ例年比較的降雨量少キ養殖最盛期ニ於テ一月中一〇一・二二耗二月五・八耗三月八六・七耗四月ハ中旬迄ニ五一・五耗ノ降雨アリ尙氣温ノ急激ナル變化等少ナク且ツ寒氣モ

於第二養蠶場 潮間觀測 自昭和九年四月
水溫比重各月平均 至 " 拾年三月



三、海苔附着材料比較試験

海苔附着材料トシテ椰子網、竹箆ヲ利用シ比較的地盤高キ適地ニ於テ其ノ附着數量及品質並經濟關係等ヲ闡明シ當業者ヲ指導スル爲本試験ヲ施行セリ

1 採苗場所及建込月日 三河灣豊橋市大崎町地先平潟 昭和九年十月十二日夜建込

13

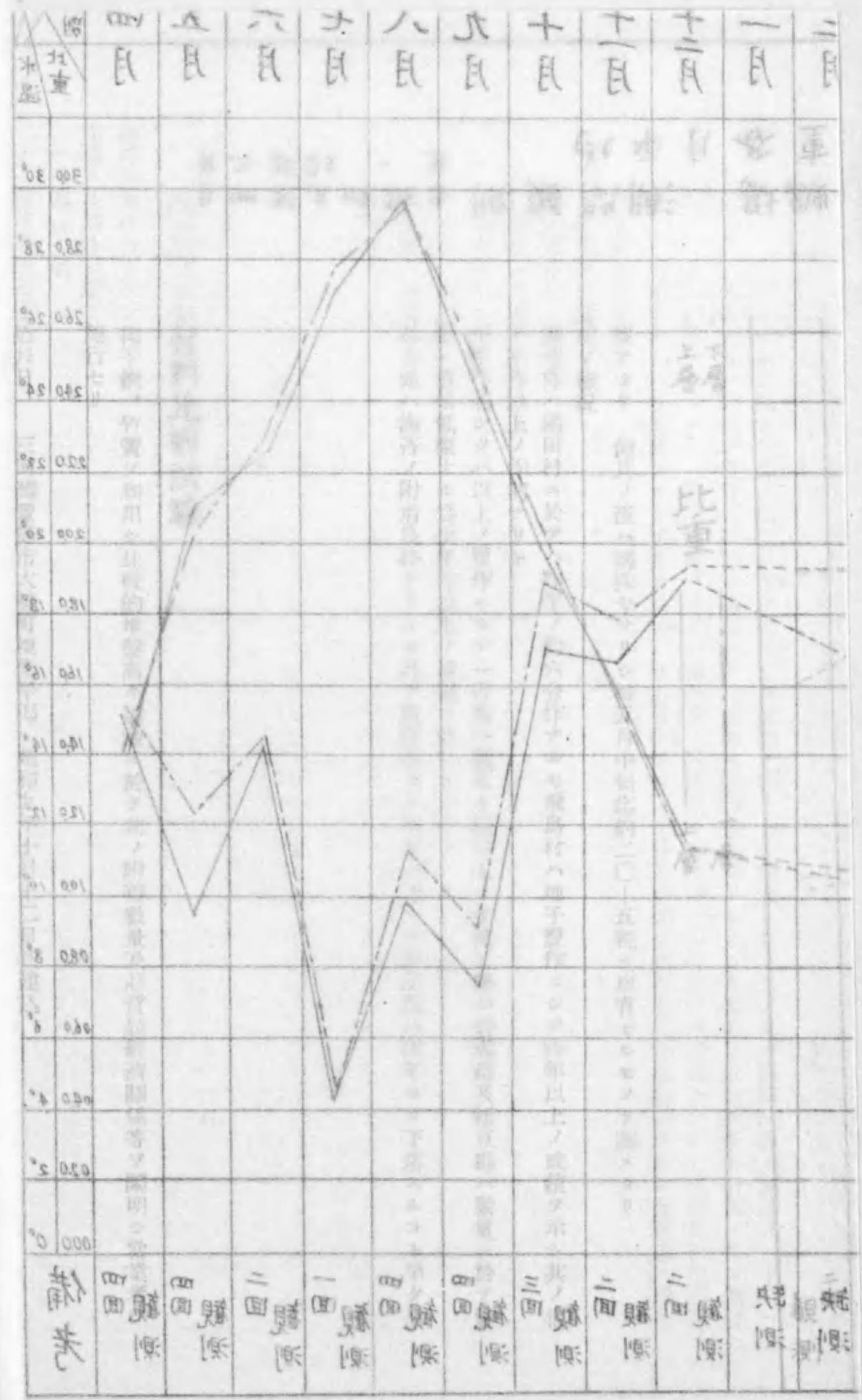
相當永ク續キタルヲ以テ品質ヲ損フコトナク殆ンド鹽燒ト稱スベキ現象ヲ見ズ又ソレガ爲硅藻類ノ繁殖及「ドク」腐レ等ノ被害モ少ク海苔ノ成育ニ好適ノ海況ナリシモ移植當時大崎産ノモノハ青海苔ノ附着多キ爲製造ニ際シ選別ニ甚ダシキ手数ヲ要シタリ 伊川津産ノモノハ青海苔ノ附着殆ンドナカリシモ其ノ成長遅々トシテ次期摘採迄相當日數ヲ經過セザレバ收穫量少ナキヲ免カレズ 双方共昨年ニ比シ終了期遅レ四月十二日迄摘採ヲナシ當業者ハ四月下旬迄摘採ヲ續ケタリ 尙其ノ後ハ摘採セザリシモ五月中旬迄約二〇—五耗ニ成育セルモノヲ認メタリ

本年度海苔養殖ノ概況

伊勢灣澳部ノ海苔作ハ鍋田村ニ於テハ昨年ノ約六分作ナルモ飛鳥村ハ地子豐作ニシテ昨年以上ノ成績ヲ示シ其ノ他ノ地方ハ大体平年作以上ノ作柄ナリキ

知多郡沿岸ハ平年作若シクハ以上ノ豐作ニシテ一株當一圓五十錢以上ノ生産ヲ擧ゲ碧海郡及幡豆郡ハ數量ニ於テ豐作ナリシモ一般ニ價格低廉ナル爲平年作以上ノ成績ニ終レリ

寶飯郡、渥美郡方面ハ海苔ノ附着良好ナリシモ其ノ後適當ナル雨量ニ乏シキ爲品質ハ例年ヨリ下落スルコト早ク七分作ニ終レリ



2 運搬 昭和九年十月二十六日取外シ便船ヲ以テ運搬ス

3 移植場所及月日 海部郡飛島村地先蟹江川濤東、地盤高サハ最大干潮面ヨリ約二十五糎高 底質泥砂質ニシテ足跡部ヲ没スルコト十五糎ナリ 十月二十七日到着セシモ作業ノ關係上即時建設スルコト能ハズ現場附近ニ高サ三尺位ノ柵ヲ作りテ假設置ヲナシ流失セザル様針金ヲ以テ結縛セリ

4 建設方法 十一月五、六日ノ兩日二日間隔ヲ以テ巾三尺ノ鳥居型ヲ作り海底面ヨリ高サ一尺五寸乃至二尺五寸ニ懸張ス網ノ長サ各約二十間ヲ一反トシ各々ノ間隔ヲ四尺トシテ八柵ヲ作ル

當時ノ海況 水温二〇・五 比重一九・九

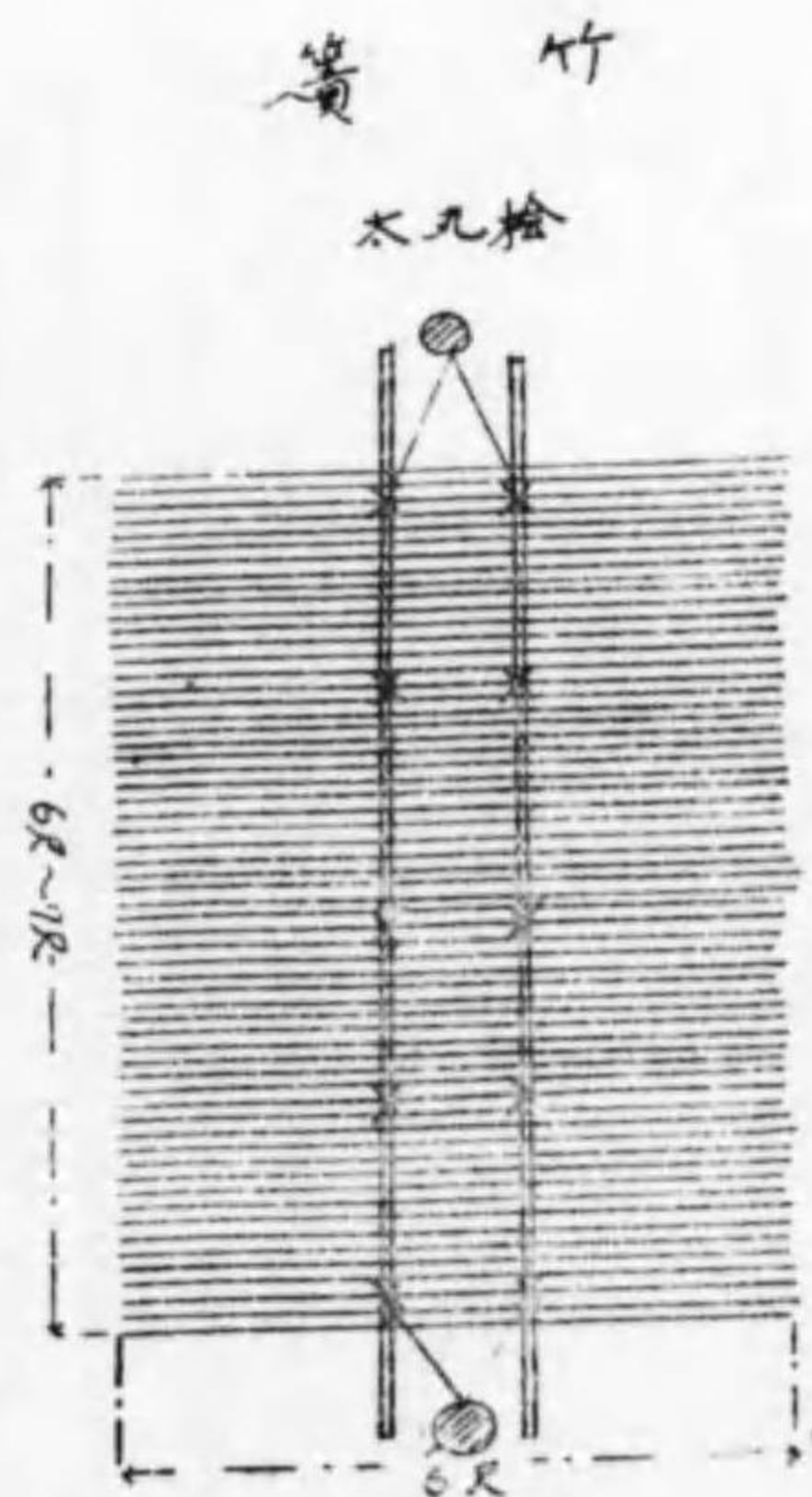
5 附着ノ状況 移植當時黒海苔ハ判然ト認メラズ青海苔ノ附着多ク硅藻ハ殆ンド附着ナシ 十一月十六日調査スルニ建設當時ト大差ナク十二月十八日其ノ附近ニ於テ試験セル移植海苔ノ初摘ヲ行ヒタルモ未ダ肉眼ニテ海苔ノ附着セルヲ認メズ コノ頃ヨリ青海苔ノ附着益々旺盛ヲ極メ長サ一尺五寸乃至二尺以上ニ成長セルヲ見タリ如斯繁茂セル青海苔ハ二月下旬ヨリ中旬迄ノ間ニ一時ニ流失シテ殆ンド洗落シタル網ノ如ク幾分硅藻ノ附着ヲ見ル三月下旬ヨリ養殖終了期即チ四月下旬迄ノ間ニ於テ網ノ一部分ニ點々トシテ黒海苔ノ附着ヲ見其ノ大サ最大長サ一〇糎巾二〇糎ニシテ青味アル良質ノ海苔ナリシモ摘採製造スル程度ノ量ニアラズ本年ハ建設場所ニ十分注意ヲ拂ヒシ爲船舶ノ航行ニ依ル被害ナカリシモ幾分建設時期ノ遅レタル關係上完全ニ附着セザリシト一面青海苔ノ附着多キ爲黒海苔ノ生育ヲ阻害セルモノト認メラル 尙建設位置稍低キニ失シタル感アリ 要スルニ本年度ハ黒海苔ノ附着少ク不成績ニ終リタルヲ遺憾トス

二、竹 簣

昨年度ト同様眞竹ヲ長サ六尺巾二・五分ニ割リ中央部ニ於テ一尺間隔ニ太キ繩ヲ以テ編ミ徑一寸五分ノ眞竹ヲ以テ上下ヨリ挟ミ結縛セリ竹簣ノ長サ六尺乃至七尺 竹簣ヲ建設スルニハ兩端ニ末口一寸五分長サ十四尺ノ檜丸太ヲ建テ竹簣ノ上下スル様徑四分ノタロープヲ以テ結縛セリ

1 採苗場所及年月日 知多郡旭村日長宇浦畑地先沖合七十間地上約二尺 昭和九年十月八日建設ス簣三枚ヲ重ネ七個建設ス

2 移植十月三十一日取外シ試験地へ到着シタルモ小潮時ニ相當シ且ツ天候不良ノ爲建込不可能トナリ十一月四日迄雨ニ浸サレザル様十分注意シテ保管シ十一月五日前記竹篋ヲ地上三尺ノ處ニ懸垂シ繩ノ長サ二尺五寸トシ成育良好層ヲ上下セシメ得ル様建設セリ



3 附着狀況 移植當時海苔ノ附着ヲ認メズ 硅藻ノ附着可也多ク「せい」ノ附着極メテ少シ 十一月十六日調査セルモ建設時ト異状ナク幾分硅藻ノ附着程度減少セルヲ認ム 十二月十八日ニハ篋ノ各所ニ青海苔ノ附着ヲ見 一月十八日黒海苔ノ點々トシテ附着成育セルヲ認ム其ノ大サ長サ一〇乃至一五耗巾二乃至四耗ナリ 當時風波ノ爲篋ハ正常ノ位置ヲ保タズ多少傾斜シ上下ノ間隔約五十種ノモノアリ 上部ニ附着量多ク成長モ亦速ナリ 二月下旬及三月中旬ノ二回ニ亘リ約五十枚ノ海苔ヲ摘採ス 摘採當時ノ海苔ハ椰子網及椶粗朶ニ附着セルモノニ比シ遙ニ長ク最大約六〇〇耗平均四〇〇耗巾四、五〇耗ニ成長セリ篋ノ下部及正常位置ヲ保ツ篋ニハ依然青海苔及すじあをノ附着繁茂著シク三月下旬ヨリ青海苔ノ成長ト共ニあさくさのりノ附着ハ篋全面ニ擴ガリ初メタルモ成長微々タルモノニシテ摘採出來ザリキ

五月七日調査セルニ依然あさくさのりノ附着シ其ノ成長度ハ平均長サ四〇〇耗巾二五耗ナリキ

要スルニ本試験ハ移植當時ノ天候不良ナリシ爲完全ナル移植作業不能ナリシト建設位置稍低キニ失シタルカ青海苔ノ繁殖旺盛ニシテ良好ナル成績ヲ納メ得ザリシヲ遺憾トス尙採苗場所ハ地子海苔養殖場ヨリ遙カニ状態良好ニシテ近年ニナキ好成绩ヲ收メタル場所ナリ

四、種子場探究

本縣ニ於ケル海苔養殖ハ近年長足ノ發展ヲ示シ種子場狹隘トナレルヲ以テ昭和四、五年ニ亘リ豊橋市牟呂町野新田沖合ニ約五十萬坪ノ種子場ヲ探究シ尙昭和六年度ヨリ碧海、幡豆兩郡沿岸ニ於テ種子場探究ヲ續ケ各地先ニ於ケル斯業ノ開發ニ努メタルガ本年度モ引續キ本試験ヲ施行シ當業者ヲ指導セリ

一、碧海郡沿岸

本郡新川町以南ノ沿岸ハ地勢水質共ニ海苔種子場トシテ利用シ得ヘキ場所尠ナカラザルヲ認メ昭和六年度ヨリ各地先ニ於テ種子場探究試験ヲ施行シ直接當業者ヲ指導シ來レルガ本年度ハ碧海郡新川町地先、全郡大濱町地先、全郡旭村前濱新田沖合ニ於テ之ヲ施行シ築建時期ニ依ル海苔附着率ノ關係ヲ闡明スルト共ニ種子場ノ探究ヲ續行セリ

試驗場所及試驗方法

本年度ハ前年度ノ位置ト異リ別圖ニ表示セル區域ニ付未利用適地ヲ試驗セリ試驗材料ハ椶粗朶ニシテ築建ハ潮流風向等ヲ考慮シ新川町及大濱町地先ニ於テハ殆ント陸岸ト直角ニシテ傾斜ノ方向ハ東南ナリ旭村前濱新田地先ハ新田堤防ニ平行シテ柵ヲ選ヒ柵間三、三米乃至三米株間ハ一、二〇米乃至一米トシ築建時期ト水温トノ關係ヲ闡明スル爲左ノ通試驗セリ

試験場所	別圖位置	築建月日	築建株數	築建水温比	海苔附着ノ狀況		品質	成育ノ狀況
					上端	下端		
新川港突堤南	1 乃至 5	昭和九年十月八日	二五〇	二二〇	一八八	六〇	相當附	導水堤高キ爲水ノ流通不良ニシテ成育宜シカラズ
新川港突堤北	7 6	全	五〇	二二〇	一八八	六〇	全	全
大濱町北端電燈會社北側	8	十月六日	二五〇	二〇〇	一八八	九〇	全	雨量少キ爲成育宜シカラズ
全	8	十月七日	五〇	一〇八	一〇八	九〇	全	全
旭村前濱新田西北角ヨリ二町ノ處ヨリ沖合六〇間ノ處	9	十月七日	七〇	一九三	一九三	六〇	良好着	相當良好ナル成績ヲ收ム
前記ノ場所ヨリ約三十間沖合	10	全	二三〇	一九三	一九三	六〇	品質良	全

要スルニ本年度碧海郡地先ニ於ケル試験築ノ成績ハ概ネ良好ナリシモ新川町地先ニ於テハ本年竣工セル新川港ノ導水堤高クシテ淡水ノ影響ヲ蒙ルコト少ク且潮流ニ變動ヲ來セル爲成育甚ダ宜シカラズ品質モ不良ナリシガ大濱町及旭村前濱新田沖ノ試験築ハ相當ノ好結果ヲ擧ゲタリ
摘採成績次ノ如シ

新川漁業組合地先		大濱漁業組合地先		旭村志貴崎漁業組合地先	
月日	數量金額	月日	數量金額	月日	數量金額
一月二十三日	100 二〇〇	十二月十五日	2,850 二,850	二月十六日	1,000 1,500
二月五日	100 二〇〇	十二月二十九日	3,000 二,500	二月一日	2,000 3,000

二、幡豆郡沿岸		一、株平均		一株計	
二月二十五日	六〇〇	二月二十五日	一,八五〇	三月十五日	二,五〇〇
三月七日	二〇〇	二月二十五日	一,八五〇	三月二十八日	三,〇〇〇
計	1,100 三,〇〇〇	二月二十五日	一,八五〇	四月七日	三,〇〇〇
一株平均	三,〇〇〇	三月二十二日	三,〇〇〇	計	10,000 三,〇〇〇
		計	三,〇〇〇	一株平均	10,000 三,〇〇〇

幡豆郡地先殊ニ一色町沿岸及吉田町沿岸ニハ將來種子場トシテ利用シ得ヘキ適地尠ナカラザルヲ認メ昭和六年度ヨリ引續キ種子場探究試験ヲ施行シ相當ノ成果ヲ收メ當業者ノ指導啓發ニ努メタル結果年々養殖場ノ發展ヲ來シ就中一色町大字榮生及味澤地先ニ於テハ近年著シキ發達ヲ促進セシメタリ依テ本年度ハ更ニ沖合未利用適地ノ試験調査及一色町衣崎漁業組合地先、吉田町地先ニ於ケル黒海苔種子場ヲ探究スルト共ニ海苔附着時期ト水温トノ關係ヲ闡明ナラシメ在來ノ養殖法ヲ改善シテ黒海苔ノ増産ヲ圖ル爲本試験ヲ續行セリ

試験場所及試験方法

本年度ハ前記ノ目的ヲ以テ別圖ノ位置ニ付夫々試験セリ一般ニ寺津、榮生、味澤漁業組合地先ハ水深大ナル場所ニシテ滿潮時二四〇糎乃至三六〇糎内外干潮時三〇糎乃至一二〇糎、一色、衣崎、吉田各漁業組合地先ハ概シテ淺ク滿潮時水深二一〇糎干潮時露出スル處ナリ
築建方法ハ潮流ト風向ヲ考慮シ柵ノ方向ハ南北東南ニ傾斜建トナス柵間ハ二七〇糎乃至三三〇糎ニシテ株間ハ一五〇糎乃至一八〇糎ヲ普通トス
試験ノ狀況ヲ表示スレバ次ノ如シ

試驗場所	寺津		平坂		榮生		味澤		一色																							
	別圖位置	築日	築日	築日	築日	築日	築日	築日	築日	築日																						
奥田新田東南角ヨリ西三〇〇間ノ處	11	昭和九年十月六日	奥田新田中央高人造ノ距岸十間ノ處	12	全	大岡新田西南角沖三〇〇間ノ處	13	全	大岡新田西南角沖三八〇間ノ處	14	十月七日	西實録新田西北角ヨリ西一五〇間ノ處	15	全	西實録新田東角ヨリ南二〇〇間ノ處	16	全	西實録新田東角ヨリ南二〇〇間ノ處	17	全	東實録新田中央ヨリ南二五〇間ノ處	18	十月七日	東實録新田東角ヨリ南二〇〇間ノ處	19	全	坂田新田西南角ヨリ南二〇〇間ノ處	20	全	衣崎海苔場甲一號一八〇番ノ處	21	十月四日
株數	一五〇		一〇〇	五〇	一五〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	
築建時水温比重	一九・〇五		一九・〇五	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	一九・七〇	
建込法	二期		二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	二期	
海苔附着ノ狀況	上端 一八〇		上端 一五〇	上端 一二〇	上端 一六五	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	上端 一五〇	
巾員數量	七五		七五	九〇	七五	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	
品質	赤芽巾狭 品質二等品		赤芽巾狭 品質二等品	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	赤芽巾廣 品質特優	
成育ノ狀況	一回置キニ摘採ス		成育不良	成育宜シ	成育良好ナリシモ一月十六日ノ西風ニテ切斷流失セリ	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	成育良好	

試驗場所	衣崎		吉田														
	別圖位置	築日	別圖位置	築日													
甲一號二二〇番ノ處	22	〃	甲全 甲三號二六〇番ノ處	23	〃	甲全 甲四號二二〇番ノ處	24	〃	甲全 甲五號一三〇番ノ處	25	〃	吉田海苔場二五號ノ北	26	十月十日	全 矢崎川口一號東及二號東	27	十月二日
株數	四一		二四	五〇	九六	三一〇	四〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
築建時水温比重	〃		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
建込法	〃		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
海苔附着ノ狀況	〃		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
巾員數量	〃		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
品質	赤芽巾狭 品質宜シ		カラズ	カラズ	カラズ	カラズ	赤芽巾廣 品質優	赤芽巾廣 品質二等	赤芽巾廣 品質優	赤芽巾廣 品質優	赤芽巾廣 品質優	赤芽巾廣 品質優	赤芽巾廣 品質優	赤芽巾廣 品質優	赤芽巾廣 品質優	赤芽巾廣 品質優	赤芽巾廣 品質優
成育ノ狀況	〃		〃	〃	〃	〃	成育良シカラズ	成育良シカラズ	成育良シカラズ	成育良シカラズ	成育良シカラズ	成育良シカラズ	成育良シカラズ	成育良シカラズ	成育良シカラズ	成育良シカラズ	成育良シカラズ

要スルニ本年度幡豆郡沿岸ニ於ケル試驗築ノ成績ハ概シテ良好ニシテ就中一色町榮生及味澤一色各漁業組合地先ニ於ケルモノ何レモ好成绩ヲ示シ衣崎、吉田各地先ニ於ケルモノハ海苔ノ附着良好ナリシモ鹹度比較的高ク淡水ノ影響少キ爲成育不良ナリキ摘採成績次ノ如シ

月日	幡豆郡寺津町平坂漁業組合地先		榮生漁業組合地先		味澤漁業組合地先	
	日	金額	日	金額	日	金額
十二月二十日	五〇〇	三三〇〇	二月二十四日	三、七〇〇	一月二十六日	四、四〇〇
一月九日	五〇〇	三三〇〇	三月十日	三、五〇〇	二月二十六日	四、四〇〇
二月二十五日	一、六〇〇	四、九〇〇	計	七、五〇〇	三月二十六日	三、八〇〇
二月九日	八〇〇	三、五〇〇		六、七五〇		三、八〇〇
三月二十四日	一、三〇〇	七、三〇〇				三、八〇〇
	一、一〇〇	七、二〇〇				三、八〇〇

計	五、八〇〇	三、七三〇	一株平均	二五枚〇〇	三、三三〇	四月十日	計	一、七〇〇	一〇、三〇〇
一株平均	一九枚三三	二二七				一株平均	七三三	一、五五八〇	五、一七九
當業者ノ平均ヨリ良好ナリ			當業者ヨリ良好ナリ			當業者ハ一株三〇錢平均ナリ			

一色漁業組合地先			衣崎漁業組合地先			吉田漁業組合地先		
月日	數量	金額	月日	數量	金額	月日	數量	金額
一月二十六日	三、〇〇〇	九〇〇〇	一月十六日	〇	〇	二月一日	混黑	一、〇〇〇
三月五日	六、〇〇〇	一八〇〇〇	一月二十七日	〇	〇	二月二十六日	混黑	一、〇〇〇
計	九、〇〇〇	二七〇〇〇	二月十五日	混ク	二、〇〇〇	三月四日	混黑	一、〇〇〇
			三月十一日	クク	四、〇〇〇	三月十七日	混黑	六、〇〇〇
			三月十六日	クク	四、〇〇〇	四月十六日	混青	七、五〇〇
			四月十四日	バサ	三、〇〇〇	計	七、五〇〇	二四、〇〇〇
一株平均	三枚	九〇〇	計	一、五五〇	五、六〇〇	一株平均	二枚四	〇九〇

以上本年度碧海、幡豆郡沿岸ニ於ケル種子場探究試験ノ結果ヲ概説スレバ次ノ如シ
 一、毎年九月下旬ヨリ十月七、八日頃迄ニ築建ヲ行ヘバ相當種子ノ附着アリ

- 二、附着セル種子ハ一般ニ鹹度高キ爲成育宜シカラズ殊ニ新川、大濱、一色、衣崎、吉田各漁業組合地先ニ於テ著シ
- 三、一色漁業組合地先ハ種子ノ附着相當良好ナルヲ以テ味澤地先ト同様近キ將來ニ於テ發達スルモノト認メラル、而シテ降雨量少キ年ハ種子場トシテ又雨量多キ年ハ成育場所トシテモ相當ノ成績ヲ擧ゲ得ヘシ
- 四、衣崎、吉田兩漁業組合地先ハ地盤高キ爲築ノ長サ大ニ過キ從テ露出時間永ク所謂「潮燒」ヲ來セル傾向アリ
- 五、前記地方ニ於テハ一度種子ヲ附着セシメタル築ヲ適當ナル淡水ノ影響アル場所ニ移植スルコトヲ要ス

三、重要貝藻類移植試験

伊勢、三河灣ハ淺海ノ面積廣大ナルト加之地形、底質、水質將又天然餌料等有用貝藻類ノ發生成育ニ適スル場所尠カラザルヲ以テ之ガ利用厚生ヲ圖ル爲年々重要貝藻類ノ移植試験ヲ施行シ來レルガ本年度ハ左記種類ヲ移植シテ生産ノ増加ヲ圖ルト共ニ前年度ノ試験ヲ繼續シ淺海利用ノ範ヲ示シ當業者ヲ指導セリ

(一) 鮑移植試験

本縣知多郡南端及島嶼部ニハ多少鮑ノ天然産アリト雖モ其ノ産額僅少ナルヲ以テ更ニ三重縣志摩郡地方ヨリ種苗ヲ購入シ之ヲ標識放流ノ上成長度、歩減率、移動ノ狀態等ニ付基本的試験研究ヲ施行セリ

- (1) 試験場所及數量
 - 知多郡豐濱町字小佐地先ハス島沖瀬 種苗 五十貫
 - 知多郡篠島村字間ノ瀬 種苗 五十貫
- (2) 試験場所ノ環境
 - 知多郡豐濱町字小佐地先ハス島沖ノ瀬ハ陸地ヲ距ル約百五十間沖合ニシテ面積約五百坪アリ孤立セル沖瀬ニシテわ

かめ、かじめ、ほんだわら等ノ海藻繁茂スルノミナラズ岩ノ表面ニハ白ク石灰藻類着生シアリ。多少天然産ノ鮑、螺等棲息スルヲ見ル。知多郡篠島村字間ノ瀬ハ篠島本島ノ西南方沖合戸龜島、廣龜島ノ中間ニ位シ面積約八百坪アリわかめ、かじめ、あらめ、ほんだわら等鮑ノ食餌豊富ニシテ且ツ天然鮑モ少数棲息セリ。

右ニ試験地ハ其ノ地先漁業組合ト契約シ委託試験ノ形式ニ依リ移植後滿二ケ年間絶對ニ採捕ヲ禁止セリ。

(3) 種鮑採捕場所

三重縣志摩郡船越村 船越村漁業組合地先

(4) 種鮑採捕月日 自昭和九年九月十日 至九月十九日

(5) 運搬經過

昭和九年九月二十二日午前十一時船越村着、蓄養中ノ種鮑百貫ヲ活洲籠ノ儘金鯢丸ニ積込ミ午前十一時半出帆、同日午後五時二十分知多郡師崎港ニ至リ假泊、直チニ舷側ニ垂下蓄養セリ

(6) 試験ノ經過

昭和九年九月二十三日ヨリ全月二十四日ニ亘リ師崎港ニ於テ種鮑ニ標識ヲ附スル作業ヲ實施セリ。標識方法ヲ二様トシ一ハ一種平方厚二耗ノ硝子板ニ赤色又ハ黒色エナメルニテ各々數字ヲ書キ之ヲ齒科醫師用「ベトロイドセメント」ヲ以テ貝殻ニ貼付固着セシメタリ。貝殻ハ標識ヲ固着スル前一部分ヲヨク掃除シタル後「アルコール」ニテ更ニ拭キ取り「アルコール」分ノ揮發セルヲ見計ヒ前記硝子ヲ貼付ス（標識寫眞参照）

右ノ方法ニ依リ赤字又ハ黒字標識各、約三百個ヲ作製シ赤字標識ハ知多郡篠島村間ノ瀬ニ、黒字標識ハ知多郡豊濱町字小佐地先ハス島沖ノ瀬ニ夫々昭和九年九月二十五日放養セリ。

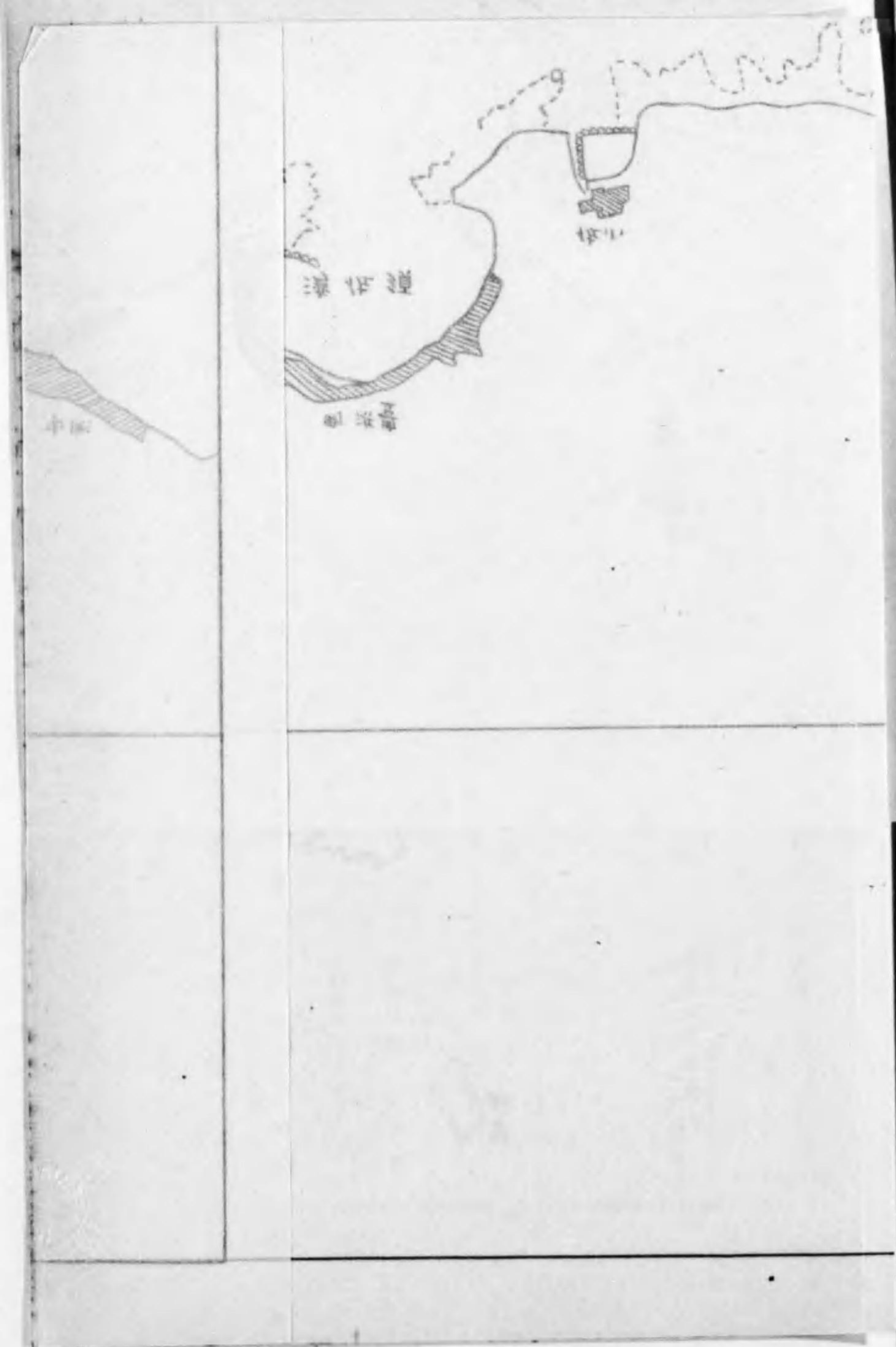
他ノ標識方法ハセルロイド標識ニシテ長徑十一耗短徑八耗ノ小判型貝殻ニ穿孔結付セルモノナリ。セルロイド板ニハ褐色又ハ黒色數字

村間ノ瀬ニ、黒色數字ハ知多郡豊濱町字小佐地先ニ放養セリ。

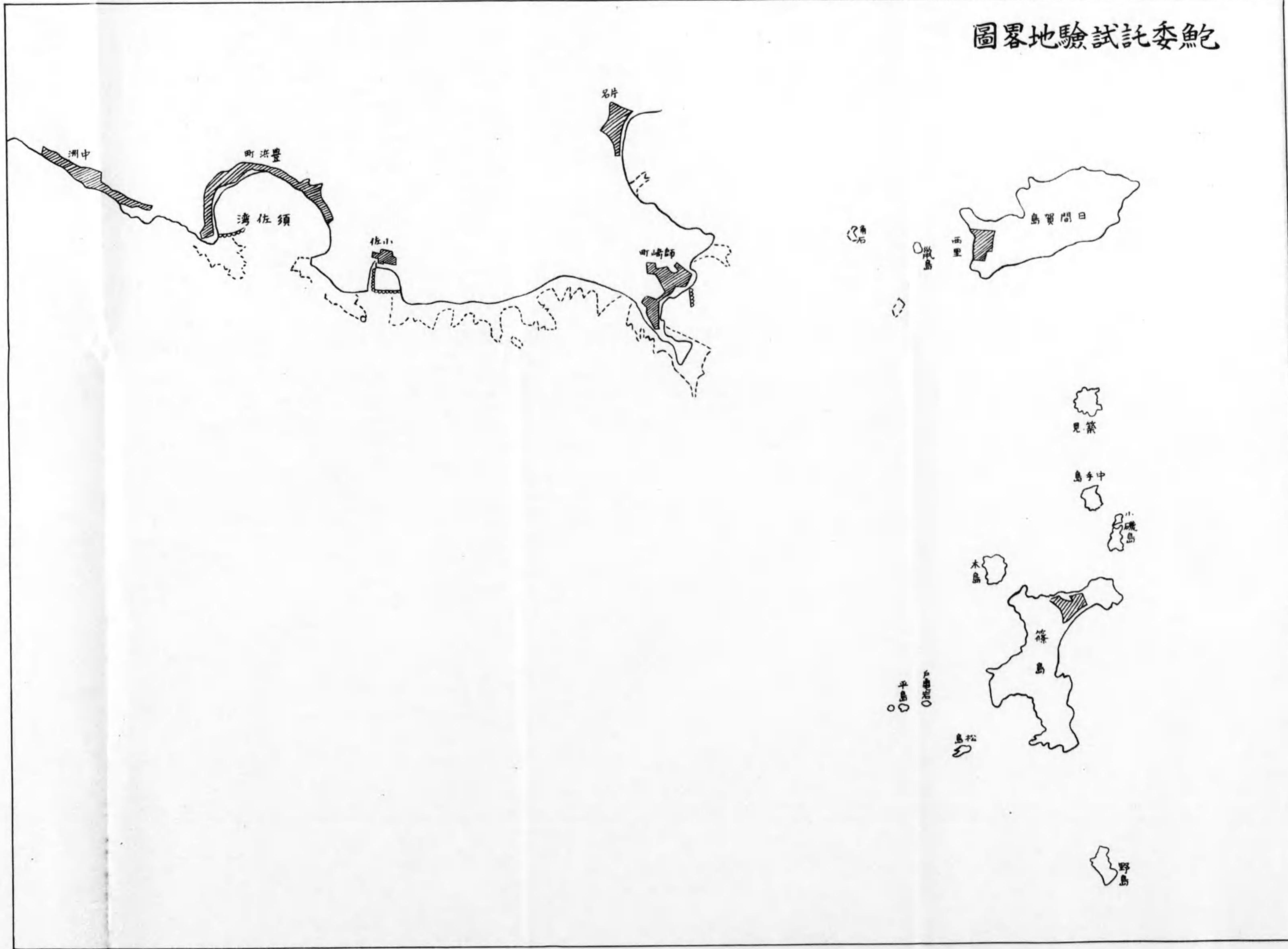
因ニセルロイド標識購入ニ時日ヲ要シタル爲種鮑ヲ一時蓄養セルニ篠島漁港内ニ於テハ九月二十四日ヨリ十月三十日迄ノ間ニ四拾五個斃死シ豊濱町小佐鹹水養魚池ニ蓄養セシモノハ六拾九個斃死セリ。右ハ蓄養後一週間頃ヨリノ



セルロイド板ヲ銀線ヲ以テ鮑ノヲ刻印シ褐色數字ハ知多郡篠島（標識寫眞参照）



鮑委託試驗地畧圖



(6) 試驗ノ經過
昭和九年九月二十三日ヨリ全月二十四日ニ亘リ師崎港ニ於テ種鮑ニ標識ヲ附スル作業ヲ實施セリ。標識方法ヲ二様
昭和九年九月二十三日ヨリ全月二十四日ニ亘リ師崎港ニ於テ種鮑ニ標識ヲ附スル作業ヲ實施セリ。標識方法ヲ二様
トシ一ハ一極平方厚二純ノ硝子板ニ赤色又ハ黒色又ハ褐色又ハ黒色又ハ褐色ニテ各々數字ヲ書キ之ヲ齒科醫師用「ベトロイドセマン
ト」ヲ以テ貝殼ニ貼付固着セシメタリ。貝殼ハ標識ヲ固着スル前一部分ヲヨク掃除シタル後「アルコール」ニテ更
ニ拭キ取り「アルコール」分ノ揮發セルヲ見計ヒ前記硝子ヲ貼付ス(標識寫眞参照)
右ノ方法ニ依リ赤字又ハ黒字標識各、約三百個ヲ作製シ赤字標識ハ知多郡篠島村間ノ潮ニ、黒字標識ハ知多郡豊濱
町字小佐地先ハス島沖ノ潮ニ夫々昭和九年九月二十五日放養セリ。

5 標識方法ハセルロイド標識ニシテ長徑十一純短徑八純ノ小判型
ニ穿孔結付セルモノナリ。セルロイド板ニハ褐色又ハ黒色數字
ヲ刻印シ褐色數字ハ知多郡篠島
村間ノ潮ニ、黒色數字ハ知多郡豊濱町字小佐地先ニ放養セリ。
因ニセルロイド標識購入ニ時日ヲ要シタル爲種鮑ヲ一時著養セルニ篠島漁港内ニ於テハ九月二十四日ヨリ十月三十
日ニテ種鮑ニ標識ヲ付スル作業ヲ實施セリ。右ノ作業後一週間ヨリノ

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



現象ニシテ食物ノ缺乏ニ起因スルモノト認めはじめ、あられ等ヲ投與シタルニ其ノ後斃死率減少セリ、同年十月三十日セルロイド標識ヲ附シ豊濱町、篠島村各試験地ニ放養セリ。
 尙標識ノ保存等ニ付キ試験スル爲セメント付標識鮑五個及セルロイド標識鮑各五個ヲ豊濱町小佐地先距岸約五十間ノ岩石溝ニ蓄養シ餌料トシテはじめヲ投與シ其ノ後ノ研究ニ供シタリ。
 試験ノ経過ヲ表示スレバ次ノ如シ。

セルロイド標識別 放養數量	セルロイド標識 作業月日	セメント標識別 放養數量	セメント付標識 作業月日	運搬月日	採捕月日	種鮑產地	試験經過 試験場所
一三一個	昭和九年十月三十日	黒字標識二七五個	昭和九年九月二十三日 至九月二十四日	昭和九年九月二十二日	自昭和九年九月十日 至九月十九日	三重縣志摩郡船越村	豊濱町字小佐地先
一〇九個	昭和九年十月三十一日	赤字標識二五九個	全	全	全	篠島村字間ノ瀬	標識保存試験地 豊濱町字小佐地先
五個	昭和九年十月三十日	黒字標識五個	全	全	全	全	

(7) 移植種鮑ノ大サ

標識ヲ附シニケ所ノ試驗地ヘ放養セル種鮑ノ大サヲ表示セバ次ノ如シ
但シ殼長、殼高、殼巾ハ厘ヲ、重量ハ瓦ヲ以テ單位トス

赤字セメント付標識鮑 (知多郡篠島村間ノ瀬移植)

昭和九年九月二十三日調査

番号	殼長	殼高	殼巾	重量	番号	殼長	殼高	殼巾	重量	番号	殼長	殼高	殼巾	重量
九	100.9	7.8	2.3	1.25	二六	110.0	8.3	2.8	1.80	四三	100.0	7.2	2.5	1.18
八	100.2	8.5	2.4	1.33	二三	119.9	8.9	2.9	1.77	四二	105.5	7.8	2.4	1.50
七	100.2	8.3	2.1	1.21	二二	100.2	6.8	2.5	1.35	四一	106.6	7.7	2.7	1.52
五	119.9	8.7	3.6	3.55	二〇	111.1	8.1	2.7	1.60	四〇	107.7	8.0	2.5	1.47
四	100.9	8.5	2.8	1.55	一六	103.3	8.3	2.3	1.50	三七	101.1	8.3	2.5	1.60
三	100.4	8.4	2.8	1.55	一五	100.2	8.1	2.4	1.35	三四	111.2	8.5	2.5	1.60
二	100.7	8.5	2.5	1.15	一四	105.5	8.0	2.4	1.46	三三	100.2	8.3	2.3	1.40
一	111.1	8.4	2.3	1.10	一〇	100.1	7.5	2.0	1.10	二七	99.9	8.2	2.3	9.8

番号	殼長	殼高	殼巾	重量	番号	殼長	殼高	殼巾	重量	番号	殼長	殼高	殼巾	重量
四四	111.3	8.6	2.8	1.96	五八	110.0	7.0	2.3	1.42	七一	100.0	8.2	2.5	1.38
四五	100.2	7.9	2.0	1.07	五九	111.3	8.6	2.9	2.17	七三	110.4	8.6	2.7	1.95
四六	110.0	9.1	2.4	1.70	六〇	103.3	7.7	3.3	1.68	七四	99.7	8.2	2.2	2.17
四七	110.0	9.1	2.4	1.70	六一	100.1	7.8	2.0	1.16	七五	100.4	7.9	2.3	1.38
四八	100.5	7.2	2.1	1.39	六二	100.1	7.8	2.0	1.16	七六	100.9	8.1	2.3	1.38
四九	111.3	9.1	2.3	1.65	六三	100.8	7.8	3.3	1.75	七七	100.0	7.7	2.7	1.48
五〇	100.9	8.3	2.5	1.55	六四	100.0	7.3	2.1	1.20	七八	109.9	8.2	2.6	1.40
五一	111.3	8.0	2.6	1.96	六五	111.1	8.3	2.7	1.38	七九	100.3	7.7	2.4	1.60
五二	100.2	9.6	3.2	1.88	六六	100.2	7.3	2.3	1.05	八〇	110.4	9.3	2.8	2.05
五三	111.2	9.5	3.0	2.50	六七	99.8	8.2	2.5	1.50	八一	100.3	8.4	2.1	2.52
五四	100.6	8.3	2.0	1.62	六八	110.0	7.7	2.3	1.30	八二	111.3	8.6	2.1	1.80
五五	111.1	8.0	2.3	1.60	六九	110.0	8.6	2.6	2.97	八三	100.1	7.5	2.3	1.40
五六	100.8	8.1	2.3	1.75	七〇	110.0	8.5	3.0	1.55	八四	100.9	7.8	2.3	1.55

一三四	一三三	一三二	一三一	一三〇	一二九	一二八	一二七	一二六	一二五	一二四	一二三
一〇七	一〇七	一〇九	一〇五	一〇二	一〇五	一一二	一〇七	一一一	一一五	一〇五	一一一
八・三	八・二	八・五	七・五	八・三	七・五	八・三	八・一	七・九	九・〇	七・八	九・六
二・七	二・三	二・七	三・〇	二・二	二・七	二・八	二・一	二・六	二・三	三・〇	二・五
一四八	一三八	一五〇	一六〇	一三〇	一五三	一八三	一三七	一七四	一八三	二二四	二四五
一四九	一四八	一四六	一四五	一四三	一四二	一四一	一四〇	一三九	一三八	一三七	一三五
一一〇	一〇三	一〇三	一一七	一〇三	一一三	一〇一	一〇九	一一九	一一三	一〇三	一一三
八・〇	八・一	八・二	八・七	八・七	九・三	八・〇	八・四	六・四	九・二	八・〇	八・八
一・八	二・六	二・四	二・三	二・九	三・三	二・五	二・七	二・四	二・七	二・三	二・五
一四六	一三八	一三〇	一八〇	一六三	一六八	一五八	一五〇	一七八	一五〇	一七七	一七六
一六三	一六三	一六二	一六〇	一五九	一五八	一五七	一五五	一五四	一五三	一五二	一五〇
一〇五	一〇五	一一〇	一一一	一一〇	一〇四	一〇八	一〇五	一〇四	九・八	一一五	一〇一
八・五	八・一	九・三	八・三	九・二	七・七	八・二	八・三	八・七	四・七	九・三	七・三
二・一	二・四	二・七	二・八	三・二	二・九	二・七	二・七	二・七	二・三	二・六	三・一
一四五	一四一	一四五	一四八	一三三	一五二	一六〇	一三〇	一三五	一四〇	一七七	一七三

九八	九六	九五	九三	九二	九〇	八九	八八	八七	八六	八五	八四
一〇五	一〇一	一〇三	一〇六	一一二	一一一	一一〇	一一一	一一三	九・九	一〇三	一〇二
七・九	七・三	八・一	八・六	八・三	八・三	九・二	八・九	八・九	七・五	七・八	七・五
三・二	三・三	二・六	二・七	二・九	二・〇	二・九	二・二	二・三	一・九	二・三	一・七
一五三	一三八	一三八	一四〇	一六三	一五六	一八八	一五三	一六五	一〇〇	一五〇	二二五
一一〇	一〇九	一〇八	一〇七	一〇六	一〇五	一〇四	一〇三	一〇二	一〇一	一〇〇	九九
一〇三	一〇七	一一三	一〇九	一一三	一一〇	一〇八	一〇八	一一三	一〇二	一〇五	一一一
七・五	七・九	八・六	八・八	八・一	九・三	七・八	七・八	八・四	八・三	七・三	九・二
二・六	二・七	二・五	二・〇	二・七	三・〇	二・二	二・七	三・〇	一・八	二・五	二・五
一三〇	一八六	一四二	一六八	一四七	一八〇	一四七	一五二	二〇九	二二五	一五三	一八〇
二三	三三	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二二
一〇八	一一七	一一三	九五	一一六	一一〇	一一〇	一〇五	一〇三	一〇五	一〇二	一〇三
七・五	九・七	八・〇	七・六	八・七	八・四	八・一	八・三	九・三	八・七	七・三	九・二
二・八	三・二	二・四	一・八	三・四	二・三	三・〇	二・八	三・三	二・七	二・七	四・二
一三八	三三八	一六八	一〇八	二三〇	一五〇	一八〇	一三七	二八八	一八〇	一三〇	二五〇

二二六	二二五	二二四	二二三	二二二	二二一	二二〇	二一九	二一八	二一七	二一六	二一五	二一四
一〇・五	一〇・四	一〇・六	一〇・五	一一・五	一一・九	一〇・七	一一・五	一〇・二	一〇・三	一〇・五	一〇・五	一一・五
七・九	七・八	七・五	七・一	八・三	九・二	八・三	九・〇	八・〇	七・三	七・九	七・九	八・四
二・七	二・四	二・七	二・六	二・七	三・一	二・一	二・七	二・七	二・六	二・六	二・六	二・八
一四〇	一五	一六	一四	一三	一六〇	一五	一七	一五〇	一五	一六	一六	一三七
三三九	三三七	三三六	三三五	三三四	三三三	三三二	三三一	三三〇	三二九	三二八	三二八	三二七
一一三	一一二	一〇一	一一四	一一〇	一一六	一一五	一〇四	一一〇	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六
八・七	八・一	七・七	八・七	八・六	九・七	九・二	七・八	八・八	八・二	八・二	八・二	八・〇
二・六	二・二	二・三	二・〇	二・八	二・六	二・三	二・七	二・六	二・七	二・四	二・四	二・三
一七七	一九五	一五一	一五三	二四八	二二三	一六〇	一五八	一五〇	一五	一四八	一四	一六〇
二四三	二四二	二四〇	二三九	二三八	二三七	二三六	二三五	二三四	二三三	二三二	二三一	二三〇
一〇八	一〇八	一一〇	一〇四	一〇五	一一九	一二六	一二三	一二四	一〇六	一一二	一一二	一〇六
八・六	七・八	八・二	七・八	八・一	九・二	九・一	九・五	九・五	七・四	九・二	九・二	七・五
二・三	二・五	二・八	二・八	三・三	二・一	二・七	二・九	二・八	二・〇	二・二	二・二	二・四
一四二	一〇〇	一八〇	一五五	一八〇	一九五	二〇〇	二五八	二六三	二二七	一六五	一六五	一四八

一七七	一七六	一七五	一七四	一七三	一七一	一七〇	一六八	一六七	一六六	一六五	一六四
一〇・四	一〇・四	一〇・三	一〇・八	一〇・四	一〇・二	一一一	一〇・四	一一〇	一一〇	一一〇	一一一
七・八	七・四	七・三	八・〇	七・八	八・〇	八・九	八・一	七・六	八・四	八・五	八・三
二・五	二・三	二・六	二・六	二・一	二・八	二・三	二・六	二・九	二・七	二・九	二・八
一三七	一〇八	一三五	一七六	一五八	一五五	一三五	一三八	一五〇	一五〇	一三〇	一四八
一九一	一九〇	一八九	一八八	一八七	一八六	一八五	一八四	一八二	一八〇	一七九	一七八
二〇〇	二〇八	二〇七	二〇六	二〇八	二〇二	二〇二	二〇三	二〇七	二〇二	二〇七	二〇六
八・四	八・二	八・二	八・〇	八・八	八・一	八・〇	八・九	七・七	八・一	七・八	七・八
二・八	二・八	二・七	二・八	二・二	二・三	二・八	三・〇	二・三	二・三	二・二	二・八
一四八	一八八	一五五	一五五	二二五	一三〇	一六五	一七〇	一三八	一三八	一五〇	一六八
二〇三	二〇三	二〇二	二〇〇	一九九	一九八	一九七	一九六	一九五	一九四	一九三	一九二
一一三	一一五	一〇六	一一二	一〇八	一一五	一〇五	一一六	一〇六	一一一	一〇四	一一六
九・一	八・六	八・四	八・一	八・六	八・六	八・四	八・四	七・五	九・二	七・四	八・六
二・五	三・〇	二・〇	二・七	二・八	二・三	二・一	二・六	二・六	三・一	二・三	二・九
一七〇	二二三	一四八	一八八	一四四	二〇五	二二八	一七三	一五二	一八八	一四四	一六八

二四三	二四四	二四五	二四六	二四七	二四八	二四九	二五〇	二五一	二五二	二五三	二五四
一〇・四	一〇・五	一〇・五	一〇・三	一〇・四	一〇・四	一〇・三	一〇・三	一〇・二	一〇・一	一〇・〇	一〇・六
七・八	九・二	九・八	八・八	七・五	七・九	九・一	七・五	九・〇	七・三	九・二	八・一
二・四	二・二	三・一	二・一	三・一	二・二	三・一	二・二	二・五	二・三	三・〇	二・六
一三五	一五五	三三〇	一六二	一六八	一四五	一七三	一三七	三二五	二二五	二二七	一七七
二五五	二五六	二五七	二五八	二五九	二六〇	二六一	二六二	二六三	二六四	二六五	二六七
二・八	一〇・七	二・八	三・八	一〇・七	二・二	一〇・五	一・七	二・四	一・一	一〇・四	一〇・五
九・二	七・七	九・〇	一〇・〇	七・八	七・二	八・一	八・二	七・七	九・二	七・五	八・八
二・七	三・〇	二・五	三・二	二・三	三・〇	二・八	三・三	三・六	二・九	二・六	二・三
二〇〇	一六八	一七〇	三三五	一四一	二七五	一五〇	二四五	二〇八	二三五	一五〇	一三五
二六八	二六九	二七〇	二七一	二七二	二七三	二七四	二七五	二七六	二七八	二七九	二八〇
三・三	二・七	二・三	二・二	二・六	一〇・四	一〇・六	一〇・三	三・二	一〇・六	一〇・六	二・三
九・二	八・九	八・九	八・八	九・三	八・七	七・四	七・八	九・三	七・四	七・四	八・三
二・七	三・四	二・四	二・六	三・三	二・七	二・六	二・九	二・七	二・八	二・五	二・七
二二三	二四〇	一六三	一五五	二六八	一六〇	一五五	一六五	二三〇	一四〇	一三八	一四八

二八一	二八二	二八三	二八四	二八五	二八六	二八七	二八八	二八九	二九〇	二九一	二九二	二九三	二九四	二九五	二九六	二九七	二九八	二九九	三〇〇
二・三	二・六	二・六	二・五	二・八	二・六	二・七	二・八	二・五	二・六	二・六	二・八	二・九	二・八	二・九	二・八	二・九	二・九	二・九	三・〇
八・七	八・五	八・九	八・〇	八・〇	八・九	八・三	八・〇	八・九	七・二	七・七	七・七	七・八	七・九	七・八	七・八	七・九	七・八	七・八	八・一
二・五	三・〇	三・二	二・八	二・七	二・三	二・六	二・八	二・四	二・四	二・七	二・七	二・四	二・三	二・四	二・七	二・七	二・七	二・七	三・〇
一六五	一九八	二〇三	一五八	一七七	一三五	一八〇	二九五	二〇六	二〇四	二〇四	二〇四	二〇四	二〇三	二〇四	二〇四	二〇四	二〇四	二〇四	二〇四
二八八	二八九	二九〇	二九一	二九二	二九三	二九四	二九五	二九六	二九七	二九八	二九九	三〇〇	三〇一	三〇二	三〇三	三〇四	三〇五	三〇六	三〇七
一〇・六	二・五	二・五	二・六	二・八	二・六	二・七	二・八	二・五	二・六	二・六	二・九	三・〇	二・八	二・九	二・九	二・九	二・九	二・九	三・〇
七・五	八・八	七・一	八・九	七・七	七・八	七・九	七・八	七・五	八・二	九・二	九・二	九・二	七・四	七・四	七・四	七・四	七・四	七・四	八・一
二・六	二・四	二・四	二・七	二・七	二・四	二・三	二・四	二・四	二・四	二・七	二・七	二・七	二・三	二・三	二・三	二・三	二・三	二・三	二・三
一六二	一八四	一五〇	一五五	一五八	一五〇	一三五	二九五	二〇六	二〇四	二〇四	二〇四	二〇四	二〇三	二〇四	二〇四	二〇四	二〇四	二〇四	二〇四
二九六	二九七	二九八	二九九	三〇〇	三〇一	三〇二	三〇三	三〇四	三〇五	三〇六	三〇七	三〇八	三〇九	三一〇	三一一	三一二	三一三	三一四	三一五
二・八	二・二	二・二	二・二	二・二	二・二	二・二	二・二	二・二	二・二	二・二	二・二	二・二	二・二	二・二	二・二	二・二	二・二	二・二	二・二
九・七	八・〇	九・三	七・七	八・一	七・七	七・七	七・七	七・七	七・七	七・七	七・七	七・七	七・七	七・七	七・七	七・七	七・七	七・七	七・七
二・二	二・五	三・〇	二・七	二・〇	二・七	二・七	二・七	二・七	二・七	二・七	二・七	二・七	二・七	二・七	二・七	二・七	二・七	二・七	二・七
二六八	一九三	一九三	二三八	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八

黒字セメント付標識鮑

(知多郡豊濱町小佐地先移植)

昭和九年九月二十四日調査

二	一	番號	殼長	殼高	殼巾	重量	番號	殼長	殼高	殼巾	重量	番號	殼長	殼高	殼巾	重量
一一・五	一〇・三		七・八	七・八	二・三	二〇	三	一〇・五	八・〇	二・二	一三五	六	一一・一	八・一	二・九	一八
九・二	七・八		七・八	七・八	二・三	二〇	四	一一・一	九・〇	二・九	一九〇	五	一一・〇	八・一	二・九	一八

五八	五七	五六	五五	五四	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七
一一一	一一八	一二三	一二四	一二〇	一〇四	一一八	一二二	一二二	一二八	一一九	一一九
八八	八七	九五	九九	七八	八四	九七	九八	九三	一〇六	九〇	九一
二五	二九	二八	三〇	二九	二四	三六	二七	二七	三四	三二	二四
一五五	一五〇	一八四	二三三	一四三	一三六	二三四	二二〇	二〇〇	二六五	一八五	一八〇
七〇	六九	六八	六七	六六	六五	六四	六三	六二	六一	六〇	五九
一一一	一〇八	一〇三	一一一	二〇六	八六	一〇五	一〇九	一一四	一一〇	一一一	一一一
八四	八〇	七五	九五	八八	八一	八〇	八一	八七	九一	八三	八五
二二	三二	三〇	二七	二九	二〇	二三	二六	二二	二三	二九	二九
一四八	一五三	一三五	一八五	一八五	二二〇	一四五	一四〇	一三八	一一五	一七八	二〇三
八五	八四	八三	八一	七九	七六	七七	七六	七五	七四	七三	七三
一一三	一一二	一〇九	一〇三	一〇五	一一六	一〇五	一〇四	一一八	一一七	一〇三	一一〇
八四	九三	七九	七七	八二	九三	八三	八七	八四	九四	八三	八三
二八	二五	二八	二六	二二	一九	二四	二九	二八	二二	二九	二九
一八四	一八二	一五〇	一三〇	一四〇	一八三	二二七	一八〇	一七六	二〇〇	一三七	一五〇

一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	七
九九	一〇七	一〇六	一〇二	一一四	一三二	一一一	一一〇	一〇三	一一一	一一四	一一〇
七八	八二	八二	八五	八七	九九	八四	八八	八三	一〇二	一〇〇	八四
二九	一九	一九	一九	二五	三五	二五	二七	二一	二八	三三	二五
二〇〇	一三〇	一五五	一八八	一七二	二八六	一三七	一六五	二二七	二四二	二五〇	一七二
三三	三三	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二三	二二	二〇
一〇四	一一一	一〇九	一一八	一〇七	一一〇	一〇九	一一三	一〇一	一一二	一〇八	九三
八〇	八九	八四	九三	七一	八三	八四	八四	八五	九〇	八一	七五
二〇	三〇	二九	二五	二七	二七	三三	三一	二七	三一	三一	二二
二〇〇	一八三	一六〇	一七〇	一五三	一五〇	一七〇	一七八	一六六	二四四	一六〇	一三五
四六	四五	四四	四三	四二	四二	三九	三八	三七	三六	三五	三四
一〇四	一三三	一一〇	一〇三	一一四	九八	一一三	一〇四	一〇七	一〇三	一一五	一〇二
七五	七九	八五	八一	八九	八〇	八一	八〇	八三	七八	九六	七九
二二	二四	二三	二八	三一	三一	二九	二三	二三	二二	二六	二二
一三八	一三八	一三五	一三五	二〇〇	二〇五	一五〇	一三〇	一四七	九七	一九五	一〇八

一三九	一三八	一三七	一三六	一三五	一三四	一三三	一三二	一三一	一三〇	一二九	一二七
一一八	一〇三	一一四	一一三	一一五	一一五	一一二	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一〇七
八〇三	八〇七	八〇二	九〇〇	八〇九	八〇五	九〇六	八〇七	九〇七	九〇〇	九〇〇	八〇一
一〇九	二〇八	二〇六	三〇六	二〇六	三〇〇	二〇八	二〇九	二〇五	二〇五	二〇五	二〇七
一五五	三〇〇	一八〇	二二五	一八七	一八八	一八三	一九四	二〇二	一七五	一七五	一五〇
一五三	一五二	一五〇	一四九	一四八	一四七	一四六	一四四	一四三	一四二	一四一	一四〇
一一五	一〇七	一一六	一〇二	一一九	一〇一	一一一	一〇一	一〇一	一〇四	一〇四	一〇四
八〇六	八〇七	九〇二	七〇五	八〇八	八〇一	八〇五	七〇四	八〇六	一〇九	七〇八	八〇八
二〇六	二〇五	三〇二	二〇五	二〇九	一〇八	三〇三	二〇七	二〇七	三〇三	二〇八	二〇七
一九〇	一六〇	一七五	一四〇	二〇八	一一三	一七三	一八〇	一六八	二五〇	一四八	三三〇
一六四	一六三	一六二	一六二	一六〇	一五九	一五八	一五七	一五六	一五五	一五四	一五三
一一三	一〇七	一一六	一一二	一一〇	一〇五	一一八	一一〇	一一八	一〇五	一一一	一一五
八〇三	八〇二	八〇九	九〇三	七〇八	一〇七	一〇二	七〇六	九〇二	七〇一	八〇七	八〇七
二〇七	二〇四	二〇六	二〇七	二〇二	二〇九	三〇一	二〇六	二〇八	二〇三	二〇六	二〇四
一八八	二二三	一四〇	一七二	一六五	一六〇	二五八	一七二	二七七	一四五	一五五	一五〇

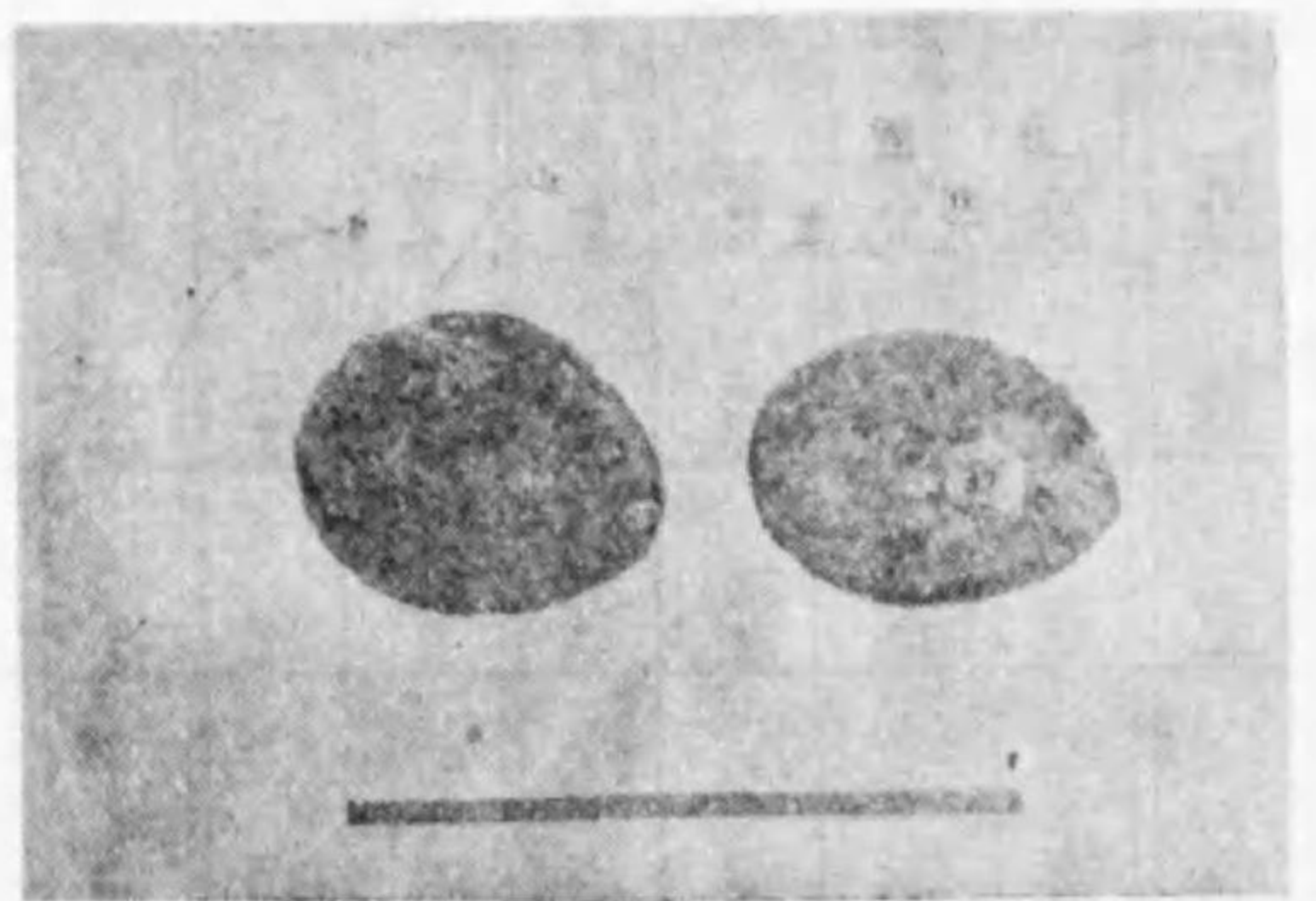
九九	九八	九七	九六	九四	九三	九二	九一	八九	八八	八七	八六
一〇七	一〇五	一〇三	一一〇	九〇六	一〇八	一一〇	一〇五	一〇五	一一〇	一〇五	一〇七
八〇〇	八〇〇	七〇三	八〇一	七〇四	八〇七	八〇七	七〇八	七〇五	一〇五	八〇〇	七〇四
二〇五	二〇五	三〇八	二〇六	二〇三	二〇三	二〇八	二〇三	二〇九	三〇三	二〇〇	二〇八
一六五	一三八	二七五	一四〇	一三三	一三八	一七〇	一五五	一六三	二〇〇	一一五	一五〇
一一三	一一二	一一一	一一〇	一〇九	一〇八	一〇七	一〇五	一〇四	一〇三	一〇三	一〇〇
一〇五	一〇二	一〇八	一一八	一〇三	一〇四	一〇二	一〇一	一〇八	一一七	一〇九	一一九
七〇七	七〇八	八〇三	八〇四	七〇五	七〇七	八〇一	七〇五	八〇八	九〇〇	九〇〇	一〇〇
三〇二	一〇八	二〇五	二〇八	二〇四	二〇二	二〇五	二〇二	二〇九	二〇六	二〇三	三〇三
一四三	一一三	一六〇	一八四	二〇〇	二一五	一七八	一五〇	二二六	一八六	一六〇	一九五
二六	二五	二四	二三	二三	二二	二〇	一九	二七	二六	二五	二四
一一六	一〇七	一一八	一〇八	一一〇	一一〇	一一四	一二二	一一七	一〇三	一一三	一〇五
八〇六	七〇六	九〇五	九〇一	八〇六	八〇三	八〇九	八〇〇	九〇〇	八〇〇	九〇三	七〇三
三〇四	二〇六	二〇八	二〇七	三〇〇	二〇二	二〇三	二〇六	二〇五	二〇一	二〇三	二〇五
一九八	二二八	一八五	一四〇	一六〇	一三〇	一五二	一八〇	二二五	一七二	二〇五	一四〇

1101	1100	1099	1098	1097	1096	1095	1094	1093	1092	1091	1090	1089	1088	1087	1086	1085	1084	1083	1082	1081	1080	1079	1078	1077	1076	1075	1074	1073	1072	1071	1070	1069	1068	1067	1066	1065	1064	1063	1062	1061	1060	1059	1058	1057	1056	1055	1054	1053	1052	1051	1050	1049	1048	1047	1046	1045	1044	1043	1042	1041	1040	1039	1038	1037	1036	1035	1034	1033	1032	1031	1030	1029	1028	1027	1026	1025	1024	1023	1022	1021	1020	1019	1018	1017	1016	1015	1014	1013	1012	1011	1010	1009	1008	1007	1006	1005	1004	1003	1002	1001	1000																																																																									
997	996	995	994	993	992	991	990	989	988	987	986	985	984	983	982	981	980	979	978	977	976	975	974	973	972	971	970	969	968	967	966	965	964	963	962	961	960	959	958	957	956	955	954	953	952	951	950	949	948	947	946	945	944	943	942	941	940	939	938	937	936	935	934	933	932	931	930	929	928	927	926	925	924	923	922	921	920	919	918	917	916	915	914	913	912	911	910	909	908	907	906	905	904	903	902	901	900																																																																													
26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200

165	164	163	162	161	160	159	158	157	156	155	154	153	152	151	150	149	148	147	146	145	144	143	142	141	140	139	138	137	136	135	134	133	132	131	130	129	128	127	126	125	124	123	122	121	120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0									
995	994	993	992	991	990	989	988	987	986	985	984	983	982	981	980	979	978	977	976	975	974	973	972	971	970	969	968	967	966	965	964	963	962	961	960	959	958	957	956	955	954	953	952	951	950	949	948	947	946	945	944	943	942	941	940	939	938	937	936	935	934	933	932	931	930	929	928	927	926	925	924	923	922	921	920	919	918	917	916	915	914	913	912	911	910	909	908	907	906	905	904	903	902	901	900																																																																															
26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200

二九四	二九三	二九二	二九一	二九〇	二八九	二八八	二八七	二八六	二八五	二八四	二八三
一三〇	一一六	一〇八	一〇五	一〇四	一〇〇	一一七	一一九	一三六	一一二	一三三	一〇五
一〇八	九〇七	八〇三	七〇八	八〇三	七〇三	九〇四	九〇三	一〇三	八〇八	一〇〇	七〇七
二〇八	二〇七	二〇二	二〇三	二〇四	二〇五	二〇三	二〇七	二〇九	三〇三	三〇三	二〇五
一九〇	二〇八	一〇〇	一四〇	一一三	一五三	一七八	二〇三	二六〇	二四〇	二四〇	一七八
							三〇〇	二九八	二九七	二九六	二九五
							一一三	一〇〇	一一二	一一四	一一五
							八〇四	七〇八	八〇〇	九〇三	九〇四
							二〇五	二〇三	二〇五	二〇一	二〇八
							一六五	一三三	一七七	一九〇	二三五

1111



二五五	二五四	二五三	二五二	二五一	二五〇	二四七	二四六	二四五	二四四	二四三	二四二
一〇一	一一八	一一一	一一六	一一五	一一三	一一三	一〇四	一〇一	一〇三	一〇五	一〇八
七〇七	九〇四	八〇五	八〇九	八〇四	九〇三	九〇四	七〇七	七〇七	七〇七	八〇一	八〇四
二〇〇	二〇一	二〇七	三〇三	二〇三	三〇〇	二〇九	二〇一	二〇一	二〇〇	二〇三	二〇五
一〇三	一七七	二〇五	一五五	一七五	一六八	三三五	一〇〇	八二	一一二	一三三	一八〇
二六九	二六八	二六七	二六六	二六五	二六四	二六二	二六〇	二五九	二五八	二五七	二五六
二〇八	二〇七	一〇四	一一二	一一三	一一三	二〇八	一一一	一一六	一一七	一一九	一〇九
八〇五	一〇三	七〇八	七〇四	九〇三	八〇三	九〇〇	八〇七	九〇七	九〇四	九〇四	八〇三
三〇四	二〇四	二〇二	一九九	二〇六	三〇〇	三〇一	三〇〇	二〇八	二〇六	二〇七	二〇四
二三八	二〇八	一〇〇	一〇〇	一七三	一八〇	一六五	二〇八	一九三	一六三	二二二	一四〇
二八二	二八一	二八〇	二七九	二七八	二七六	二七五	二七四	二七三	二七三	二七一	二七〇
一〇一	一一四	一一三	一一五	一一六	一一三	一〇八	一一九	一〇四	一一六	一一七	一〇三
七〇九	九〇五	八〇六	八〇〇	九〇〇	九〇四	八〇六	九〇五	七〇七	九〇三	八〇八	八〇〇
二〇五	三〇〇	九〇一	二〇七	三〇五	二〇九	二〇五	二〇九	二〇七	二〇一	二〇四	二〇四
一三〇	二六二	一六〇	一六	一八〇	二〇七	一四五	一九〇	一六五	一六	一六五	一四〇

1111

セルロイド標識鮑

(知多郡豊濱町小佐地先放養)

昭和九年十月三十日調査

番号	殻長	殻高	殻巾	重量	番号	殻長	殻高	殻巾	重量	番号	殻長	殻高	殻巾	重量
二	一一三	八・九	二・三	一六	一三	一一九	一〇・三	三・三	三二五	三三	一一三	一〇・三	八・六	二・三
三	一〇八	八・〇	二・四	一六〇	一四	一一一	九・八	二・〇	一六〇	三四	一一五	一〇・一	二・九	二七三
四	一一三	八・五	二・四	一五九	一五	一一二	九・六	二・五	一五七	三五	一一三	九・八	二・八	二七三
五	一一六	九・五	二・四	二二五	一六	一一四	七・六	二・七	一三五	三六	一一七	一〇・五	三・〇	二六六
六	一一六	九・三	二・六	二五〇	一七	一一五	九・〇	二・〇	一五八	三七	一二〇	八・〇	二・七	二二三
七	一一九	九・八	三・三	二五五	一八	一一六	八・七	二・三	二〇五	三八	一二一	一〇・一	三・〇	二六〇
八	一二三	七・八	二・三	一三八	一九	一二二	八・三	二・三	一七三	三九	一二二	一〇・〇	三・一	二二七
九	一二三	九・八	二・七	二四〇	二〇	一二三	九・〇	二・二	一八二	四〇	一二三	九・六	三・一	二二二
一〇	一二一	八・七	二・六	二二〇	二一	一二四	八・三	二・二	一七三	四一	一二四	九・三	三・一	二二二
一一	一〇六	八・三	二・三	一五〇	二二	一二五	九・七	三・一	二五二	四二	一二五	八・八	二・四	二六一

三三	一一〇	九・三	二・三	二二三	四七	一二四	九・〇	二・三	二〇八	六一	一二三	九・〇	二・九	二二三
三四	一一四	九・三	二・五	二三七	四八	一〇六	七・七	二・八	一六〇	六二	一二六	九・〇	二・五	三三八
三五	一〇六	八・四	二・九	一四四	四九	一一三	九・五	三・四	二五〇	六三	一二九	一〇・一	二・五	二七五
三六	一〇八	七・九	三・〇	二七五	五〇	一一二	九・二	二・七	一九三	六四	一〇三	七・六	二・二	二三五
三七	一〇一	七・六	二・二	一四三	五一	一〇八	七・九	二・六	二三〇	六五	一〇七	七・八	一・九	二二二
三八	一〇三	八・六	二・二	一七五	五二	一〇八	七・九	二・六	一九三	六六	一〇七	七・八	一・九	二二二
三九	一一四	七・八	二・二	一五八	五三	一一〇	八・四	二・六	二二二	六七	一一一	九・三	二・四	二二三
四〇	一一四	七・八	二・二	一五八	五四	一一〇	八・〇	二・四	二九〇	六八	一一一	九・六	二・六	二六六
四一	一一八	九・二	二・四	二〇〇	五五	一一二	八・〇	二・四	一五五	六九	一一二	九・七	三・二	一五八
四二	一一〇	八・二	二・三	二二四	五六	一一〇	七・九	一・九	一〇五	七〇	一一四	八・三	二・一	一五〇
四三	一〇一	八・一	二・三	二二四	五七	一〇九	八・五	一・九	一四五	七一	一一四	八・四	二・六	一七五
四四	一〇七	八・二	二・三	一五五	五八	一〇九	八・五	一・九	一四五	七二	一一〇	八・六	二・〇	一六二
四五	一〇三	八・七	二・七	一五三	五九	一〇六	八・〇	二・五	一三八	七三	一一〇	八・六	二・〇	一六二
四六	一一八	一〇・三	二・六	二八八	六〇	一〇六	七・九	二・八	二一九	七四	一一〇	八・七	二・三	一六七

131	131	130	129	127	126	125	124	123	122	121	120
131	101	103	107	114	108	106	101	115	112	98	112
100	76	73	76	90	86	83	105	92	95	77	82
304	27	18	17	18	27	20	30	23	30	19	26
331	27	23	147	150	168	158	328	227	241	118	143
145	144	143	141	140	139	138	137	136	135	134	133
104	107	117	117	99	130	115	109	109	108	114	112
77	90	97	87	79	90	87	81	80	86	89	96
19	21	34	27	27	24	24	21	28	24	28	28
13	12	25	18	15	25	19	23	20	24	19	24
							150	149	148	147	146
							231	108	114	130	111
							98	84	85	107	100
							24	23	24	29	27
							107	10	16	25	17

86	85	84	83	82	79	78	77	76	75	74	73
238	212	214	228	215	212	215	212	99	103	226	218
103	84	85	94	87	85	98	97	82	77	95	98
303	25	26	26	28	25	30	30	20	20	29	29
297	182	14	33	165	203	250	195	237	20	32	23
101	101	100	99	98	97	94	93	92	89	88	87
238	201	212	211	212	230	203	205	207	218	228	202
108	84	104	73	95	97	75	78	86	93	99	80
35	23	32	23	28	27	22	20	22	31	31	24
30	158	274	180	266	270	238	240	247	236	230	228
218	217	216	215	214	213	212	211	209	208	207	205
109	99	103	113	106	107	103	103	103	102	113	109
84	79	80	86	78	77	95	80	74	93	94	90
28	24	20	28	18	24	30	27	25	31	27	26
168	23	20	23	25	24	24	188	173	292	227	196

豐濱町字小佐海岸ノ試験場所ニ於テ標識保存ニ付研究用トシテ放養セルモノ

金網籠内銀線標識ノモノ					全上硝子標識ノモノ				
番號	殼長	殼高	殼巾	重量	番號	殼長	殼高	殼巾	重量
八〇	一〇・六	七・九	二・六	一七・七	二	一〇・四	八・二	二・七	一五・〇
九〇	一〇・三	八・一	二・三	一三・三	三	一〇・五	七・八	二・三	一八・八
一〇六	一〇・二	七・七	二・七	一三・八	七	一〇・二	九・四	二・六	一九・八
一一〇	一一・〇	八・九	二・六	一六・一	九	一一・一	九・〇	二・〇	一六・八
一二九	一〇・六	八・一	二・三	一三・〇	五〇	一一・〇	九・〇	二・三	一八・〇

セルロイド標識鮑

(知多郡篠島村地先放養)

昭和九年十月三十一日調査

番號	殼長	殼高	殼巾	重量	番號	殼長	殼高	殼巾	重量
一	一〇・八	八・四	二・七	一六・九	三	一一・二	九・〇	二・三	一九・三
二	一〇・二	七・八	二・七	一三・九	四	一〇・八	八・五	二・二	一七・六

七	一一・〇	八・七	二・五	一七・六	三二	一一・三	九・二	二・五	二二・七
八	一一・九	九・〇	二・五	二三・五	三三	一〇・九	九・〇	二・三	一六・一
九	一〇・六	八・七	二・五	一八・四	三四	一〇・三	八・六	二・七	一六・九
一〇	一一・一	九・七	二・四	二六・二	三五	一〇・五	七・六	二・三	一五・六
一一	一〇・九	八・五	二・二	一九・三	三六	一〇・七	七・七	二・四	一五・〇
一二	一〇・九	八・五	二・二	一九・三	三七	一〇・三	七・九	二・三	一五・〇
一三	一一・一	八・九	二・七	二〇・一	三九	一一・四	八・八	二・四	二〇・五
一六	一〇・一	七・五	二・三	一三・九	四〇	一一・七	八・六	二・七	二三・五
一七	一一・三	九・六	三・三	三〇・〇	四一	一一・七	八・七	二・六	二三・六
一八	一一・五	八・七	二・三	一四・三	四二	一一・二	八・三	二・一	一七・六
一九	一〇・七	八・四	二・三	一四・三	四三	一一・二	八・七	二・五	二〇・六
二〇	一一・六	九・〇	二・九	二五・八	四四	一一・四	八・八	二・六	一九・九

105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130
106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131
7.6	9.9	9.0	9.3	8.0	7.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9
2.4	2.3	1.9	2.2	2.8	2.0	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
157	143	169	162	165	155	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188
133	134	135	136	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159
113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138
7.8	8.3	8.5	7.8	8.9	7.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9
2.1	2.4	2.2	2.4	2.3	2.0	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
143	169	184	169	184	155	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188
144	139	137	135	133	132	131	130	129	128	127	126	125	124	123	122	121	120	119	118	117	116	115	114	113	112
107	107	109	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133
8.5	9.5	8.4	8.3	7.7	8.8	7.9	8.4	8.7	8.4	8.4	8.7	8.4	9.2	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9
2.4	2.8	2.2	2.7	2.0	1.8	2.4	2.5	2.2	2.3	2.3	2.3	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7
173	279	176	165	156	157	135	137	169	184	184	184	184	184	184	184	184	184	184	184	184	184	184	184	184	184
143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143
113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113
8.3	7.3	8.3	9.5	9.5	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8
1.9	1.8	2.8	2.8	2.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
156	113	154	155	155	154	154	154	154	154	154	154	154	154	154	154	154	154	154	154	154	154	154	154	154	154

51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76
52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77
8.6	7.5	7.5	7.5	9.5	8.8	8.8	8.0	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	
2.3	2.5	2.8	2.5	2.8	2.5	2.5	2.3	2.7	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	
169	169	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248
67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	
104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76
114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114
8.6	7.8	8.8	8.8	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	
2.2	2.3	2.3	2.3	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	
169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169	169
67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67
104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104

(二) あこや貝養成試験

知多郡師崎町及豊濱町地先ニハ多少天然産あこや貝棲息セルヲ以テ三重縣志摩郡地方ヨリ母貝ヲ移植シテ其ノ蕃殖ヲ圖ル
ト共ニ眞珠養成試験ヲモ併セ施行シ本縣ニ於ケル斯業ノ開發指導ニ關スル資料ヲ得ントス
試験ノ經過

昭和八年度ヨリ引續キ知多郡師崎町水難救護所沖六十間ノ個所ニ設置セル二間×一間半ノ筏ニ垂下シ試験ニ供ス前年度
報告記載ノ通三重縣度會郡法座浦ニ避寒セシメタルモノヲ昭和九年四月二十六日師崎ニ移植垂下セリ
五月六日貝掃除ヲナシ調査スルニ總計一二八二個ニシテ内四二個斃死シ生存貝一二四〇個トナレリ其ノ後五月二十三日
場長視察ノ際四〇個ヲ開殻シタルニ核十二、三個、内被覆セルモノ五、六個アリ五月二十六日筏ヲ修理シ所定ノ位置ニ
垂下セルトキ斃死貝五個ヲ發見シ結局生存貝ハ垂下金網籠數十七個一、一九五個トナル十月二十五日筏ノ浮樽浸水沈下
スル爲修理作業ヲ行ヒ調査セルニ金網十七籠ノ中一籠ハ沈下シ更ニ一個分ヲ整理シ籠數十五個トセリ
成育何レモ良好ニシテ殻縁二、三分成育セルモノヲ認メタレトモ貝掃除不行届ノ爲貝殻ノ表面ニハ雜藻又ハフヂツボノ
多ク附着セルモノアリ(後沈下セル一籠ヲ發見セルニ付籠數十六個トナル)
而シテ前後二回ノ試験成績ニ依リ豫備資料ヲ得タルヲ以テ避寒ヲ要スル時期ニ至リ一應本試験ヲ打切ルコト、シ昭和九
年十一月十四日場長立會ノ下ニ全部引揚ゲ開殻シタルニ次ノ結果ヲ得タリ

記

採取年月日	籠數	貝殻ノ個數		孕玉ノ成績				生存貝斃死 貝トノ割合	生存貝ト孕 玉數ノ割合
		生存貝	斃死貝	計	一等品	二等品	三等品		
昭和九年十一月十四日 午前十一時	六	四一五	二〇	四三五	三四	三〇	七〇	二〇	一五四
全 午後三時	七	四九六	三八	五三四	三八	六七	三五	一六	一五六
全年十一月十五日 午前十時	三	二〇八	九	二一七	三一	三〇	二一	六	八八
計	一六	一、二一九	六七	一、一八六	一〇三	一二七	一二六	四二	三九八

要スルニ籠數一六個ノ中生存貝一、一一九個斃死貝六七個ニシテ之ヲ開殻セルニ眞珠玉三九八個ヲ得タリ眞珠玉ハ三等品
以上光澤良好ナルモノ多ク中ニハ本場三重縣志摩郡産ニ優ルモノアリ殊ニピンク色ノモノ多キヲ特徴トス

(三) 板甫牡蠣増殖試験 (前年度繼承)

昭和八年度事業ノ一トシテ昭和八年十二月板甫牡蠣種苗ヲ知多郡西海岸ニ移植シ之ガ増殖ヲ圖ル目的ヲ以テ本試験
實施セルモノニシテ其ノ後ノ成績次ノ如シ

- (1) 種苗産地 農林省水産試験場二見分場ノ採苗ニ係ルモノ
- (2) 移植年月日 昭和八年十二月十六日
- (3) 移植數量 石油箱入四十八個(一個平均附着器約五〇〇個入)
- (4) 試験ノ經過 昭和九年五月十五日調査セルニ其ノ概要次表ノ如シ

移植場所	放養數量	放養時ノ大サ			昭和九年五月十五日			備考
		殼高	殼長	最大殼高	殼高	殼長	最大殼高	
愛多郡横須賀町ト八幡 町トノ境距岸三〇〇間 ノ沖合	一六箱	二〇.九 c.m	一.五 c.m	二.七 c.m	二.五 c.m	一.八 c.m	三.五 c.m	約三割位生存セルヲ見ル 殆ンド斃死セリ
知多郡古見距岸四〇〇 間ノ沖	一六箱	〃	〃	〃	〃	一.八 c.m	三.三	一.五
知多郡日長距岸三五〇 間ノ沖	一六箱	〃	〃	〃	二.四	一.六 c.m	三.七	一.三

各移植地共斃死率多ク知多郡古見日長沿岸ノモノハ殆ント全部斃死セリ是種苗ニ付遺憾ノ點アリシモ一ハ輸送日數三日ヲ要シタルニ因ルモノナルベク板市牡蠣ノ如ク常ニ海中ニアルモノハ長時間ノ空中輸送ニ堪ヘ難キモノト認メラル

(四) 石花菜移植試験 (前年度繼承)

昭和八年度事業トシテ靜岡縣賀茂郡稻取村ヨリ石花菜ノ優良種ヲ購入シ之ヲ知多郡篠島村漁港突堤棄石ニ移植試験ヲ實施セルガ其ノ試験成績次ノ如シ

- (1) 移植ノ狀況 昭和八年八月五日採取同日發送八月九日午後二時到着直チニ活籠ニ蓄養ノ上八月十日、十一日ニ亙リ移植試験ヲ實施セリ (昭和八年度業務概報參照)
- (2) 移植後ノ成績 篠島漁港第一突堤ハ昭和八年三月頃竣工シ第二防波堤ハ昭和九年四、五月頃竣工セリ移植試験當時ハ第二防波堤ノ工事中ニシテ竣工後モ増殖狀態ヲ調査セズ其ノ儘經過セルガ昭和九年夏季當業者ヨリ石花菜ノ小サキモノ多數附着セルヲ認メタル旨篠島漁業組合ニ報告アリタルモ倭小ニシテ種類判明セザリキ越エテ昭和十年五月二十三日偶々他ノ用務ヲ帶ビ篠島村ニ出張ノ際其ノ事實ヲ聽取セルニ全地先從來産ノモノニ比シ稍々黄味ヲ帶ビタル石花菜點々トシテ多數附着シ其ノ大サ三糎乃至五糎ニ成育セル趣ニ付今後ノ調査ニ依リ果シテ移植種ノ蕃殖セルモノナリヤ否ヤヲ確メントス

四、漁業用餌料移植試験

本縣沿岸漁業ノ中堅ハ釣魚漁業ニシテ主トシテ鯛釣漁業ナリ而シテ同漁業ニ使用スル餌虫ハ其ノ地元ニ少ク大部分他地方又ハ他府縣ヨリ購入シツ、アルノ狀態ニシテ需給ノ圓滑ヲ缺クト共ニ輸送ノ不便ニ依リ漁期ヲ逸スルコト尠カラズ然ルニ本縣淺海干潟ハ廣大ニシテ移植適地尠カラザルヲ以テ之ガ移植蕃殖ヲ圖リ直接釣漁業者ノ利便ヲ圖ルト共ニ淺海ノ利用厚生ヲ劃セントシ前年度ヨリ繼續試驗中ニシテ本年度ハ赤虫及蠶虫ヲ移植試験セリ

一、赤虫移植

俗稱あかむしハ學名 *Halia parthenopia Della chije* (昭和八年奥田四郎氏ノ査定ニ依ル)ニシテ餌虫類中最上位ニアリ價格モ從テ高ク体長三尺内外ノモノ一尾七、八十錢ニ達スルコトアリ
あかむしハ尾道市粟原川地先ニ於テ相當豊富ニ産出ス地盤ノ高サ大潮時ニ干出スル個所ニシテ其ノ底質ハ次ノ如キ砂質ヲ主ナル棲息地トナスガ如シ

四	耗	四一、五耗	一、五〇、六耗	〇、六〇、三耗	〇、三〇、二耗	〇、二耗
一	%	二六%	四四%	二二%	六%	一%

主トシテ牡蠣養殖場附近ノ泥地ニ棲息シ二三尺地底ニ潜在スルモ時ニ出テ游泳スルモノ、如シ多毛環虫類中ノ *Eumetidae* ニ屬スルモノニシテ体長五〇糎乃至九〇糎、体色深紅色ナリ頭部ハ圓錐形ニシテ三本ノ下觸手ト四個ノ眼點ヲ有シ觸鬚ナシ側脚ニハ上葉ヨク發達シ游泳ニ適スルカ如ク剛毛ハ普通針狀ナルモ外ニ劍狀ヲナセルモノアリ口器ハ左右不對稱ノ配列ヲ有スル多數ノ顎片ヨリ成ル

1 移植試験地ノ狀態

本試験ヲ施行スルニ當リテハ前年度ト同様ノ條件ヲ具備スル場所ニシテ將來有望ナル地先ヲ選定セリ試験地ノ狀態ヲ表示セバ次ノ如シ

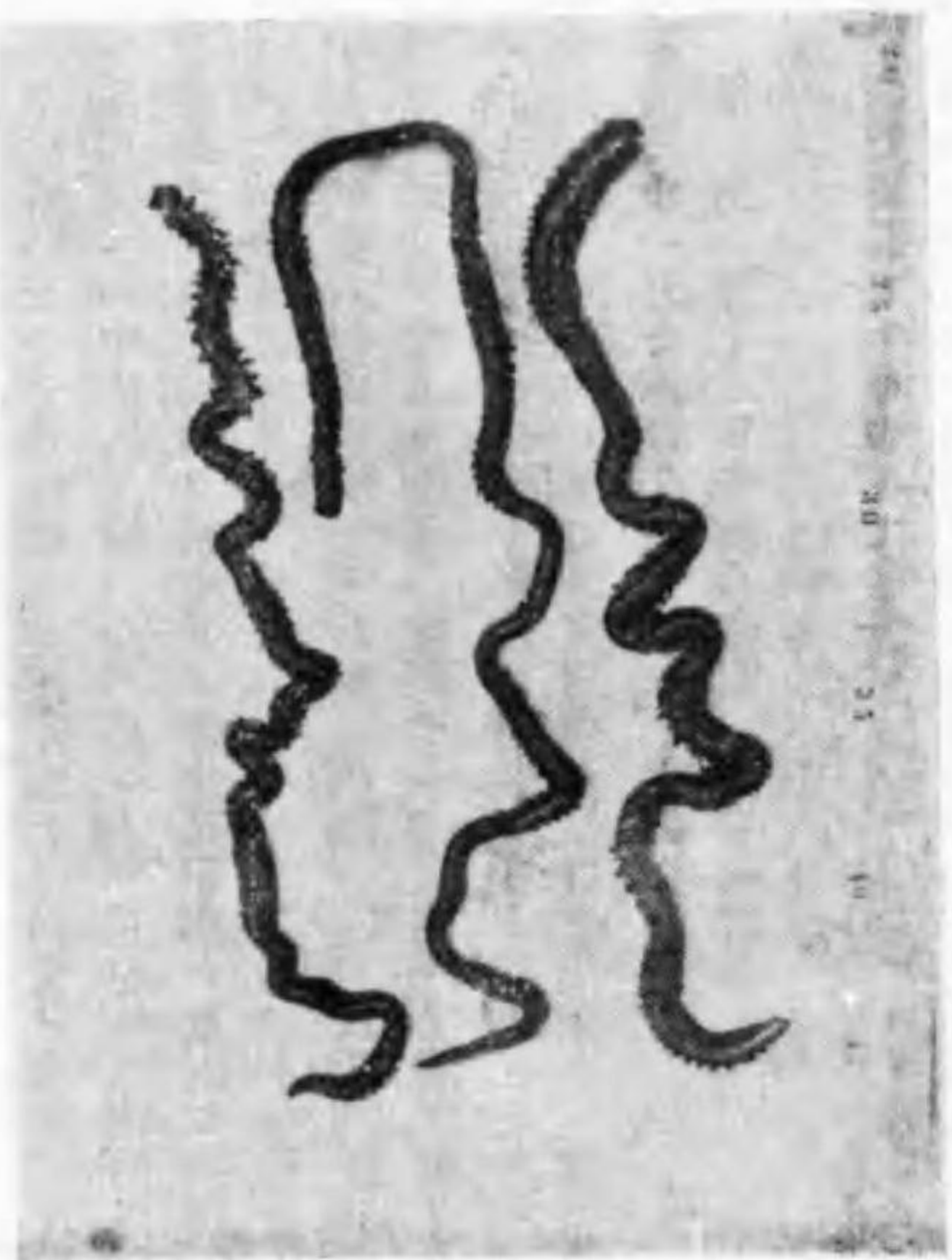
調査項目		試験場所	
満潮時水深	一六五種	知多郡成岩町地先	一五八ク
底質	砂泥土ニシテ砂七〇% 泥三〇%	砂泥地ニシテ砂六〇% 泥四〇%具殼ヲ混ズ	砂礫質ニシテ稍粗ナル砂 ニ礫ヲ混ズ
色相	表面ハ清ク一五種以下ハ 稍黒シ	表面ハ稍黒ク一五種以下 ハ腐蝕土アリ	表面ハ清ク一五種以下ハ 稍黒シ
地盤ノ高	中潮ニ露出ス	全上	全上
藻類ノ繁茂 状態	藻類ナシ	全上	全上
棲息セル主 ナル餌虫類	他ノ餌虫棲息セズ	全上	ほんむし、どみず等棲 息セル處アリ

2 輸送方法

第一回ノ輸送ハ採捕セルあかむしヲ二時蓄養シ置キ之ヲ直徑四七種高一四種ノ桶ニ約三〇尾ノ割合ニ分容シ一個毎ニ「アンペラ」ヲ以テ蓋ヲナシ三個ヲ結束シテ一個トシ各桶ニハ約五尾内外ノ海水ヲ入レタリ然ルニ第一回ノ輸送ニ於テハ何レモ餌虫疲弱シ斃死スルモノ尠カラザリシヲ以テ第二回輸送ニハ各桶ニ約四分一内外ノ砂入ルルカ又ハあををサヲ詰メテ輸送セシメタルニ何レモ活力旺盛ニシテ斃死スルモノナク良結果ヲ得タリ殊ニあををサヲ詰メテ輸送シタルモノハ成績良好ナリキ砂又ハあををサハ餌虫ノ動搖ヲ防グ爲必要ナルモノナルベク此場合ニ於テモ多少ノ海水ヲ入レ置クヲ要ス

3 移植經過

あかむしハ廣島縣尾道市沿岸産ノモノヲ移植スルコトトシ昭和九年四月末尾道市水産市場内廣島縣漁業組合聯合會尾道販賣所蒲生隆ニ一千尾購入ノ注文ヲ發セルモ其ノ後採捕數量少ク且ツ暑氣ニ向ヒタルヲ以テ移植ヲ中止シ秋期氣温ノ低下スルヲ待ツテ實施セリ移植經過ノ概要次ノ如シ



(イ) 海部郡鍋田村地先四號地

第一回輸送

昭和九年十月二十九日午後十時頃尾道市發熱田驛着全三十日午前七時四十分 數量 一〇五尾
荷造方法 前述ノ輸送桶ニ約五耗位海水ヲ入レテ荷造セリ
到着後ノ處置 小潮時ナリシヲ以テ汲置ノ海水(比重一・〇二一〇〇位)ト換水シ其ノ儘蓄養シ一日三回換水ヲ行フ
斃死ノ狀況 前記ノ如クシテ約一日後ニハ餌虫衰弱シ動クモノ僅ニ二十尾位ニシテ殆ンド斃死セリ 十一月四日放

養セントスルモ全部斃死セルヲ以テ之ヲ中止シ標本トシテ保存セリ
本輸送ニ於テハ途中餌虫ハ甚ク衰弱シ著養後全部斃死セルニ鑑ミ尾道市浦生隆ニ對シ輸送方法ハ桶ニ砂又ハあ
をさヲ入レ虫ノ動搖ヲ防グ様指示セリ

第二回輸送

發送月日 昭和九年十一月十五日午後九時頃 尾道市發送
到着月日 全年 全 月十六日午前七時四十分 熱田驛着

數量 九十五尾

到着後ノ處置 午后零時三十分熱田驛ヨリ持參直チニ汲置ノ海水(比重一・〇二一〇)ヲ以テ換水ス荷造ハ澁桶三
個ニ分容セラレ内二個ニハ中砂約二種乃至三種ヲ入レ且海水二種内外アリ一個ニハあをさヲ入レ海水二種位アリ到
着時ノ水温十三度五ナリキ 海水ヲ換ヘ其ノ儘作業室内ニ放置シ其後午後六時及翌十七日午前一時ニ各桶トモ換水
セリ

移植 十一月十七日午前六時(氣温三・五度 水温一〇・五度)モーター船ニ積込ミ出發、午前八時三十分海部郡
鍋田村地先四號地ニ到リ干潟ニ幅二〇種深サ一〇種内外ノ溝ヲ掘リ之ニあかむし一尾宛ヲ約三十種間隔ニ入レ上
ニ砂ヲ被覆セリ何レモ元氣ヨク頭部ヲ砂中ニ潛入シ手ヲ觸ル、トキハ威勢ヨク体ヲ收縮シ潛入セリ

(ロ) 知多郡成岩町地先

發送月日 昭和九年十一月十四日午後九時頃 尾道市發送
到着月日 全年 全 月十五日午前八時頃 成岩到着

數量 二百尾

到着後ノ處置 到着後直チニ海水(比重一・〇一九〇〇)ニテ換水シ午後船ノ活間ニ蓄養セリ 荷造ハ澁桶六個ニ
分容セラレ内三個ニハ砂ヲ入レ他ノ三個ニハあをさヲ入レ海水約一種ヲ入レタリ

移植 十一月十六日午前九時ヨリ成岩町地先ニ放養ス 面積約三十坪ノ場所ニ一米間隔ヲ以テ幅二〇種深サ約一〇
種ノ溝ヲ造リ約三十種毎ニ虫ヲ入レ砂ヲ被覆セリ 元氣ヨク潛入セルガ作業終ルヤ直ニ滿潮トナリ充分ノ調査ヲナ

スコトヲ能ハザリキ

(ハ) 寶飯郡鹽津村地先

本地ニ移植ノ目的ナルモあかむし到着後ノ處置ヲ考慮シ三谷驛卸シ水産試驗場宛トセリ
第一回輸送

發送月日 昭和九年十月三十日午後九時頃 尾道市發送
到着月日 全年 全 月三十一日午前十時頃 三谷驛着

數量 二百八十尾

到着後ノ處置 十月三十一日正午頃水産試驗場漁撈製造出張所ニ於テ開荷シタルニ荷造ハ澁桶六個ニ分容シ單ニ少
量ノ海水ヲ入レタルノミニシテ切斷セラレタルモノ多ク血綿ノ如キ状態ヲ呈シ活力何レモ衰ヘタリ直チニ數量ヲ檢
シタル後汲置海水ト換水シ其ノ儘放置セリ

時恰モ小潮時ナリシヲ以テ三、四日蓄養スベク放置シ一日三、四回換水セルモノ十一月一日頃斃死スルモノ多ク中ニ

ハ既ニ紫色ニ腐敗セルモノアルヲ以テ活洲船ニ收容シ三谷港外ニ繫留、蓄養シ置ケリ

十一月五日之ヲ寶飯郡鹽津村地先ニ放養セントシ活洲船ヲ檢スルニ殆ンド全部斃死シ内約十尾生存セルノミナリシ

ヲ以テ三谷港西突堤ヲ距ル十間ノ場所ヲ選ヒ石油箱ヲ埋没シテ之ニ放養シ其ノ後ノ試驗研究ニ供セリ

第二回輸送

發送月日 昭和九年十一月十三日午後九時 尾道市發送
到着月日 全年 全 月十四日午前九時 三谷驛着

數量 一七二尾

到着後ノ處置 到着後直チニ開荷シ虫ノ活力ヲ檢スルニ全部活力旺盛ナリ荷造ハ澁桶六個ニ分容シ各桶ニハあをさ
ヲ入レ海水約二種アルモ混濁セルヲ以テ比重一・〇二一〇〇水温一三度ノモノト換水シ暗所ニ放置セリ

午后四時鹽津村ニ運搬シ再ヒ新鮮ナル海水ト取換ヘ午後五時半頃廢止鹽田西側、底質砂礫質ノ地ニ鉢ヲ以テ深サ一
五種長サ五間ノ溝ヲ造リ之ニ九十尾ヲ入レ直チニ砂、小礫ヲ以テ被覆セリ

殘部八十二尾ハ十一月十五日午前六時半頃鹽田沖六十間ノ砂礫地ヲ撰ヒ前記同様一尾宛放養シ砂礫ヲ以テ覆ヘリ
 全部元氣ヨク更ニ前日ノ放養場所ヲ調査セルニ三種位砂上ニ出テタルモノ十五、六尾アリ手ヲ觸ル、トキハ直チ
 ニ潛入シ元氣旺盛ナリキ
 (三) 豊橋市大崎町地先小高洲

第一回輸送

發送月日 昭和九年十月二十七日午後八時發送

到着月日 全年 全月二十八日午後一時半 豊橋驛着 直チニ自轉車ニ依リ大崎町へ運搬 午後二時三十分到着

數量 一〇〇尾

荷造及到着後ノ處置 荷造ハ澁桶三個ニ分容シ一個毎ニ「アンペラ」ヲ以テ蓋ヲナシ海水五耗ヲ入レ積重ネテ結縛
 セリ 到着時ノ水温一六・五度水色赤味ヲ帯ビ血綿ノ如キ粘液ヲ排出シ居レリ氣温一七・四度ノ日陰ニ放置セルモ
 甚ダシク衰弱シ手ヲ觸ル、モ殆ント伸縮セズ依テ更ニ桶三個ヲ増シテ分容シ左記ノ通換水ス

月 日	時 刻	水 温	比 重	氣 温	摘 要
昭和九年 十月二十八日	午後四時	一四・五	一五・四〇	—	
十月二十九日	午前七時三十分	一一・四	一三・九六		体ノ背部濃紫色ヲ呈シタルモノヲ生ズ
全	ク 十時〇分	一三・八	一五・一九	—	ク
全	午後二時〇分	一四・三	一四・六九	一七・〇	濃紫色次第ニ擴大ス
全	ク 五時〇分	一四・二	一四・六八		

放養ノ面積及方法 昭和九年十月三十日午前三時半ヨリ五時迄ノ間ニ於テ面積約四坪ニ深サ一五種ノ溝五列ヲ造リ
 一列ニ約二十尾宛放養シ上ニ約六種ノ砂ヲ覆ヘリ

第二回輸送

發送月日 昭和九年十一月十四日午後九時 尾道市發送

到着月日 全年 全月十五日午後十時十五分 豊橋驛着 直チニ自轉車ニテ本縣水産試驗場三河灣養殖作業場

へ運搬午後十一時三十分到着ス

數量 一〇〇尾

荷造及到着ノ處置 澁桶四個ニ分容シ内二個ニハ細砂他ノ二個ニハあををさヲ敷キ一乃至二種ノ海水ヲ入ル到着時ハ
 水温八・七度水色透明ナレ共水底部ニハ粘液沈下シ居レリ 何レモ比較的活潑ニシテ砂中ニ潛入セルモノ多シ之ヲ
 一時換水シツ、蓄養シ十一月十七日午前七時三十分ヨリ八時二十分ノ間ニ於テ大高洲ニ放養セリ 一時蓄養ノ状態
 次ノ如シ

月 日	時 刻	水 温	比 重	桶ノ水温	摘 要
昭和九年 十一月十五日	午後 十一時四十分	八・七	一一・七八	八・九	
十一月十六日	午前七時三十分	七・八	一一・七八	八・〇	前日使用セシ海水ヲ用フ
全	ク 九時十分	九・四	一一・九一	九・六	あををさヲ砂ト取換フ
全	午後二時四十分	一一・四	一七・三四	一二・七	輸送シ來リシ砂ヲ取換フ

全	ク	七時四十分	八・九	一七・二九	八・二
十一月十七日	自午前七時三十分	至午後八時三十分	八・七	一	放養ス

放養ノ面積及其ノ方法 面積約四坪ノ區劃内ニ於テ深一五種ノ溝五列ヲ造リ一列ニ約二十尾宛放養シ上ニ約六種位砂ヲ覆ヘリ
移植後ノ成績 移植後調査セルニ多少棲息場所ヲ變更移動セルモ生存セルモノ多キヲ認メラル

二、蟻 移植

學名 *Trechis unichetus* (V. Drasch) = *Echirus unichetus* V. D. ハ方言ユマラ。ユマラメ等ト種シ体長四寸ニ達スル薄赤色ノ地虫ニシテ吻ハ大ナラズ腎管ニ對テ有シ尾端ニ剛毛一環ヲ生ス本邦沿岸殊ニ太平洋岸ノ内灣大潮干潮線附近ノ砂底ニ産シ古ヨリ鯛釣餌料トシテ用ヒラル Von selonka ガ一八八〇年始メテ 記載セルモノモ我國ノモノニシテ *Emil selonka* モチャレンヂヤ號ノ報告中ニ日本ノ漁夫ヨリ得タル旨記載セリ
本年度ハ東京市蒲田區羽田町地先ニ多産スル蟻ヲ移植スルコト、シ羽田町一丁目一六三番地伊東熊吉ヨリ二十萬尾購入ノ手續ヲナシ昭和十年三月九日ヨリ全月二十四日迄ニ夫々豫定數量ノ送付ヲ受ケ何レモ好成绩ニ放養ヲ了セリ

(1) 移植試験地ノ状態
本試験地ヲ選定スルニ當リ第一餌虫ノ移植適地ナルコト、第二管理ニ便ニシテ盜難ノ憂ナキコト、第三他ニ利用ノ途少キコト、第四多少共餌虫採取ニ經驗アル地方タルコト、以上四條件ヲ具備シ將來有望ナル地方タルコトヲ考慮セリ試験地ノ状態次ノ如シ

試験場所	海部郡鍋田村海	知多郡旭村日長	先 知多郡成岩町地	先 寶飯郡津津村地	先 寶飯郡前芝村地	道洲 渥美郡杉山村入	津 渥美郡泉村伊川
調査日	海部郡鍋田村海	知多郡旭村日長	先 知多郡成岩町地	先 寶飯郡津津村地	先 寶飯郡前芝村地	道洲 渥美郡杉山村入	津 渥美郡泉村伊川

満潮時水深	底質	色相	地盤ノ高	藻類ノ繁茂状態	棲息セル主ナル餌虫類	移植數量
一七五種	砂泥地ニシテ砂七〇%泥三〇%	表面ハ稍黒味ヲ帯ビ一五種以下同	大潮干潮時露出ス	藻類ナシ	蟻及シヤコ等棲息ス	一萬尾
一七八ク	砂泥地砂八〇%泥二〇%	表面ハ清ク一五種以下黒シ	全	少シ許ノエビモ生ズ	どみず、蟻虫等アリ	二萬尾
一七〇ク	砂泥地砂七〇%泥三〇%	全	全	所々ニえびも生ズ	棲息セル餌虫ナシ	三萬尾
一七八ク	砂泥地砂七五%泥二五%	表面ハ稍黒色ヲ帯ビ一五種以下同	全	全	全	五萬尾
一七七ク	砂泥地砂八〇%泥二〇%	表面ハ清ク一五種以下稍黒シ	全	全	どみず、じやむし等棲息ス	五萬尾
一七八ク	砂泥地砂七〇%泥三〇%	全	全	全	棲息セル餌虫ナシ	二萬尾
一七五ク	砂泥地砂八〇%泥二〇%	全	全	全	全	二萬尾

(2) 移植試験ノ經過
前記移植試験地ニ於テ三月中ニ移植作業ヲ完了セリ移植蟻ノ荷造ハ石油箱(二斗入)ニ「アンペラ」ヲ敷キ一箱ニ約二千五百尾ヲ收容シ蓋ヲ釘打シ繩掛セリ
次ニ輸送ノ狀況竝ニ移植試験ノ經過ヲ表示スレバ左ノ如シ

月發日	項目	試驗場所
昭和十三年三月廿二日	午後十一時六分	海部郡鍋田村海
全		知多郡旭村字旭地先
三月二十三日	午後十一時六分	先 知多郡成岩町地
三月九日	午後七時五分	先 寶飯郡津津村地
三月十九日二十日	午後十一時七分	先 寶飯郡前芝村地
三月八日	午後十一時七分	道洲 渥美郡杉山村入
全		津 渥美郡泉村伊川

到着月日	箱運數	數量	輸送中生 死狀況	放養 月日	放養 方法	面積	成績概況
全月二十三日 午前十時	四ヶ	一萬尾	死着 一五尾	三月二十三日 午前十一時半ヨリ 約一時間	溝ニ放養シテ砂 ヲ覆フ	二〇〇	一部浮キ出タル モノアリ
全	八ヶ	二萬尾	〃 一三尾	全 午後零時—二時	全	三〇〇	殆ンド完全ニ放 養セリ
三月二十四日 午前十一時	一ニヶ	三萬尾	〃 二〇尾	三月二十四日 午後三時 四時三十分	全	三五〇	全
三月十日 午前十時	二〇ヶ	五萬尾	〃 二三尾	三月十日 午後五時—	全	六〇〇	全
三月二十日廿一日 午前十一時	二〇ヶ	五萬尾	〃 五五尾	三月二十日二十 一日	全	六二〇	全
三月九日 午前十時	八ヶ	二萬尾	?	三月九日 午後二時	全	四五〇	全
三月十一日 午後一時	八ヶ	二萬尾	?	三月十一日 午後四時	全	三〇〇	全

備考 渥美郡伊川津地先ニ移植セルモノハ三月九日豊橋市大崎町へ到着ノモノヲ一時同地ニ於テ蕃養シ伊川津ニ移送セルモノナリ

(3) 移植後ノ成績

本年移植セル蛭ハ何レモ活力旺盛ニシテ輸送途中殆ンド斃死ヲ見ズ移植後ノ成績ハ各試験地共良好ニシテ其ノ後ノ調査ニ依レバ各所共「目」ヲ穿チテ多數棲息セルヲ確メタリ

五、淺海利用試験

本縣伊勢三河ノ兩灣ハ廣大ナル淺海並ニ干潟ヲ有シ本邦有數ノ内灣ニシテ曩ニ調査セルトコロニ依レバ増殖適地トシテ牡蠣約百二十萬坪、海苔約千五十七萬坪、蛸約二百五十五萬坪、蛤約百十三萬坪。藻貝約百二十萬坪ニ達スルノ狀況ニアリ而シテ近時各地ニ於テ前記貝藻類増殖ノ途ヲ講シツ、アリト雖モ未タ一般ニ増殖ニ關スル知識乏シク進ンテ斯業ヲ企劃スルモノ少キヲ以テ適地ノ地先漁業組合ト協力シ之ガ利用厚生ノ方策ヲ樹テ當業者ヲ指導スルト共ニ淺海利用ノ實績ヲ擧ケントス

本年度ハ各地ヨリノ申請ニ對シ適當ト認メラル、場所ヲ撰定シ地先漁業組合ニ委託又ハ直營ヲ以テ左ノ通本試験ヲ實施セリ

種別	牡蠣		試驗面積、株數、石數	試驗施行場所
	垂下式筏	垂下式筏		
海苔	地子 筭 (一、七〇〇株)	知多郡 旭、新知、八幡濱、養父、横須賀、高横須賀、太田、荒尾	三坪 一臺 (六合坪 二二臺)	知多郡 藤島村漁港第一突堤西側
	種 筭 (二、五〇〇株)	知多郡 旭、新知、八幡濱、養父、横須賀、高横須賀、太田、荒尾		
蛸	種 筭 (二、五〇〇株)	知多郡 旭、新知、八幡濱、養父、横須賀、高横須賀、太田、荒尾	五、〇〇〇坪 五〇石	知多郡 横須賀町地先
	種 筭 (二、五〇〇株)	知多郡 旭、新知、八幡濱、養父、横須賀、高横須賀、太田、荒尾		

蛤	委託	五、〇〇〇坪 五〇石	幡豆郡一色町字味濱地先
	撒付	五、〇〇〇坪 四〇石	寶飯郡御津町御馬地先
	委託	三、〇〇〇坪 四〇石	濕美郡杉山村入道洲

試驗ノ經過

一、牡蠣

本年度ハ知多郡篠島村漁港第一突堤西側及幡豆郡幡豆町大字東幡豆琵琶島西北端地先ノ二個所ニ垂下式養蠔試驗ヲ施行セリ前者ハ篠島漁業組合ニ委託シ後者ハ直營試驗トス

1 知多郡篠島村地先

本地先ニ於テハ前記ノ通篠島漁業組合ニ委託試驗セシメタルモノニシテ本場ハ筏及其ノ附屬品竝ニ種苗ヲ提供シ漁業組合ハ之ヲ以テ垂下式養蠔試驗ヲ實施セルモノナリ
垂下式筏(二間ニ一間半)ハ昭和七年以來知多郡師崎町地先ニ於テあこや貝養成試驗ニ使用シタルモノニシテ同試驗終了後昭和九年十一月下旬篠島ニ移シ全年十二月八日筏ノ修理作業ヲ了ヘ翌九日篠島漁港第一突堤西側ニ定繫シ種苗トシテ知多郡成岩産一箱(附着器一五〇個)ヲ十番亞鉛引鐵線ニ通シタルモノ十連ヲ垂下シ次ニ同年十二月二十日下之一色産一箱(附着器二〇〇個入)十一連ヲ垂下セリ尙昭和十年三月十九日宮城縣産種苗一依(附着器八〇〇個以上)ヲ送付シ各地産種苗ノ成長率其他比較試驗ニ供スル目的ナリシモ宮城縣産ハ到着後雨天ノ爲垂下シ難ク一時蓄養セルモ其ノ方法宜シキヲ得ズ遺憾ナガラ全部斃死セシメタリト聞ク
其ノ後ノ成長度ヲ調査セルニ次ノ如シ

種苗産地	測定寸法		昭和十年二月十五日		昭和十年五月二十五日		備考
	高さ	長さ	高さ	長さ	高さ	長さ	
知多郡成岩産	四・一五 c.m	二・六五 c.m	五・〇〇 c.m	三・九五 c.m	五・八三 c.m	四・二五 c.m	十個平均
下之一色地先産	三・六五	二・六七	四・〇二	三・五二	四・六〇	三・八二	

2 幡豆郡幡豆町東幡豆地先

本地先ニ於ケルモノハ前述ノ如ク本場直營ニシテ同方面ノ淺海ヲ利用スルノ資料ヲ得ントシ前年度來引續キ實施セルトコロナリ

- (一) 試驗場所 幡豆郡幡豆町東幡豆琵琶島西北端距岸九〇米
- (二) 水深並底質 底質ハ泥質ニシテ深ク滿潮時水深七、六米
- (三) 垂下式筏設置月日 昭和九年六月二十一日 二台
- (四) 筏ノ構造 昨年度製作セル筏ノ材料中孟宗竹四本ヲ杉丸太ト交換シ更ニ浮樽二個ヲ新ニ入換ヘテ一台敷設セリ本年度新設ノモノハ末口七・五糎長六・三米ノ杉丸太十本ト同末口長サ四・二米ノ杉丸太四本トヲ以テ横四・二米、縦六・三米ノ筏ヲ組立テ各、徑三分ノ「ボート」ヲ以テ固着セリ浮樽ハコイルタル二回塗トシ動搖ヲ防グ爲一台ニ四個ヲ結縛セリ斯クシテ六月二十一日前記試驗場所ニ曳行シ長サ各三十八米ノ亞鉛引八番線二本捻ヲ以テ四隅ニ結ヒ付ケ之ヲ錨綱トシ錨ハ長一米ノ松丸太枕ヲ中央ニ於テ前記錨綱ニ結縛シ泥中深ク打ち込ミタルモノトス
- (五) 垂下種苗 舊筏ニハ伊勢灣澳部牡蠣試驗地簡易横張棚ニ於テ連絡試驗中ノ静岡、廣島、朝鮮及下之一色産等ノ種苗約半數ヲ垂下シ他ニ昨年度下之一色沖ニテ採苗セル板屋貝殼附着器ヲ一連二十個ノ割合ニ亞鉛引八番線ヲ以テ女竹(長一五糎)ト交互ニ通セルモノヲ垂下シ新筏ニハ全部下之一色沖合産種苗ヲ垂下セリ舊筏ノ總垂下連數一〇三本新筏ハ板屋貝殼附着器九六連トセリ

(六) 成長度ノ調査

種苗產地	上層		中層		下層		摘要
	高	平均長	高	平均長	高	平均長	
愛知縣 下之一色産	四・四	三・二	四・五	三・〇	四・二	三・〇	昭和九年八月二十一日調査
宮城縣産	四・六	三・二	四・八	三・〇	五・一	三・三	
静岡縣産	五・七	三・八	六・二	四・四	五・九	三・七	
廣島縣産	三・九	四・〇	四・九	三・八	四・七	三・一	
熊本縣産	五・五	三・四	四・七	三・三	五・九	三・五	
朝鮮産	五・五	三・五	四・七	三・五	五・四	三・八	

(七) 産卵狀況並附着物

昭和九年八月二十日、二十一日ノ調査ニ於テ産卵狀況ハ各層共連絡調査ノ標準ニ依ルV乃至VIノ部ニ相當ス尙各層共「フヂツボ」ノ附着甚ダシク稚貝全部ヲ掩フ状態ニシテ又「ヒトデ」「ホヤ」等ノ附着多シ

(八) 試験ノ經過

試験場所ハ春夏ノ候南風ヲ避クルニ好適ナルモ秋冬ノ候ハ常ニ西北風ヲ受ケ筏ノ動搖甚ダシ、筏設置後八月二十日調査セルニ新筏中浮樽二個浸水シ一部沈降セリ尙十二月四日調査ニ依レバ定繫用針金三本切断シ且ツ全部ノ浮樽ニ浸水、筏ハ南方ニ轉向シ垂下牡蠣全部斃死セリ、其ノ狀況ヲ觀察スルニ稚貝ノ成長率ヨリ見テ九月中ニ斃死セシモノ、如ク當海區ニ屢々襲來スル赤潮ニ歸因スルモノト認メラル舊筏ニ於テモ浮樽ノ浸水セシモノ三個ニ及

ヒ且ツ縦材數本切断セリ垂下牡蠣ハ中層ニ於テ斃死セルモノ多ク下層ハ「ぼや」ノ附着多キモ死斃貝ハ中層ニ比シ稍少ク上層ノモノハ約一割ノ斃死率ニシテ各層ヲ通シ約六割ノ斃死率ヲ見、其ノ原因モ亦赤潮ニ在ルモノ、如シテ舊筏ハ蝕害ノ爲到底使用ニ耐ヘサルヲ以テ解体シ又新筏ニハ浮標ニ浸水多キ爲之方取換ヲナシタリ
昭和十年二月二十八日舊筏ニ垂下セル下之一色産及宮城縣産種苗合計百個ニ付剝身調査ヲ施行セルニ次ノ結果ヲ得タリ

殻付重量 六、一八八瓦 總容量 四、四五〇cc 剝身重量 一、八八五瓦
 剝身容量 一、八二〇cc 剝身樹目 一升 空殻重量 四、三〇〇瓦
 空殻容量 二、〇六〇cc 平均殻高 八・〇三種 平均殻長 四・九八種
 平均一個ノ殻付重量 六二瓦 剝身ノ商品價值 優良
 次ニ昭和九年六月二十一日ヨリ舊筏ニ垂下セル各縣産種苗ノ成長身入等ニ付テハ十一月、十二月ノ二回ニ亙リ調査セルガ其ノ成績ハ連絡試験ノ項ニ記載セルヲ以テ茲ニハ省略ス

(九) 種苗ノ垂下

昭和十年三月二十二日宮城縣産種苗四俵ヲ新筏設置マデ附着器ノミ針金ニ通シ二十九連ヲ舊筏ニ假垂下セリ種苗ハ平均殻高一・五種平均殻長一・二種ニシテ附着器一個ニ付稚貝數平均十一個アリ昭和十年五月十六日ヨリ五日間ニ亙リ新筏一台ヲ作製シ前記種苗ヲ管竹ト交互ニ垂下シ連數二三〇本トナル昭和十年年度引續キ試験セントス

二、海 苔

海苔増殖ハ近年長足ノ進歩發展ヲナシツ、アルモ尙未利用適地約千五十七萬坪ニ達スルヲ以テ之等適地ヲ利用シ圓滿ナル發達ヲ遂ゲシムル爲適地ト認メラル、地先漁業組合ニ地子簀又ハ種簀ヲ配給シ調査試験ヲ實施セシメタリ各郡別試験成績次ノ如シ

(A) 知多郡西海岸

知多郡西海岸ハ大正十二年以來漸次發達シ現ニ約四十萬圓以上ノ産額ヲ擧クルニ至リタルモ現在ノ利用場所ヨリ更ニ沖合ヲ利用スベキ資料ヲ得ル爲各漁業組合ヘ地子簀及種簀ヲ配給シ委託試験ヲ施行セリ左ニ其ノ成績ヲ表示セン

知多郡旭村旭漁業組合委託試驗報告

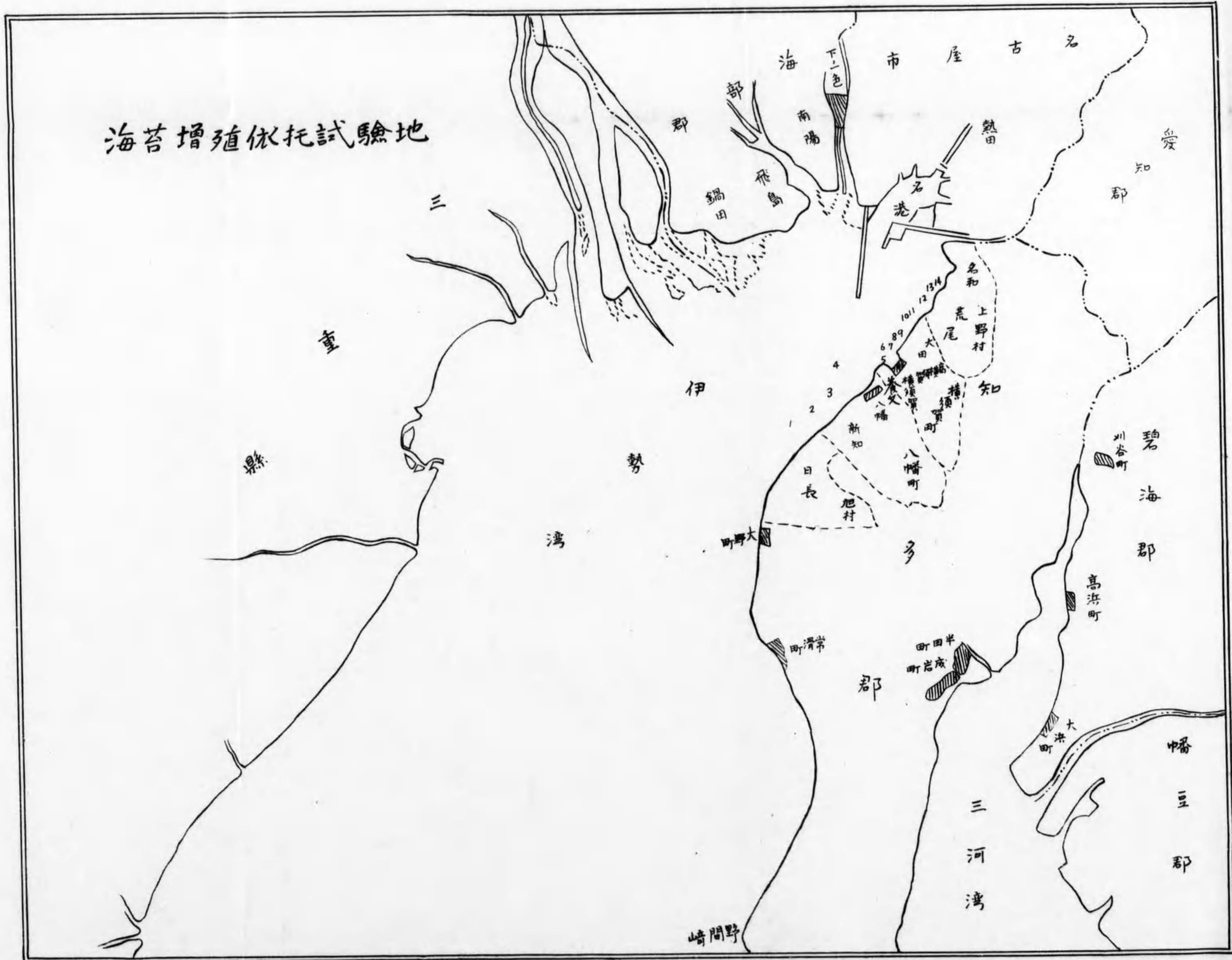
試驗事項	種別	試驗場所	水深底質	潮流ノ方向	建込方法	附着層	成育ノ狀況	摘探成績	摘探月日	數	金額	摘探月日	數	金額			
								一株當り平均	一株當り平均	一株當り平均	一株當り平均	一株當り平均					
旭村大字日良字浦畑地先 (1)	地子 筵 (100株)	水深 二四〇 底質 砂	千滿ノ差 二四〇 潮流ノ方向 千滿 S W E	建込月日 十月八日 標間二七〇 株間二一〇 傾斜ノ方向 E	上端 一三五 下端 四五 幅員 九〇	密ニ附着セリ 良好	密ニ附着セリ 良好	一月一日	一、〇〇〇	六、七五〇	一月二十日	一、〇〇〇	三、八〇〇	二月二十日	一、〇〇〇	三、八〇〇	
								二月二十七日	一、〇〇〇	三、八〇〇	三月二十一日	一、〇〇〇	三、八〇〇	三月二十三日	一、〇〇〇	三、八〇〇	四月三日
計								四、〇〇〇	一、六四〇	一株當り平均							
全 上	種 筵 (60株)	水深 二四〇 底質 砂	千滿ノ差 全 上 潮流ノ方向 千滿 全 上	建込月日 十月二十八日 標間二七〇 株間二一〇 傾斜ノ方向 E	上端 一五〇 下端 六〇 幅員 九〇	粗ニ附着シ 稍々良好ナリ	粗ニ附着シ 稍々良好ナリ	一月一日	一、〇〇〇	一、六〇〇	一月二十日	一、〇〇〇	一、六〇〇	二月二十日	一、〇〇〇	一、六〇〇	
								二月二十七日	一、〇〇〇	一、六〇〇	三月二十一日	一、〇〇〇	一、六〇〇	三月二十三日	一、〇〇〇	一、六〇〇	四月三日
計								四、〇〇〇	一、六四〇	一株當り平均							



海苔増殖

標間

海苔増殖依托試験地



一株當り平均	四月三日	三月二十三日	三月二十一日	二月二十七日	二月二十一日	一月二十一日
--------	------	--------	--------	--------	--------	--------

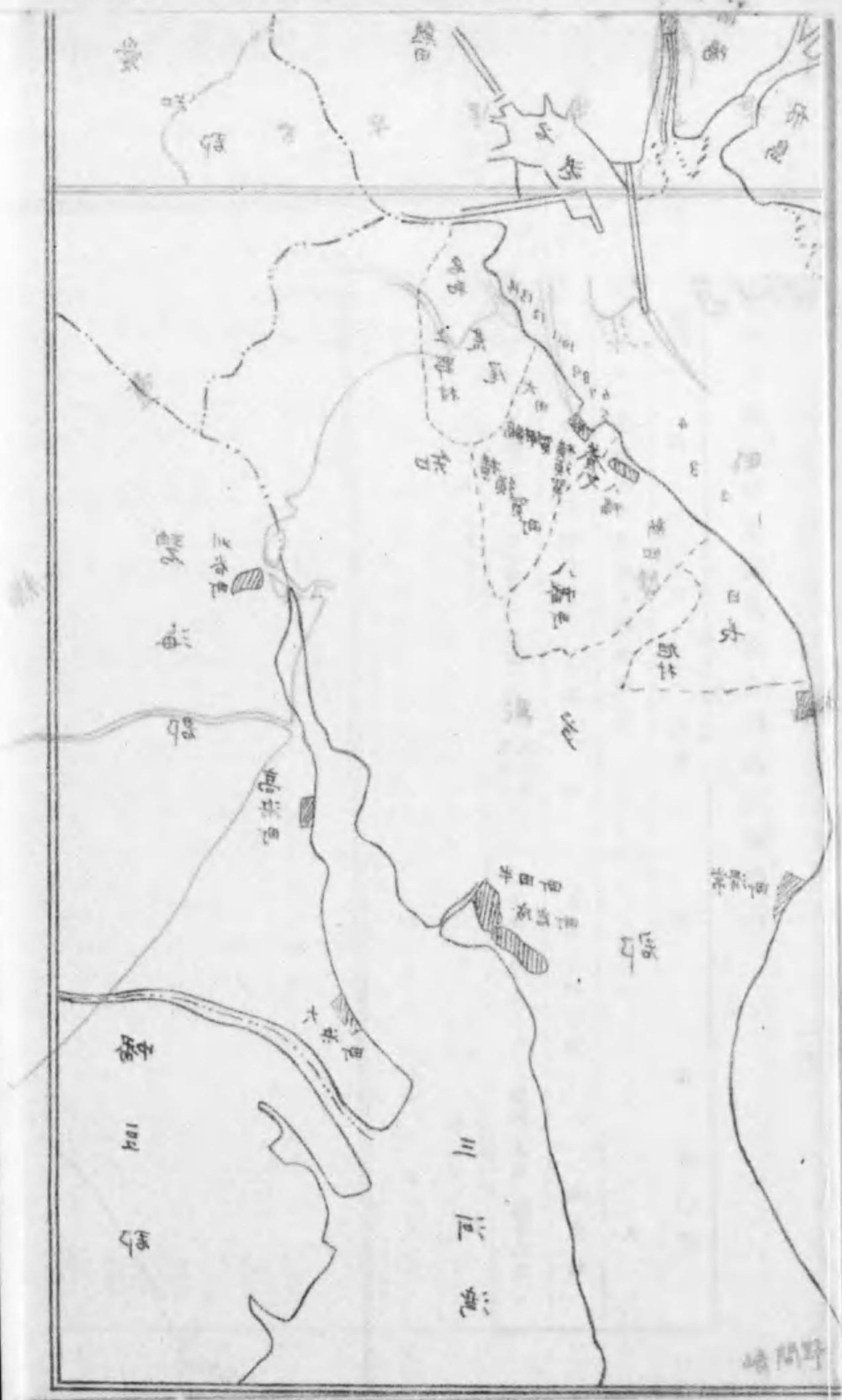
三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七
------	------	------	------	------	------	------

一株當り平均	四月三日	三月二十三日	三月二十一日	二月二十七日	二月二十一日	一月二十一日
--------	------	--------	--------	--------	--------	--------

八〇五	八〇五	八〇五	八〇五	八〇五	八〇五	八〇五
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

七二九	七二九	七二九	七二九	七二九	七二九	七二九
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----



知多郡八幡町新知漁業組合委託試験報告

試験事項	種別	地子	籾	(100株)	種	籾	(60株)
試験場所	八幡町大字新長浦附近假橋沖百間五〇株(2)	全	全	上	ヨリ約二百間北	三〇株	三〇株
水深底質	水深 満干 二七〇糎 底質 砂泥	全	全	上	全	上	全
干満ノ差ノ方向	干満ノ差 二一〇糎 潮流ノ方向 満SW 干NE	全	全	上	潮流ノ方向 満干全上	全	上
建込方法	建込月日 十月八日 幅員 一八〇糎 傾斜方向 ES	建込月日 十一月一日 幅員 一八〇糎 傾斜方向 ES	建込月日 十一月一日 幅員 一八〇糎 傾斜方向 ES	建込月日 十一月一日 幅員 一八〇糎 傾斜方向 ES	建込月日 十一月一日 幅員 一八〇糎 傾斜方向 ES	建込月日 十一月一日 幅員 一八〇糎 傾斜方向 ES	建込月日 十一月一日 幅員 一八〇糎 傾斜方向 ES
附着ノ状況	密ニ附着セリ 良好	附着不良	附着不良	附着不良	附着不良	附着不良	附着不良
摘探成績	摘探月日	摘探月日	摘探月日	摘探月日	摘探月日	摘探月日	摘探月日
数量	一月 四日 一七〇	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇
金額	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇
一株當り平均	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇	一月 四日 一八〇

知多郡八幡町八幡濱漁業組合委託試驗報告

一五二

試驗事項	種別	地 子 蒞	種 蒞
試驗場所	全	八幡町大字潮海道地先漁場南西沖巨岸四五〇間ノ處 (4)	上
水深底質	水深 三〇〇 底質 砂泥	水深 三〇〇 底質 砂泥	
潮流ノ方向	干満ノ差 二二〇 潮流ノ方向 干満 S W	干満ノ差 全上 潮流ノ方向 干満 全上	
建設方法	建設月日 十月八日 柵間二七〇 柵間一八〇 傾斜ノ方向 S W	建設月日 十月二十八日 柵間全上 柵間全上 傾斜ノ方向 全上	
附着層	上端 一七四 下端 一二〇 幅員 五四 種	上端 一六五 下端 一〇五 幅員 五〇 種	
附着ノ状況	附着成育共ニ良好ナリキ	附着疎ニシテ成育順調ナリキ	
品質	芽ノ色青 葉ノ幅幅廣 光澤良 品質中	芽ノ色青 葉幅廣 光澤稍良 品質中	
摘採成績	摘採月日 一月四日 一月二十四日 二月十一日 二月二十四日 三月十日 一株當リ平均	摘採月日 一月四日 一月二十四日 二月十一日 二月二十四日 三月十日 一株當リ平均	
數量	四〇〇 以	五〇〇 以	
金額	六〇〇〇 六〇〇〇 三三〇〇 三九〇〇 三六〇〇 六三三八	八五〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇 三九一五〇 四六四	

知多郡横須賀町養父漁業組合委託試驗報告

一五三

試驗事項	種別	地 子 蒞	種 蒞
試驗場所	全	横須賀町養父新田北西角ヨリ東五十間ノ處ヨリ五十間沖合 (5)	上
水深底質	水深 干満 一五〇 底質 砂泥	水深 全上 底質 全上	
潮流ノ方向	干満差 二二〇 潮流ノ方向 干満 S W	干満差 全上 潮流ノ方向 全上	
建設方法	建設月日 十月二十日 柵間一三〇 柵間一二〇 傾斜ノ方向 E	建設月日 十月二十八日 柵間全上 柵間全上 傾斜ノ方向 E	
附着層	上端 九〇 下端 三〇 幅員 六〇 種	上端 下端 幅員 種	
附着ノ状況	附着良好ナラザルモ一月八日ヨリ採取シ四月十日ニ終ル成育順調ナリ	地子ニ比シ不良ニシテ二月十八日ヨリ採取シ四月十日ニ終ル成育不良	
品質	芽ノ色青、葉ノ幅六種 光澤並 品質中	芽色赤、葉幅 四種 光澤普通 品質中	
摘採成績	摘採月日 一月八日 一月二十五日 二月十八日 三月十日 四月三十日 一株當リ平均	摘採月日 一月八日 一月二十五日 二月十八日 三月十日 三月三十日 一株當リ平均	
數量	一、五〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 四〇〇 以	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 四八〇 以	
金額	一、八〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 三三八〇	一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 一、〇〇〇 二、七六〇 四六二五	

知多郡横須賀町横須賀漁業組合委託試験報告

試験事項	種別	地	子	籾	(株)	種	籾	(株)
試験場所	横須賀港突堤ヨリ西方百間ノ處(6)	横須賀町字天寶新田西南角ヨリ百三十間ノ處(7)						
水深底質	水深 干満 四二〇糎 底質 砂泥	水深 全上 底質 砂泥						
干満ノ方向	干満差 二二五糎 潮流ノ方向 満SW干NE	干満ノ差 全上 潮流ノ方向 全上						
建込方法	建込月日十月七日 柵間二七〇糎 株間二〇糎 傾斜方向 E	建込月日十一月五日 柵間全上 株間全上 傾斜方向 E						
附着層	上端一五〇糎 下端四五糎 幅員一〇五糎	上端一五〇糎 下端四五糎 幅員一〇五糎						
附着ノ状況	最初上部ニ附着シ最盛期ヨリ終期ニカケ漸次低下セリ	附着、成育 共ニ不良						
品質	芽ノ色青、葉幅三糎 光澤上等 品質良	芽色 赤、葉幅六糎 光澤良 品質良						
摘採成績	摘採月日 一月十五日 五〇枚 一月二十七日 二、〇〇〇 計 二、五〇〇	摘採月日 十二月廿三日 三〇〇枚 一月十五日 六〇〇 一月二十七日 一、一〇〇 計 二、〇〇〇						
受ケ全減トナル	二月上旬重油ノ被害ヲ	一株當リ平均 二、五〇〇						
金額	一、四〇〇 四、八〇〇 六、二〇〇	七、四〇〇 一、七〇〇 二、九〇〇 五、三〇〇						

知多郡横須賀町高横須賀漁業組合委託試験報告

試験事項	種別	地	子	籾	(株)	種	籾	(株)
試験場所	天寶新田中央ヨリ沖合一五〇間ノ處(8)	天寶新田太田組合堺ヨリ沖一五〇間ノ處(9)						
水深底質	水深 干満 三〇〇糎 底質 砂質	水深 干満 全上 底質 砂質						
干満ノ方向	干満ノ差 二二五糎 潮流ノ方向 満SW干NE	干満ノ差 全上 潮流ノ方向 全上						
建込方法	建込月日十月七日 柵間一八〇糎 株間二四〇糎 傾斜ノ方向東45°	建込月日十一月五日 柵間全上 株間全上 傾斜ノ方向 全上						
附着層	上端一八〇糎 下端二二〇糎 幅員六〇糎	上端全上 下端全上 幅員全上						
附着ノ状況	附着 成育 共ニ良好	附着 成育 共ニ不良						
品質	芽色青、葉幅二糎 光澤良 品質優	芽色赤黒、葉幅一糎 光澤良 品質優						
摘採成績	摘採月日 一月二十五日 四〇〇枚 二月二十一日 九〇〇 三月六日 二、〇〇〇 三月二十三日 二、〇〇〇 四月三日 二、〇〇〇 計 九、〇〇〇	摘採月日 一月二十一日 二八〇枚 二月二十一日 二五〇 三月六日 一、九〇〇 三月二十三日 一、四〇〇 四月二日 一、〇〇〇 計 六、〇〇〇						
金額	二、三〇〇 三、三〇〇 四、三〇〇	一、八〇〇 一、〇〇〇 一、七〇〇 二、七〇〇						

知多郡横須賀町太田漁業組合委託試験報告

一五六

試験事項	種別	地	子	籾	(株)
試験場所	太田川先堤防ヨリ百五十間沖(10)	太田川先堤防ヨリ百五十間ノ處(11)			
水深底質	水深 干満 三〇〇〇 底質 砂泥	水深 干満 全上 底質 砂泥			
潮流ノ方向	干満差二〇〇 潮流ノ方向 干満 N S E W	干満差 全上 潮流ノ方向 干満 全上			
建設方法	建設月日十月七日 移植十一月十九日 傾斜方向 45°E	建設月日十月二十八日夜 傾斜ノ方向 45°E			
附着層	上端二〇〇 下端六〇 幅員一五〇	上端 全上 下端 全上 幅員 全上			
附着ノ状況	附着 生育 共ニ良好	全上			
品質	芽色青、葉幅 六種 光澤宜シ 香味良 品質優	芽色赤、葉幅 三種 光澤良 香味良 品質上			
摘採成績	摘採月日 數量 金額	摘採月日 數量 金額			
一月二十七日	一月二十九日	一月二十八日	一月二十九日	一月三十日	一月三十一日
二月二十四日	二月二十六日	二月二十三日	二月二十四日	二月二十五日	二月二十六日
三月二十三日	三月二十五日	三月二十三日	三月二十四日	三月二十五日	三月二十六日
三月三十日	三月三十一日	三月三十日	三月三十一日	三月三十一日	三月三十一日
一株當り平均	一株當り平均	一株當り平均	一株當り平均	一株當り平均	一株當り平均
數量	1900	1600	1000	1000	1000
金額	3950	3100	2000	2000	2000

知多郡上野村荒尾漁業組合委託試験報告

一五七

試験事項	種別	地	子	籾	(株)
試験場所	上野村北新田中央ヨリ一〇〇間ノ處(12)	上野村北新田中央ヨリ一〇〇間ノ處(13)			
水深底質	水深 干満 露出 底質 砂泥三〇	水深 干満 全上 底質 全上			
潮流ノ方向	干満差 二二五 潮流方向 干満 N E W	干満差 全上 潮流方向 干満 全上			
建設方法	建設月日十月七日 移植十一月二十日 傾斜方向 40°E	建設月日十月三十日 傾斜方向 全上			
附着層	上端二一〇 下端二二〇 幅員九〇	上端 九〇 下端 三〇 幅員 六〇			
附着ノ状況	附着 密ニシテ 生育良好	全上			
品質	芽色青、葉ノ幅廣 光澤良 香味良 品質優	芽色赤、葉ノ幅廣 光澤良 香味良 品質優			
摘採成績	摘採月日 數量 金額	摘採月日 數量 金額			
一月二十五日	一月二十七日	一月二十六日	一月二十八日	一月二十九日	一月三十日
二月二十三日	二月二十五日	二月二十三日	二月二十四日	二月二十五日	二月二十六日
二月三十日	二月三十一日	二月三十日	二月三十一日	二月三十一日	二月三十一日
一株當り平均	一株當り平均	一株當り平均	一株當り平均	一株當り平均	一株當り平均
數量	1100	1100	1100	1100	1100
金額	2300	2300	2300	2300	2300

以上知多郡西海岸ニ於ケル委託試験成績ニ依リ考察スルニ旭ヨリ太田川附近迄ハ當業者以上ノ成績ヲ示シ現在利用セル場所ヨリ沖合四五十間迄ハ經濟的ニ利用シ得ルコトヲ確メ得タルノミナラス沖合ノモノハ何レモ品質優良ニシテ當業者ノ製品ヲ凌駕セリ。

引續キ更ニ沖合ヲ利用シ當業者ノ漁場開發ニ關スル資料ヲ得ントス

(B) 碧海郡沿岸

本郡沿岸ハ鹹度低クシテ種子ノ附着セサル所ト鹹度比較的高クシテ年ニ依リ多少種子ノ附着スル所トニ大別スルコトヲ得前者ハ高濱町高濱地先ヨリ北部ニ當リ後者ハ高濱地先ヨリ以南ノ沿岸ナリ。兩者共未開發ノ適地尠カラサルヲ以テ地子篋又ハ種篋ヲ配給シ其ノ地先漁業組合ヲシテ委託試験ヲ實施セシメタリ次ニ其ノ成績ヲ表示セン。

碧海郡小垣江漁業組合委託試験

碧海郡吉濱漁業組合委託試験

試験事項		種別	
試験場所	種	種	種
水深 底質	水深 一二〇種 底質 泥砂	水深 二五五種 底質 泥	水深 二五五種 底質 泥
潮流ノ方向	干満差 一八〇種 潮流ノ方向 干満 N S	満干ノ差 一八〇種 潮流ノ方向 干満 N S	満干ノ差 一八〇種 潮流ノ方向 干満 N S
建設方法	建設月日十月二十八日 柵間二七〇種 株間一二〇種 傾斜方向 SW	建設月日十月二十八日 柵間三六〇種 株間一八〇種 傾斜方向 SSE	建設月日十月二十八日 柵間三六〇種 株間一八〇種 傾斜方向 SSE
附着ノ状況	附着 不良 成績 良好 ナラズ	附着 成育 共ニ 良好 ナリ	附着 成育 共ニ 良好 ナリ
附着層	上端 六〇種 下端 三〇種 幅員 三〇種	上端 一五〇種 下端 六〇種 幅員 九〇種	上端 一五〇種 下端 六〇種 幅員 九〇種
品質	芽色赤、葉幅 狭 光澤 良 香味 良 品質 優	芽色赤、葉ノ幅 四、五種 光澤 良 香味 良 品質 優	芽色赤、葉ノ幅 四、五種 光澤 良 香味 良 品質 優
摘採成績	摘採月日 一月二十日 數 一、一〇〇 量 一、〇〇〇 金 一〇、〇〇〇	摘採月日 十二月十五日 數 一、二〇〇 量 一、二〇〇 金 一三、〇〇〇	摘採月日 十二月十五日 數 一、二〇〇 量 一、二〇〇 金 一三、〇〇〇
	摘採月日 三月一日 數 八〇〇 量 八〇〇 金 八、〇〇〇	摘採月日 十二月廿六日 數 二、六〇〇 量 二、六〇〇 金 二六、〇〇〇	摘採月日 十二月廿六日 數 二、六〇〇 量 二、六〇〇 金 二六、〇〇〇
	計 二、〇〇〇 量 二、〇〇〇 金 二〇、〇〇〇	摘採月日 三月三日 數 八〇〇 量 八〇〇 金 八、〇〇〇	摘採月日 三月三日 數 八〇〇 量 八〇〇 金 八、〇〇〇
	一株當り平均 一〇枚	摘採月日 三月十七日 數 九、七〇〇 量 九、七〇〇 金 九、七〇〇	摘採月日 三月十七日 數 九、七〇〇 量 九、七〇〇 金 九、七〇〇
		計 四、八〇枚	計 四、八〇枚